かわいい女の子が描ける本
藍飴 著
リアルから
ファンタジー
まで
キュートな女の子キャラ
大集合!
ランジェリー
制服
ゲームキャラ
ケモミミ
チビキャラ
性格別
宝島社

『神獄のヴァルハラゲート』© Grani, Inc.

『神獄のヴァルハラゲート』© Grani, Inc.

『神獄のヴァルハラゲート』© Grani, Inc.

『神獄のヴァルハラゲート』© Grani, Inc.

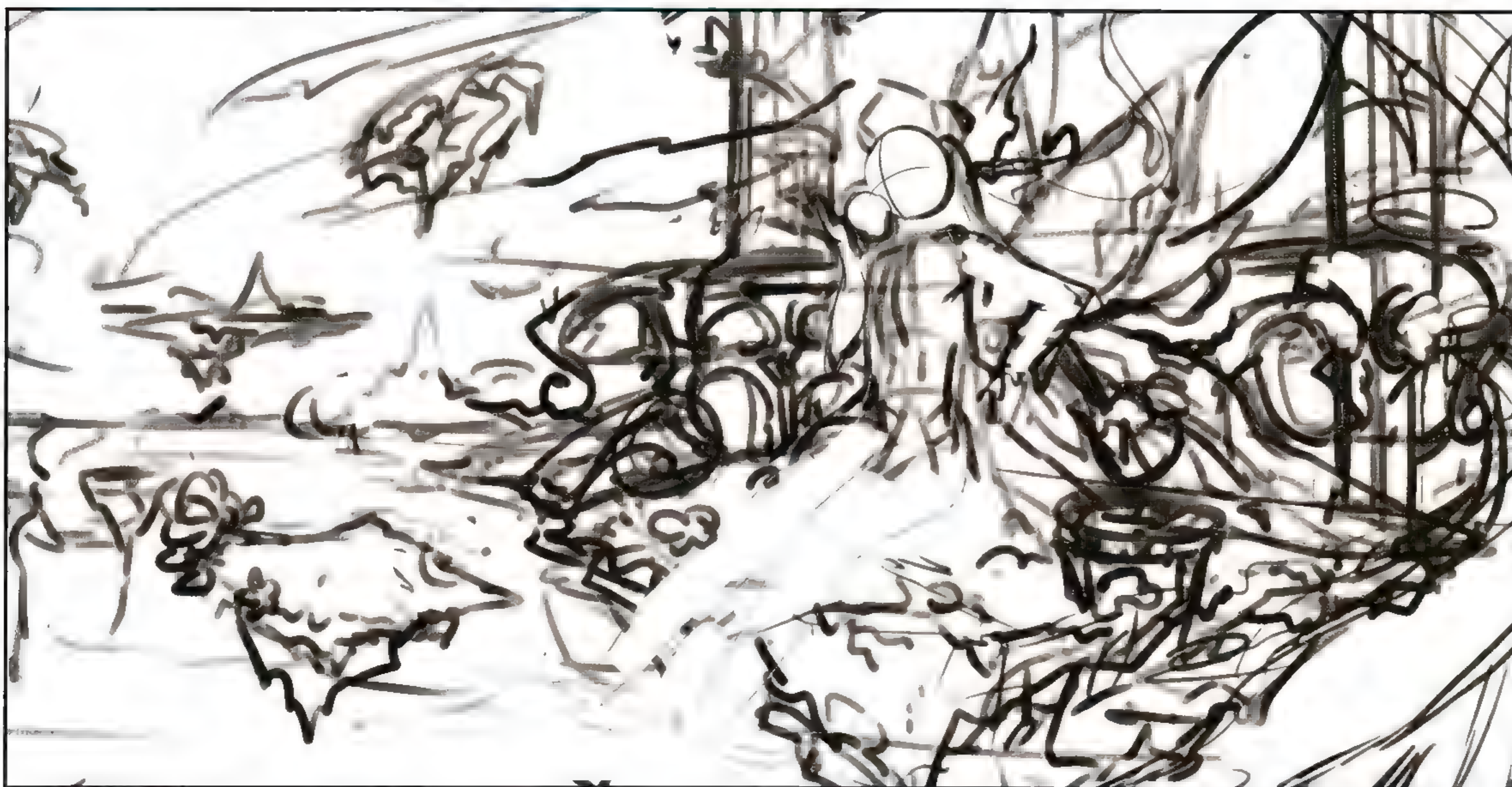
『神獄のヴァルハラゲート』© Grani, Inc.

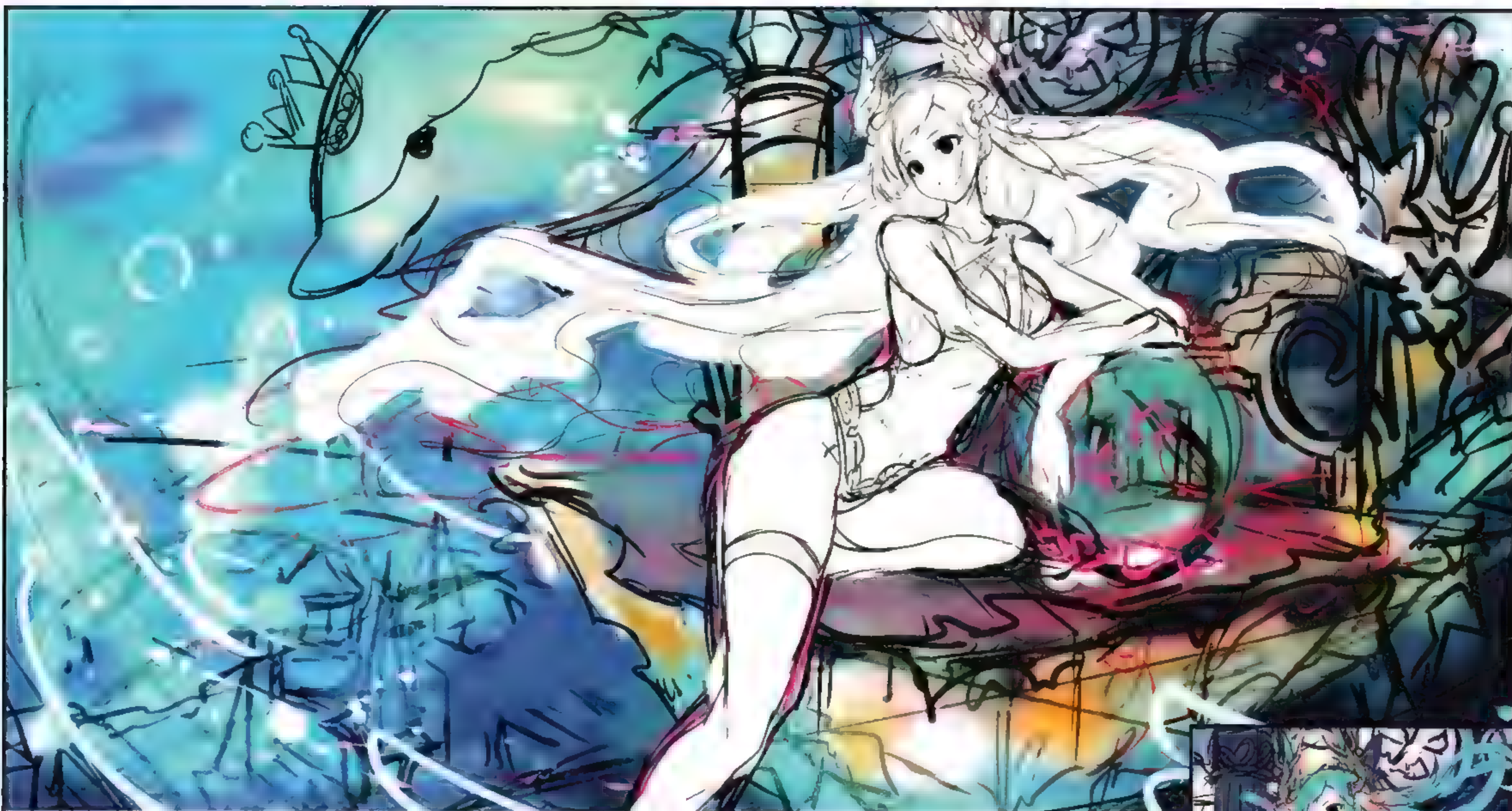
藍飴（あおい）のイラスト

イラストレーター藍飴さんが
頭の中にあるイメージを
どのように一枚のイラストに
仕上げているのか？
構図決めから着色までの
流れを見ていきましょう。

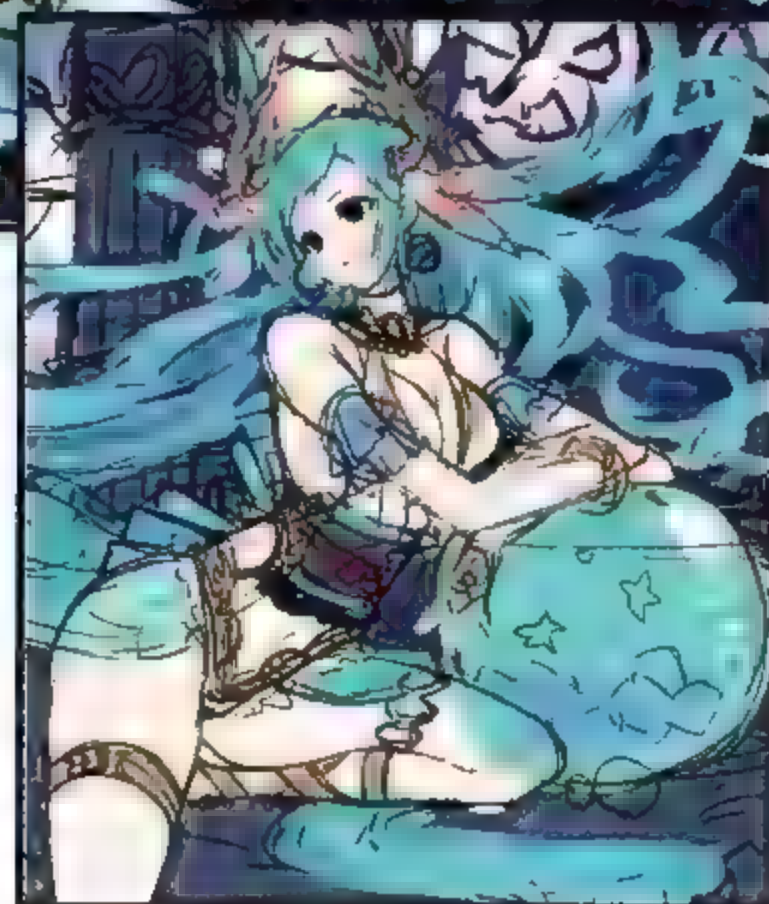
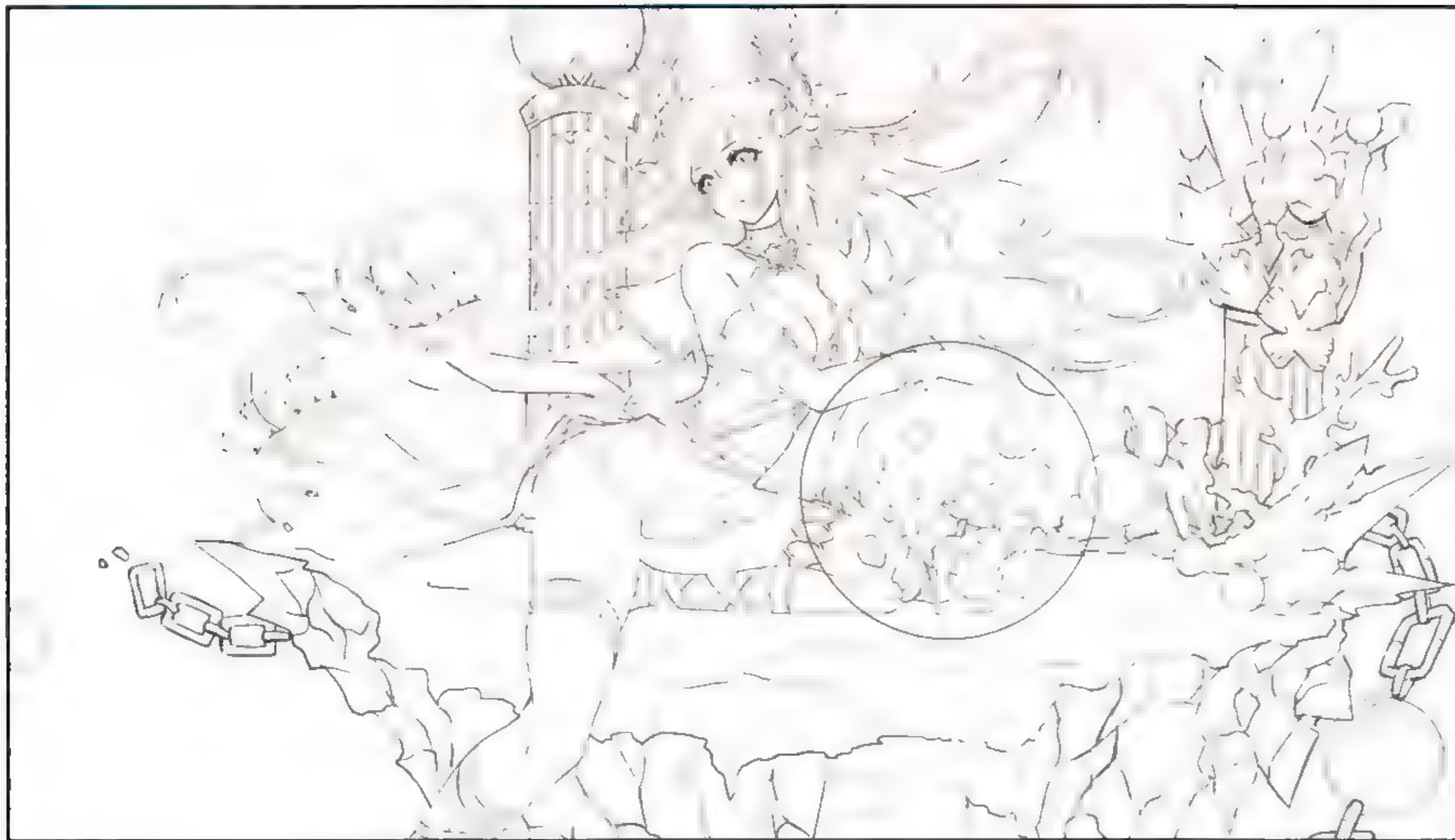
※使用ツール：SAI・Adobe Photoshop　CC

イラストの構図を決める

01-1 おおまかな構図を考える

水の女神を描きたかったので、最初は水辺に浮かぶ小さな島に座って休んでいる場面のラフを描いた。
ただ、イメージがうまくまとまらずボツに。

01-2 イメージを練る

もっと海が連想しやすいよう、水中にすることに。カーテンのように揺れる波を描きインパクトを出し、イルカやサンゴ、パールなどを取り入れる。キャラクターは女神のイメージでサンゴをベースにした角を描く。

和風の衣装も考えたが、イメージに合わずボツになった。

Step 02 線画を描く

02-1 ラフを清書する

ラフの透明度を10～15%程度に下げて清書。素体のバランスなどを調整しつつ、ラフ時には曖昧だった背景を描き込んでいく。この後加える波のダイナミックさを生かすため、服は布系にし、なびかせられるよう変更。レイヤーは基本的に各パーツごとに分けて後で修正しやすいようにしている。

02-2 線画の完成

ゴツゴツしたものはやや線を太くしたり、うすい布や髪の毛先などは細く薄い線にしたりと、線にもアクセントをつけるとより味が出る。

Before

After

最初の顔が硬い印象だったため、目の形をややたれ目にし、眉をやや下げて表情もやわらかくし、かわいらしさを出す。

Step 03 色を塗る

03-1 ベースとなる色を塗る

全体の配色を考えてベースとなる色を塗る。海のイメージなので全体的に青や水色ベースになるが、それだけだと華やかさにかけるためピンクや紫、黄色、緑などを随所に入れる。

03-2 キャラクターを塗る

光源を決め、影になるところは暗めに塗る。肌は肉感を意識し、エアブラシやぼかしなどで塗るとやわらかさを表現できる。

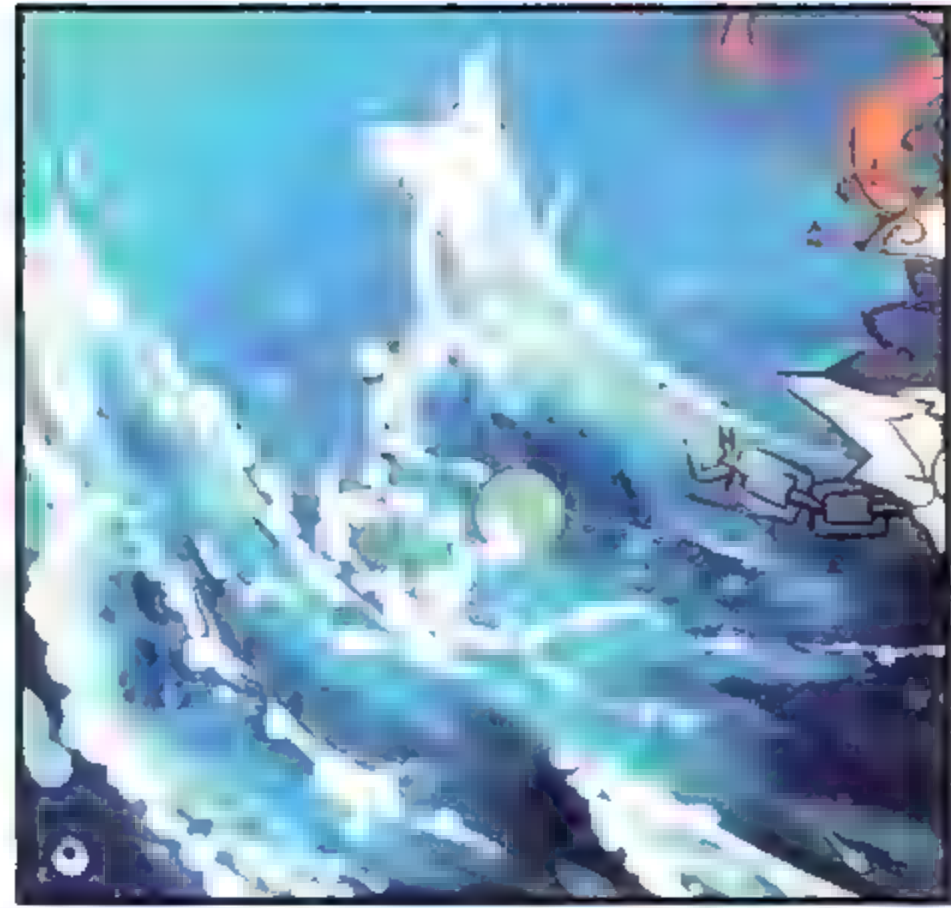
髪を塗るときは、束になって見える太い部分と1本の細い毛の部分を上手く混ぜるときれいに見える。

金属のパーツはディテールを細かく描き込み、ハイライトや照り返しを意識して塗る。

スカートは体のラインに沿いつつ、細かいしわを入れてやわらかい質感を出している。

金属や布の質感を意識して塗り込んでいく。広い面積を占める青や紫は、同化しすぎないように微妙に色合いを変えて配色している。

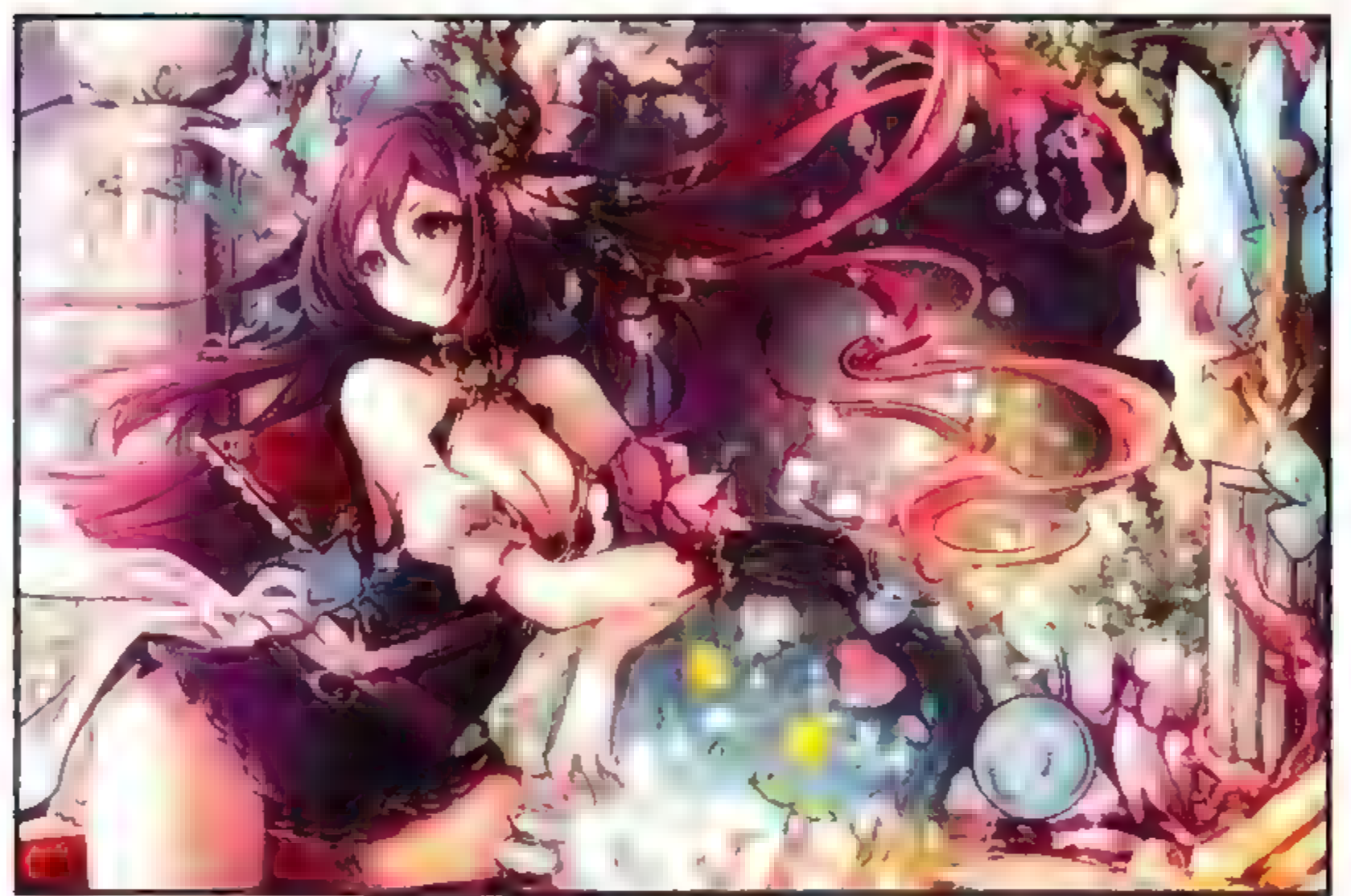
03-3 波を塗る

カーテンのような波にするため、ふんわりとはねるイメージで形をとる。波の先に彩度の高い色を置き、しぶきを表す白を散らす。

海の深さをリアルに表現するため、濃い青を入れる。

白をさらに散らし、しぶきに勢いをつける。さらに透明感を出すため、色を加えたり消しゴムツールで薄く消したりして調整する。

03-4 背景とイルカを塗る

神殿と建物を塗っていく。奥にあるため、手前よりやや薄くぼかした印象にして距離を表現する。

03-5 花を散らす

さらに華やかにするため、色とりどりの花を散らす。キャラクターは暗めの色のため背景を明るくすることでよりキャラが際立つ。

Photoshopで色味を調整して完成!

Contents

Prologue 女性の体の基本

Chapter.1 女の子の体のパーツについて

Chapter.2 いろいろな女の子の描き分け方

Chapter.3 コスチュームと動きについて

Chapter.4 シチュエーションを取り入れてみよう

はじめに

初めまして。この度はこの本をお手に取ってくださりありがとうございます。

キャラクターを描くって楽しいですよね。

でも、どうしても上手く描けないパーツや苦手な角度がある人もいると思います。

人間の体の構造は複雑なので、すべてを理解して描くことは難しいでしょう。

それでも、基本を少しでも頭に入れておくと、自分の描く力を伸ばしていくことができます。

あまり堅く考えすぎず、「ここには骨がある」「ここはやわらかい部分だ」など

体のことをイメージしながらていねいに描いてみましょう。

その中で、かわいく描くためには各パーツの「バランス」が重要になってくると思います。

「構造的に正しい」リアルなバランスというよりは、たとえば自分が描く瞳に合うりんかくのサイズや

その他のパーツの位置などデフォルメならではのバランスを生かしてあげると、

自分らしい持ち味が出ると思います。

本書を通じ、今描いている人、これから描きたいと思っている人へ

基本を学ぶと同時に、何か描く上でのヒントを

示すことができれば幸いです。

藍飴（あおい）

Prologue
女性の体の基本

イラストを描くにあたり、人体の基本的な
構造を知っておくのは大切なことです。
人体の基本や男女の違いについて学びましょう。

Prologue
Lesson 1
女性の体の基本

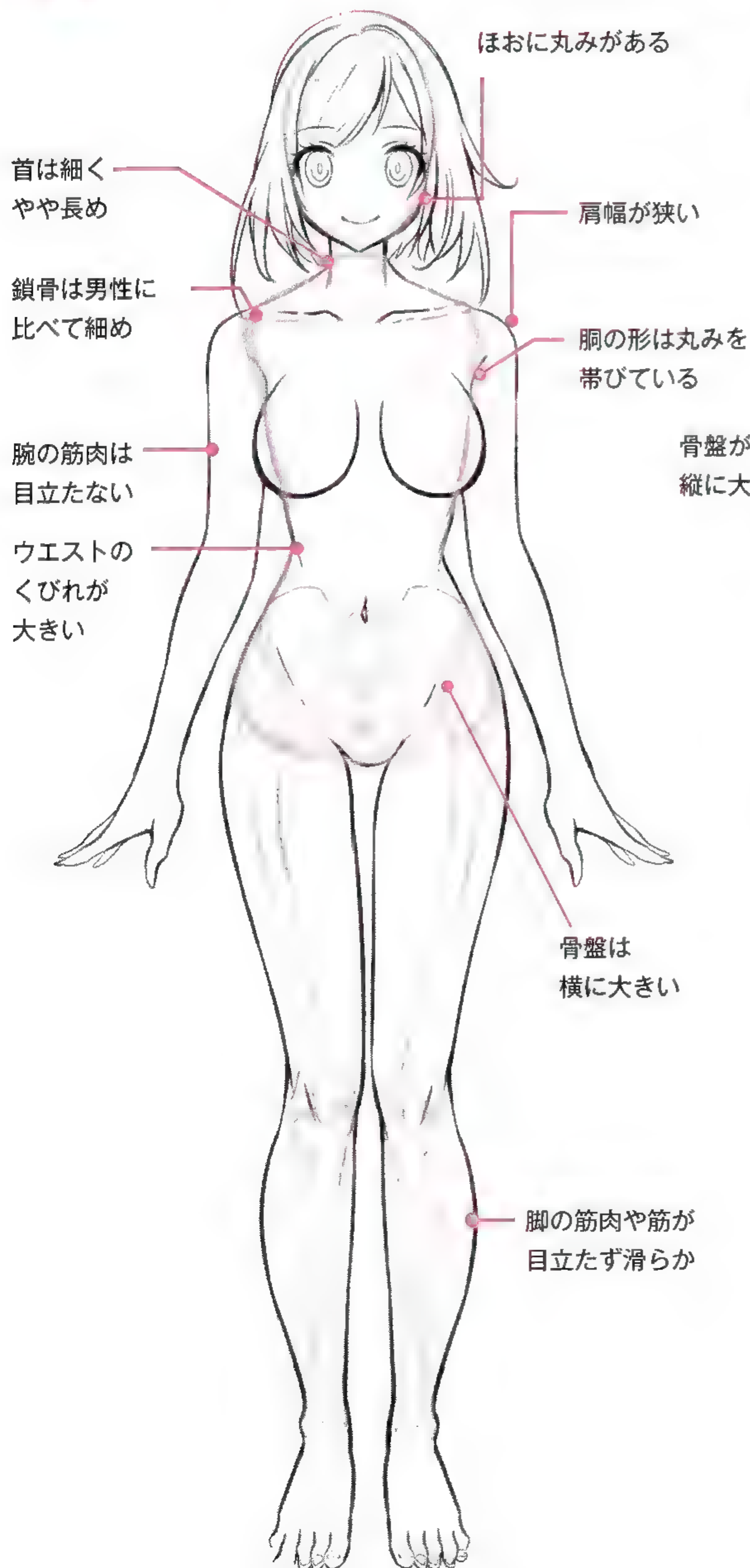
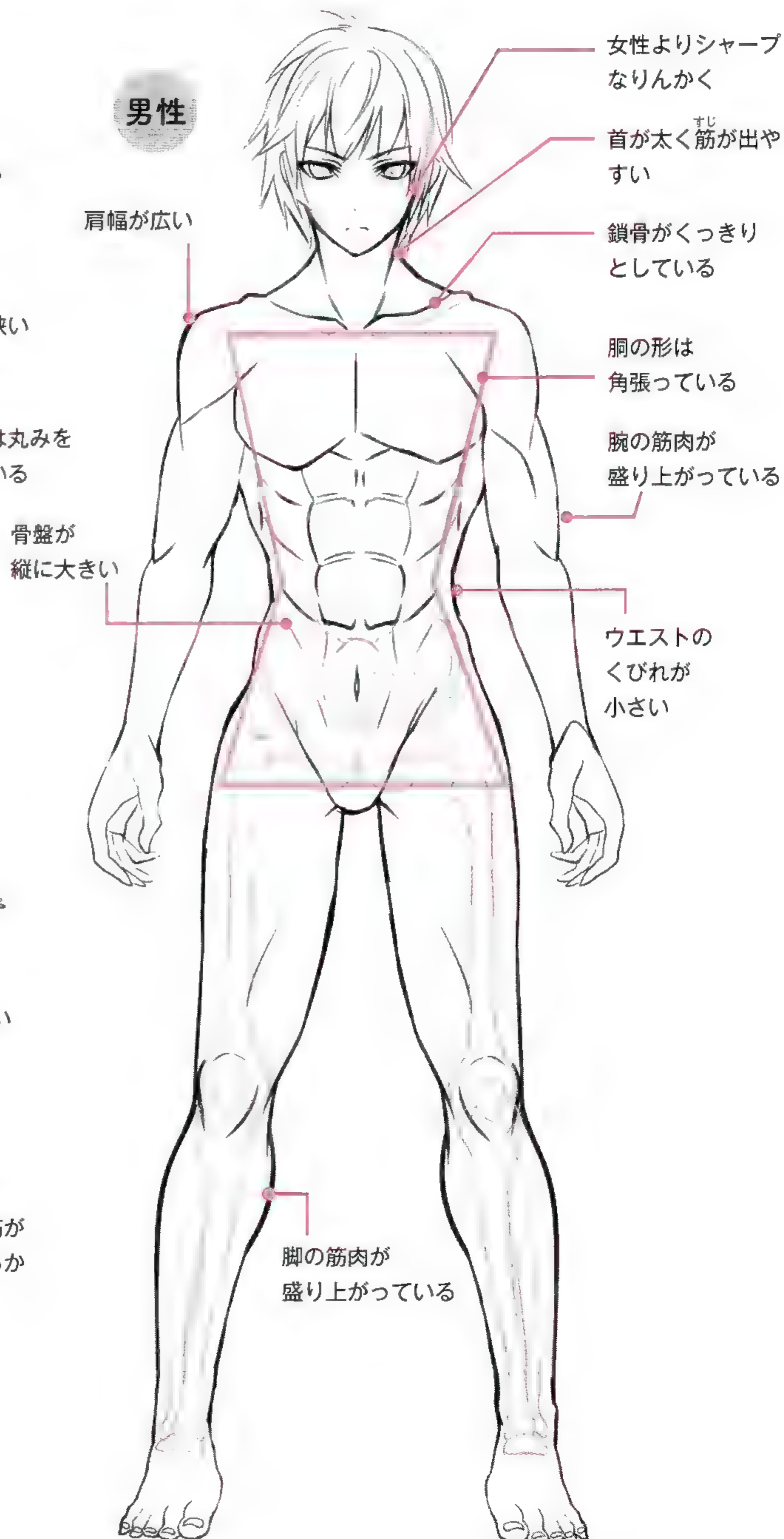
男女の体の違い

まずは人体の基本的なつくりを見ていきましょう。かわいい女の子を描くためには、男性との体の違いを知っておくことも大切です。

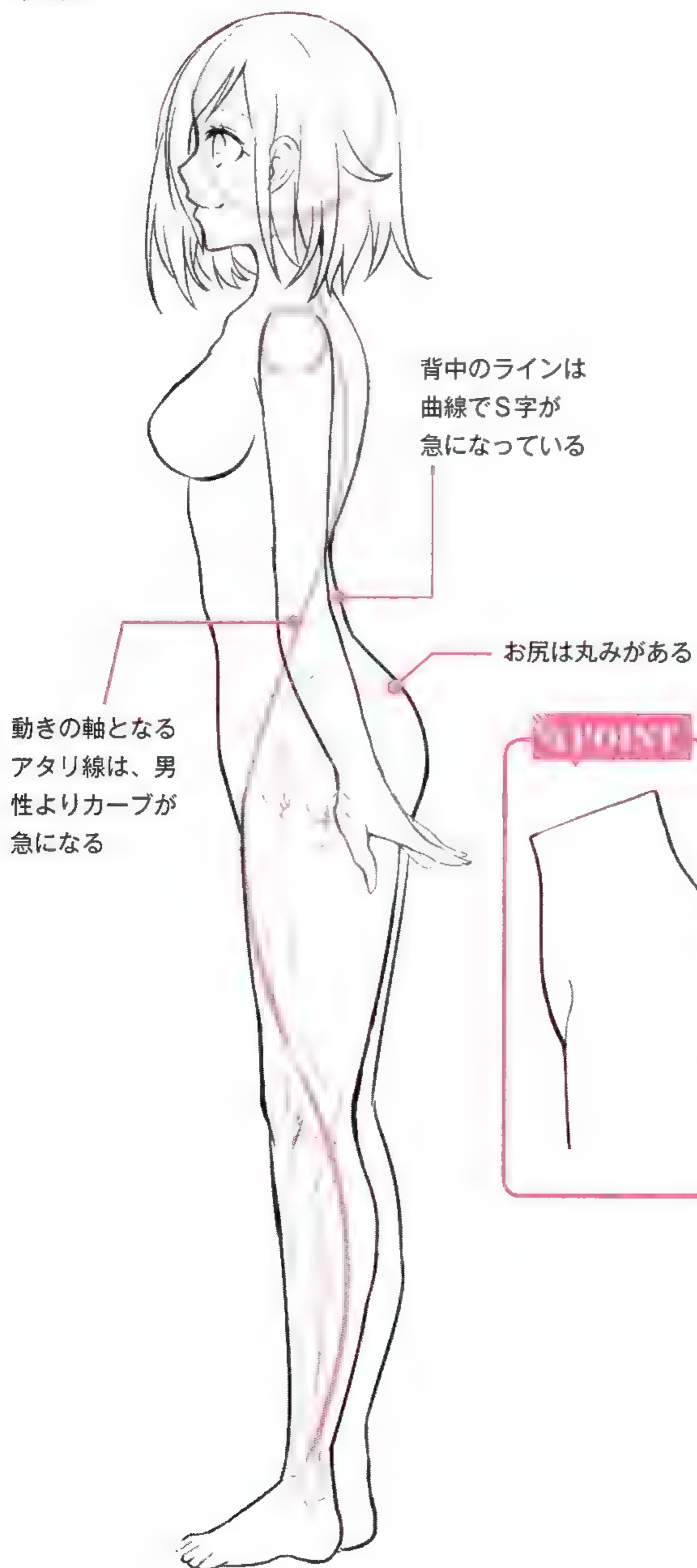
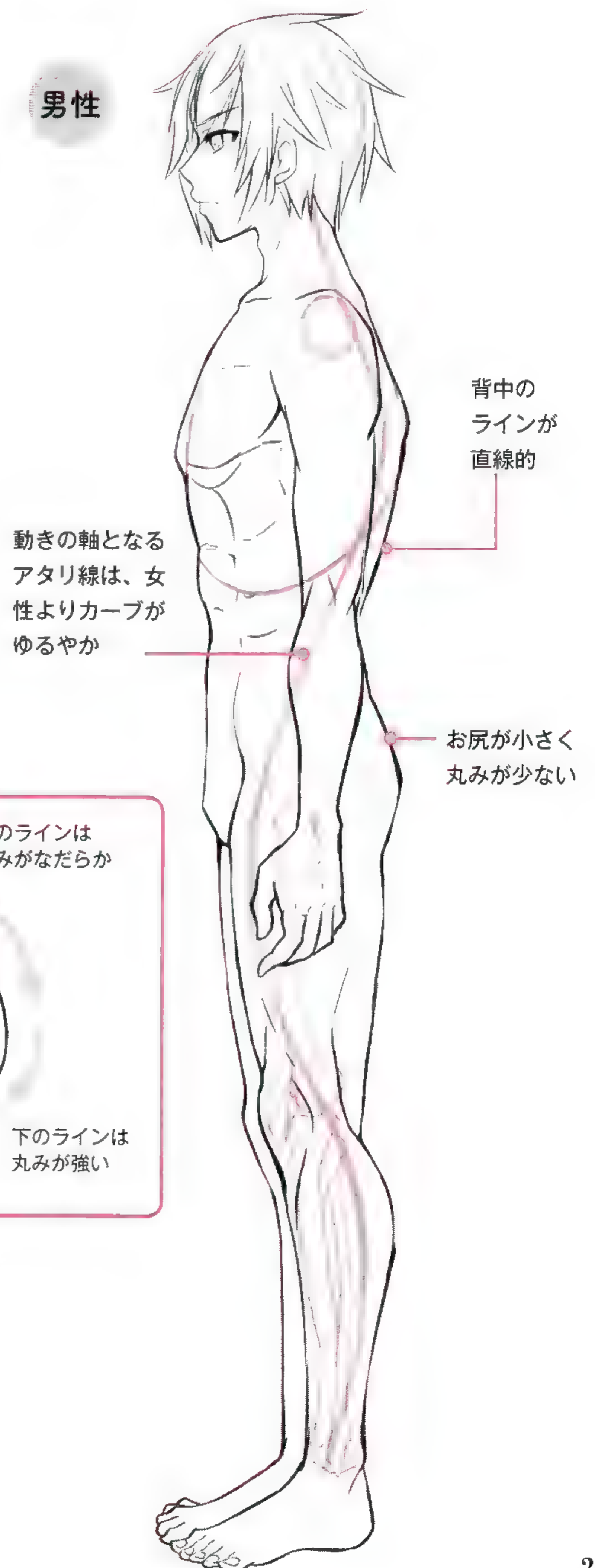
男女の体の基本構造

体のラインの違い

女性と男性の骨格は大きく異なります。体のラインを描くときはその違いを意識しましょう。

Column

女性と男性の胴のシルエット

女性と男性では、肩から下腹にかけての胴のシルエットが大きく異なります。女性は全体に丸みを帯び、ウエストがくびれたひょうたんのような形、男性は全体に直線的で台形を組み合わせたような形をしています。体を描くときは、シルエットをイメージしながら描くとよいでしょう。

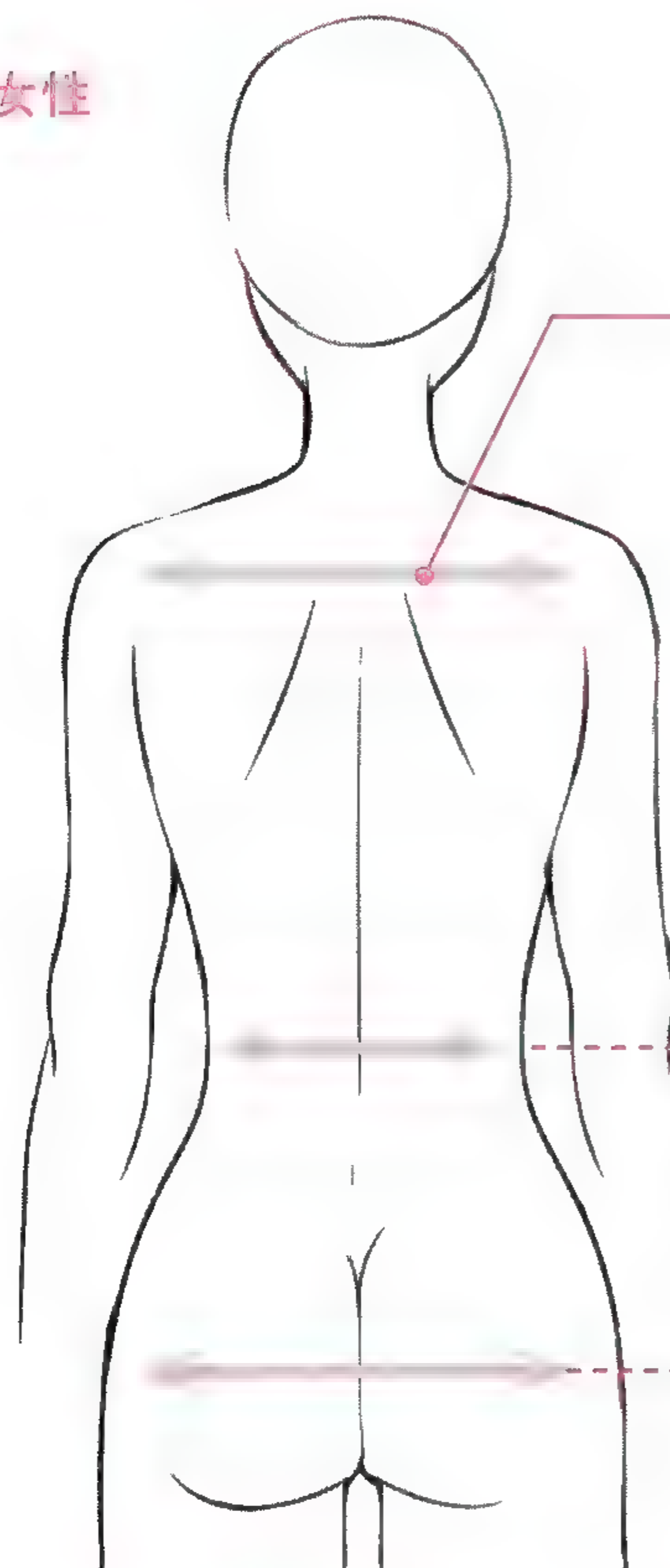
女性　男性

体の幅とライン

男性と女性では、体の幅やラインが異なります。その違いを理解しておきましょう。

女性

男性よりも肩幅が狭い

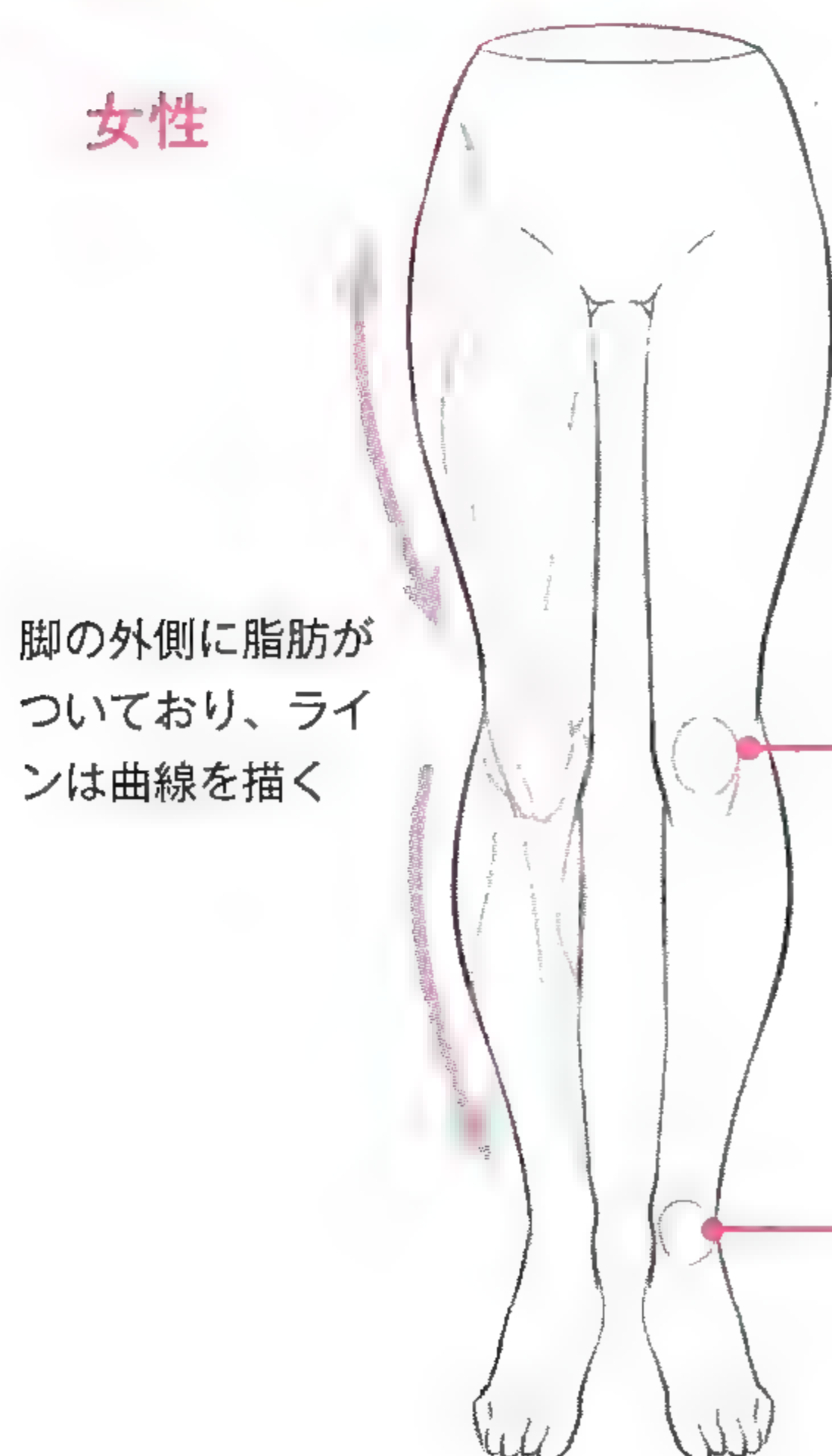
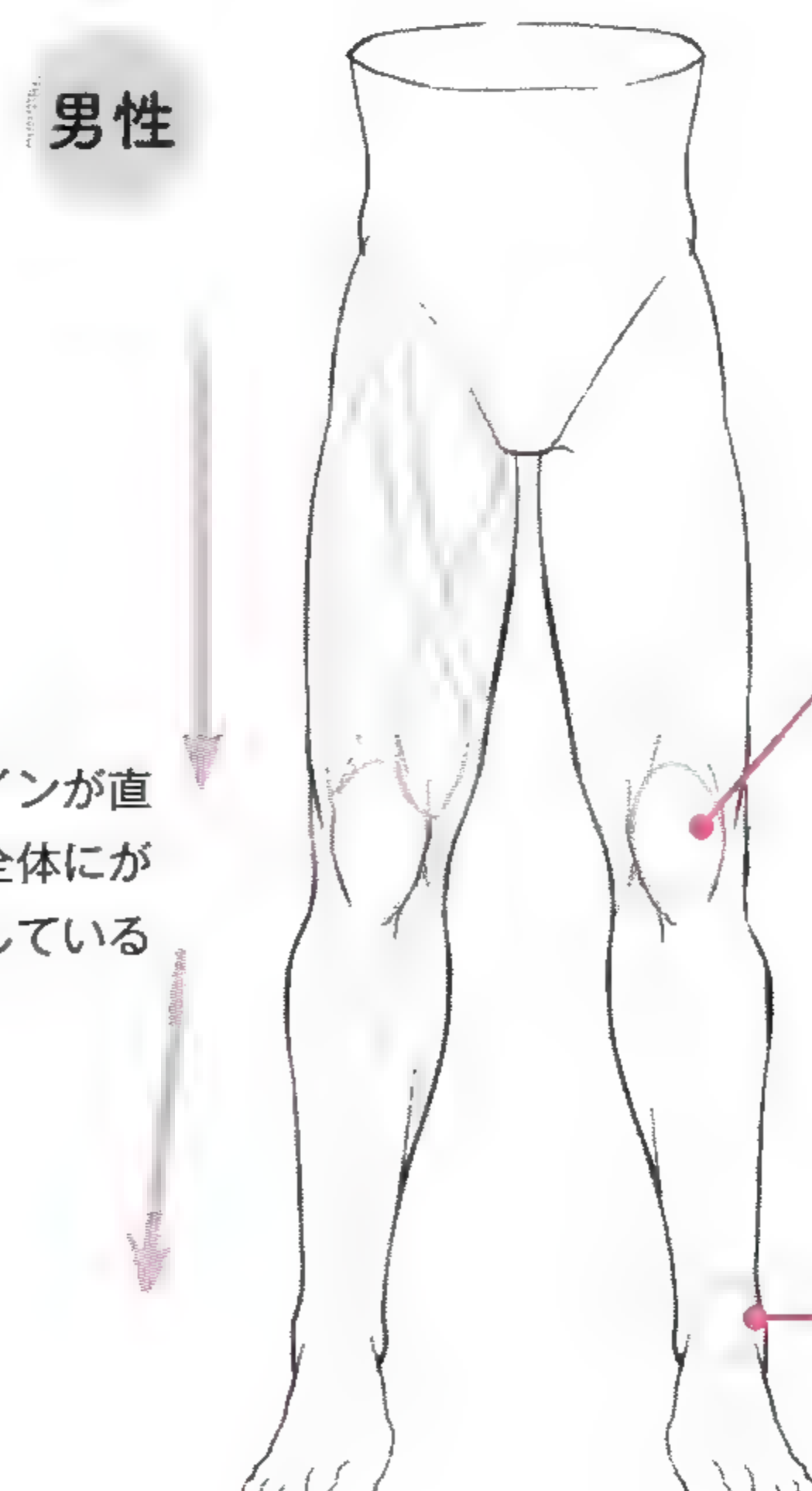
ウエストが細く、尻幅が大きい

男性

女性よりも肩幅が広く、がっちりとしている

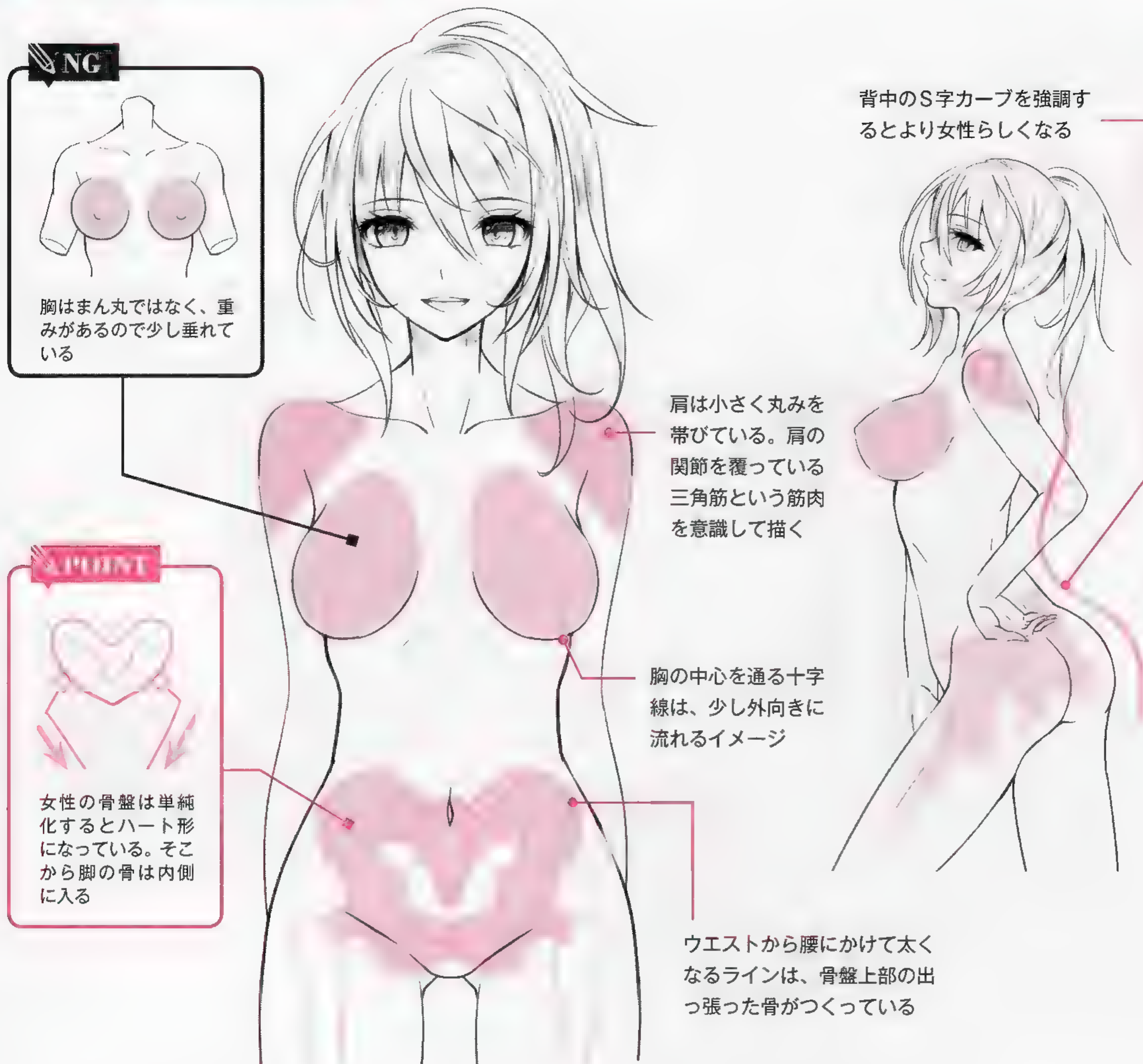
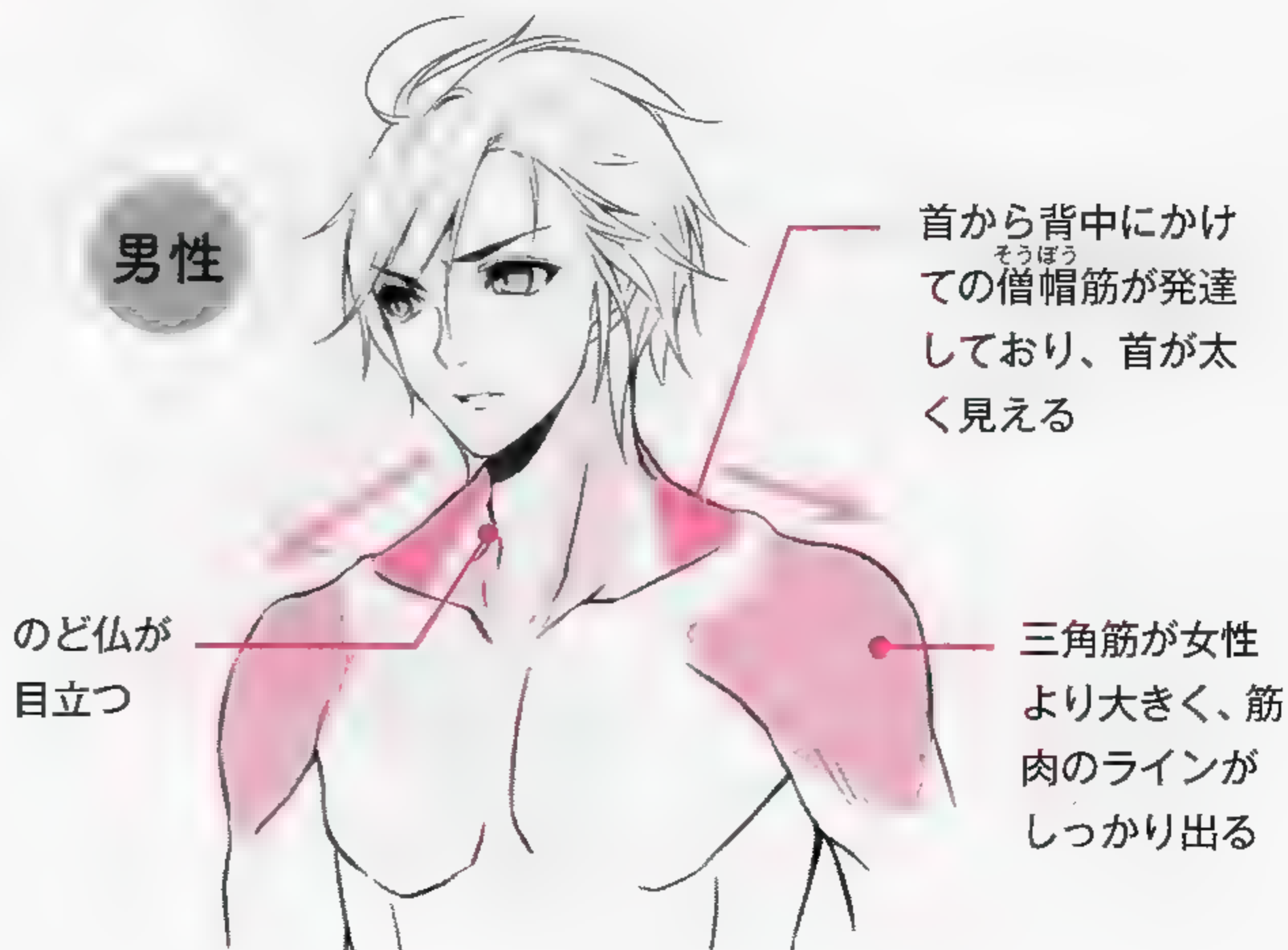
女性に比べてくびれが少ない

女性よりお尻が小さく、骨のへこみによるくぼみがある

脚のライン

男女の脚は、骨格も筋肉のつき方も異なるため、シルエットに大きな違いが出ます。

女の子らしい体

強調するべきポイント

女の子の体には、女の子らしさを演出するいくつかのポイントがあります。そこを強調することでよりかわいく描けるようになります。

筋肉の特徴

華奢に見える女の子の体ですが、筋肉はあります。作品を描くときには、筋肉がどうなっているかを意識するようにしましょう。

女の子の筋肉の特徴

女の子の胴の筋肉

美しいボディラインをつくる女性らしい筋肉を見てみましょう。

乳房は大胸筋の上に乗るようについている。胸のラインがきれいな曲線になるのもこの大胸筋のおかげ

首の前側にある胸鎖乳突筋は、首をひねったときなどに浮き出る

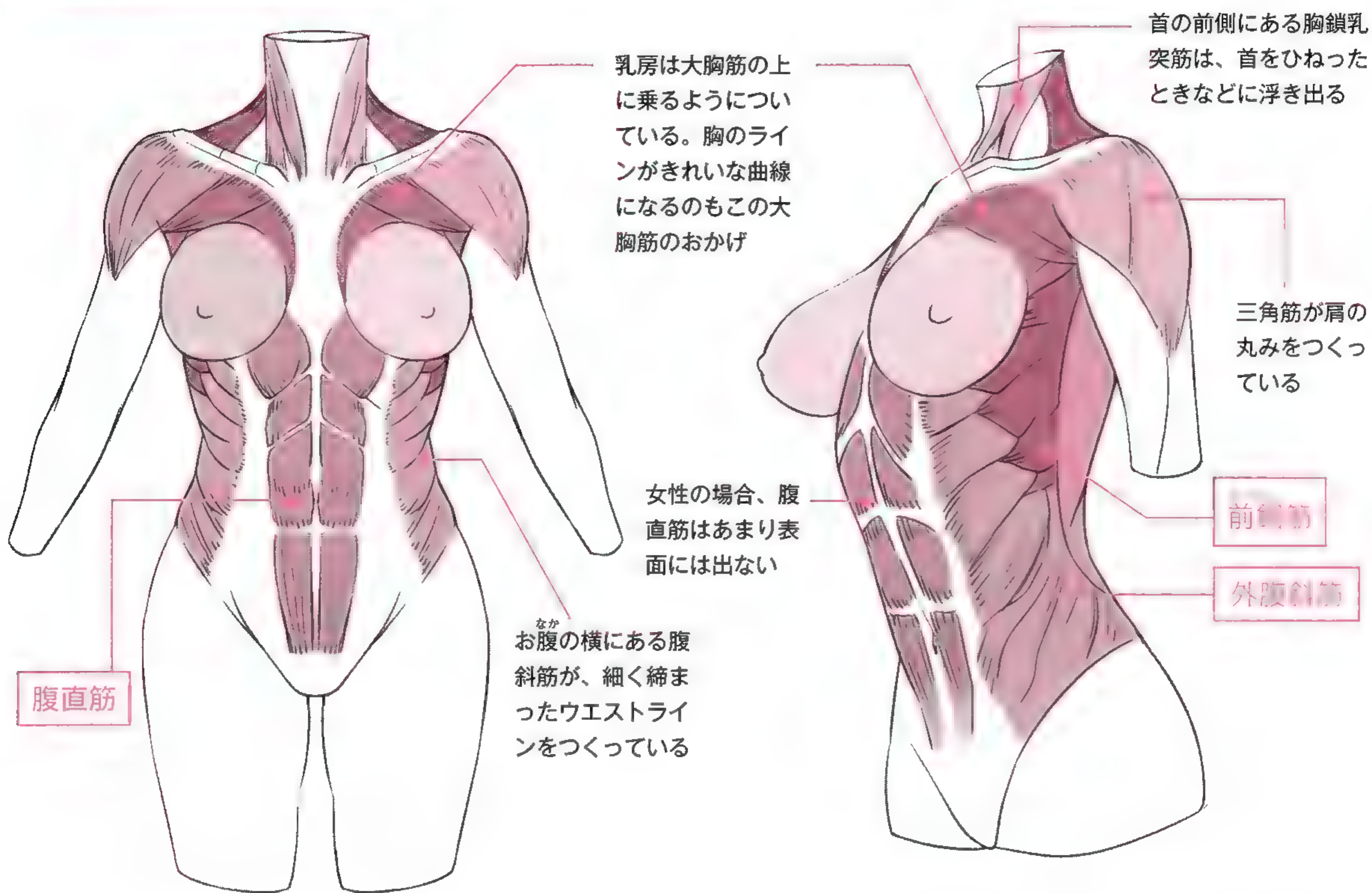
三角筋が肩の丸みをつくっている

女性の場合、腹直筋はあまり表面には出ない

前鋸筋

外腹斜筋

腹直筋

お腹の横にある腹斜筋が、細く締まったウエストラインをつくっている

▼背中

首から背中にかけてつく僧帽筋が男性より少なく、盛り上がりがない。

肩甲骨の周りにも薄く筋肉がついている

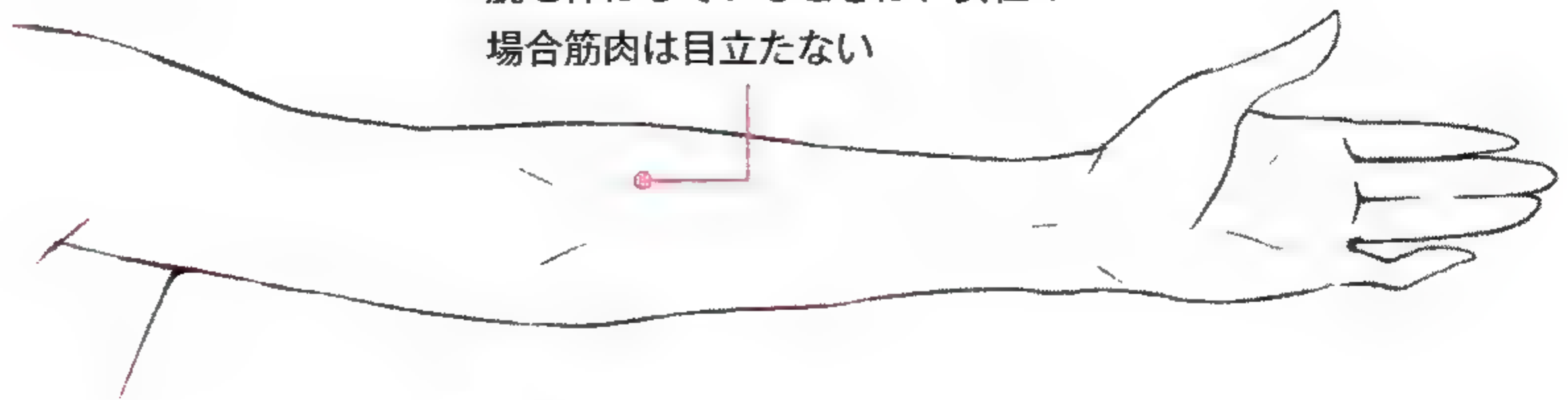
広背筋

▼腕を上げたときの筋肉の動き

腕を上げると三角筋が持ち上がり、大胸筋と乳房がつられる

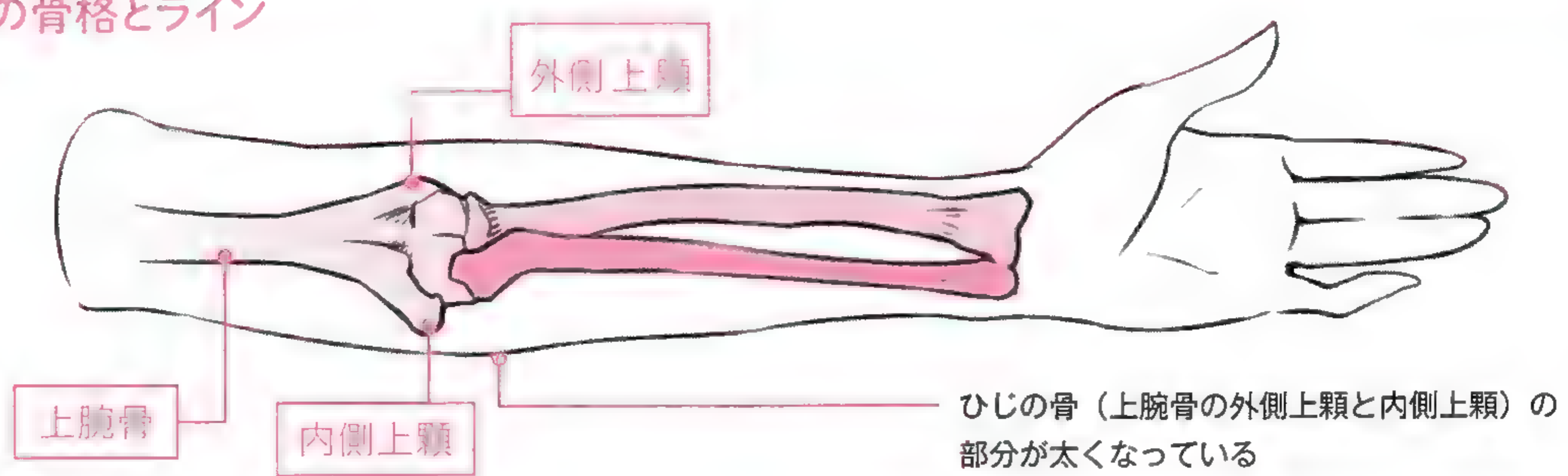
腕と脚の筋肉

曲げたり伸ばしたりと動きの多い腕と脚は、筋肉の表現が重要です。それぞれの特徴を知っておきましょう。

腕を伸ばしているときは、女性の場合筋肉は目立たない

女性

女性の腕は曲げてもゴツゴツせず、肩の三角筋をポイントとして少し盛り上げるとよい

男性

男性の腕は曲げると三角筋、上腕二頭筋が大きく盛り上がる

POINT

腕の骨格とライン

外側上顆

上腕骨

内側上顆

ひじの骨（上腕骨の外側上顆と内側上顆）の部分が太くなっている

Prologue 3

女の子の体のバランス

パーツごとの大きさや長さ、位置のバランスが悪いと不自然なイラストになってしまいます。意識するとよいポイントをご紹介します。

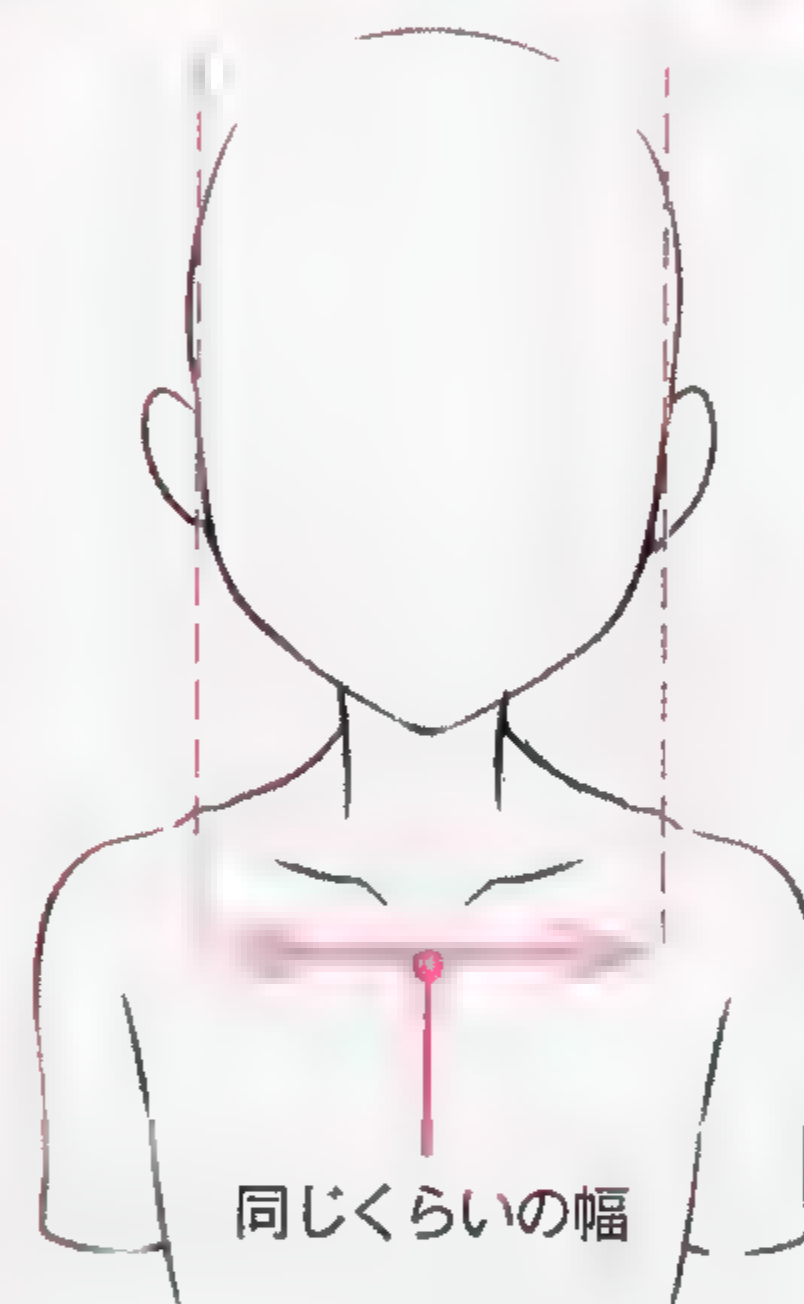
さまざまなパーツのバランス

顔の幅と大きさ

顔の大きさを決めるときは、その他のパーツとのバランスが大切です。

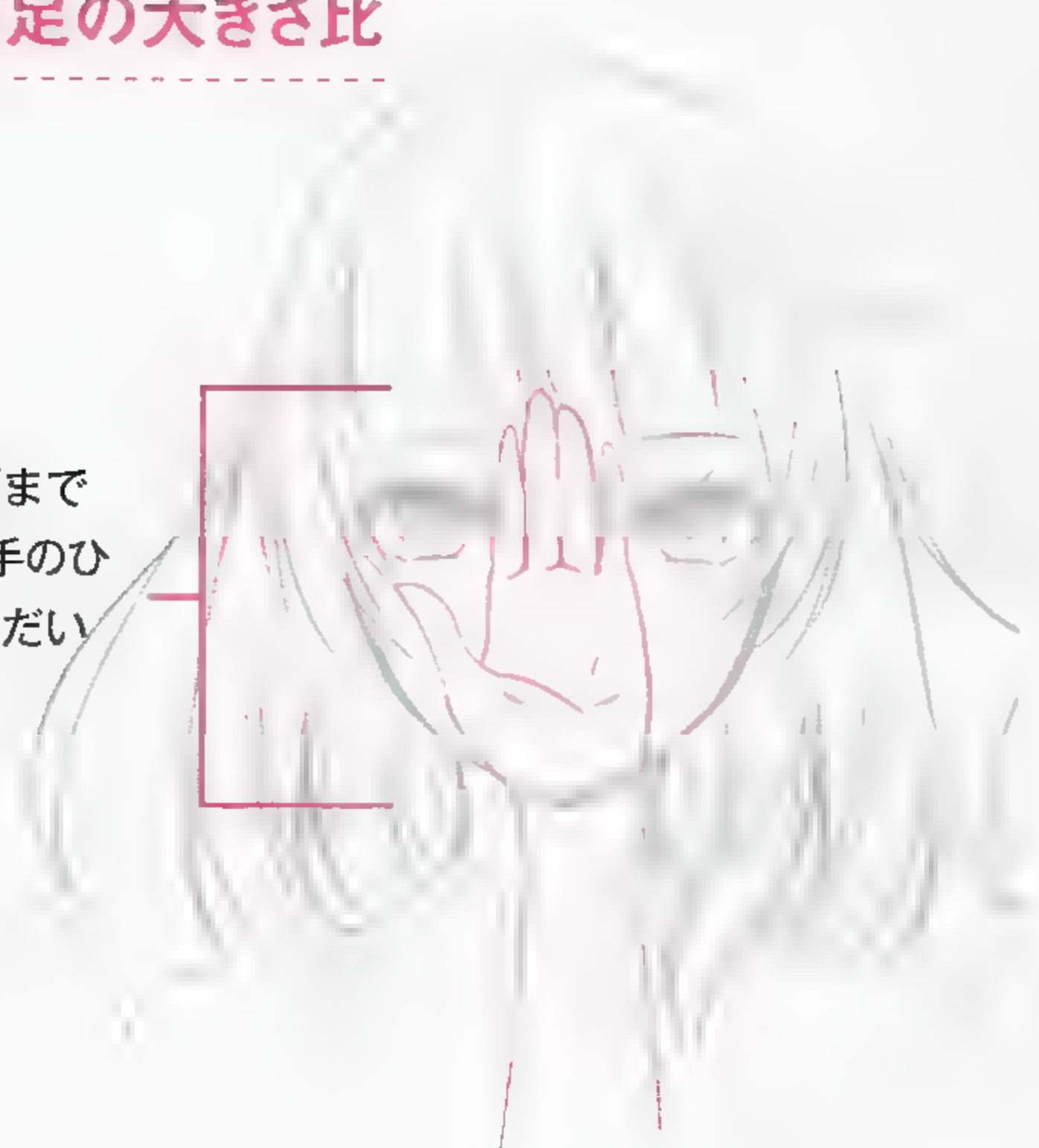
耳の付け根の延長線と脇までの距離は広げすぎないようにする。広くするとがっちりとたくましくなる

POINT

頭が大きいキャラの場合

同じくらいの幅

デフォルメし、あえて頭を大きくするときは、頭の幅と胴の幅を同じくらい、もしくは胴が少し広いくらいにするとよい

▼顔と手足の大きさ比

眉上からあごまでのサイズは、手のひらの大きさとだいたい同じ

足のサイズは、顔のサイズと同じくらい

腕と脚の長さ

腕と脚をバランスよく描くため、関節までの長さを知っておきましょう。

上腕（ひじ上）と前腕（ひじ下）は同じくらいの長さにするとよい

大腿（ひざ上）と下腿（ひざ下）は同じくらいの長さにするとよい

上半身のバランス

胸、腕、へその位置など、上半身を描く際のポイントを押さえましょう。

さまざまな角度からのポーズ

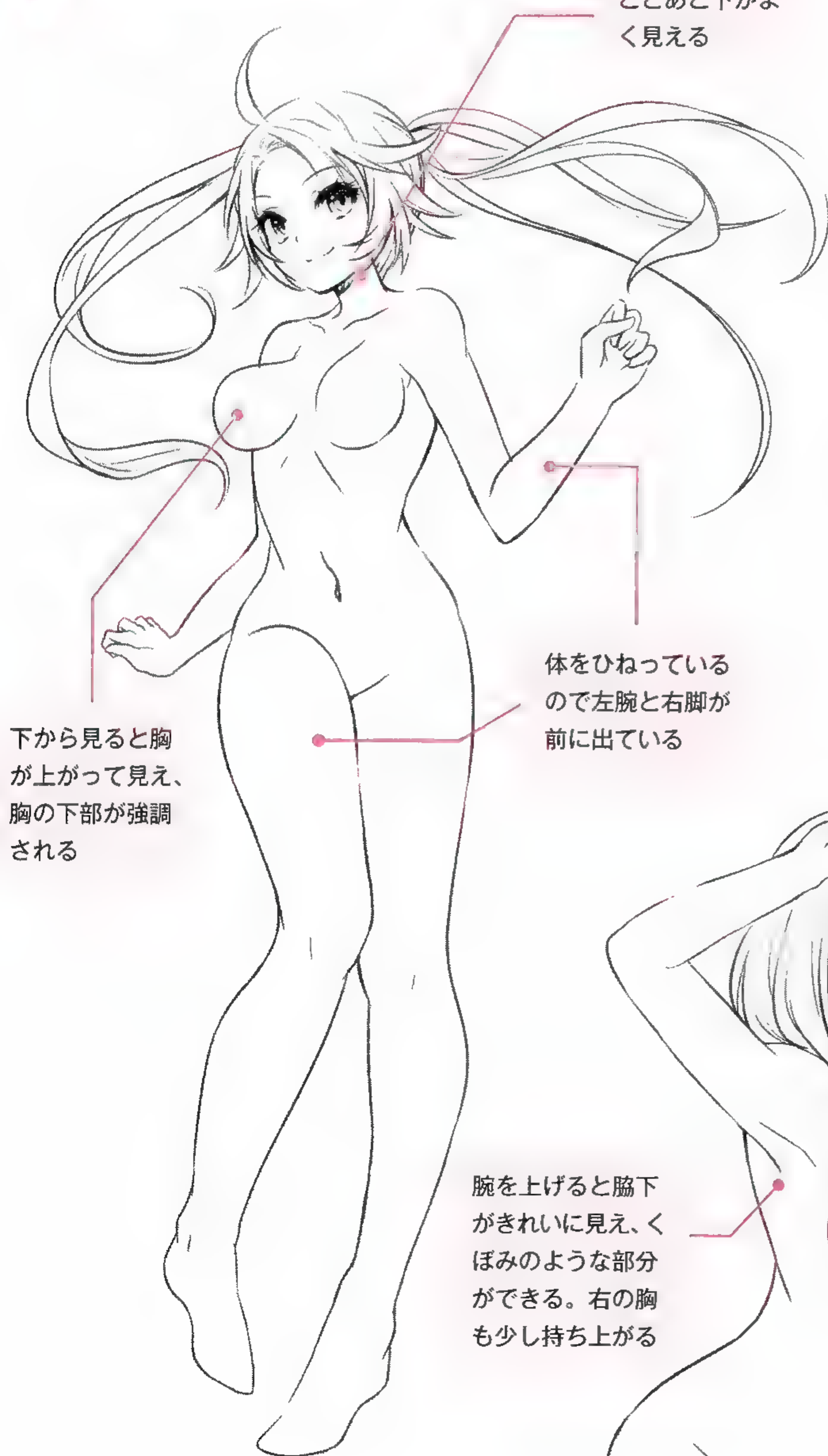
女の子の体の基本のつくりをマスターしたら、さまざまな角度から見ていきましょう。

角度による見え方の違い

女の子のポーズや、どこから女の子を見るかによって強調するべきポイントが変わってきます。作品の立体感をつくるときにもこの考え方が必要になります。

下から

体をふんわり右にひねり、右ひざを内側へ入れて内股を強調した女の子らしい立ちポーズ

下から見るとあごとあご下がよく見える

下から見ると胸が上がって見え、胸の下部が強調される

体をひねっているので左腕と右脚が前に出ている

横から

大切そうに本を抱えている女の子を真横から見たところ

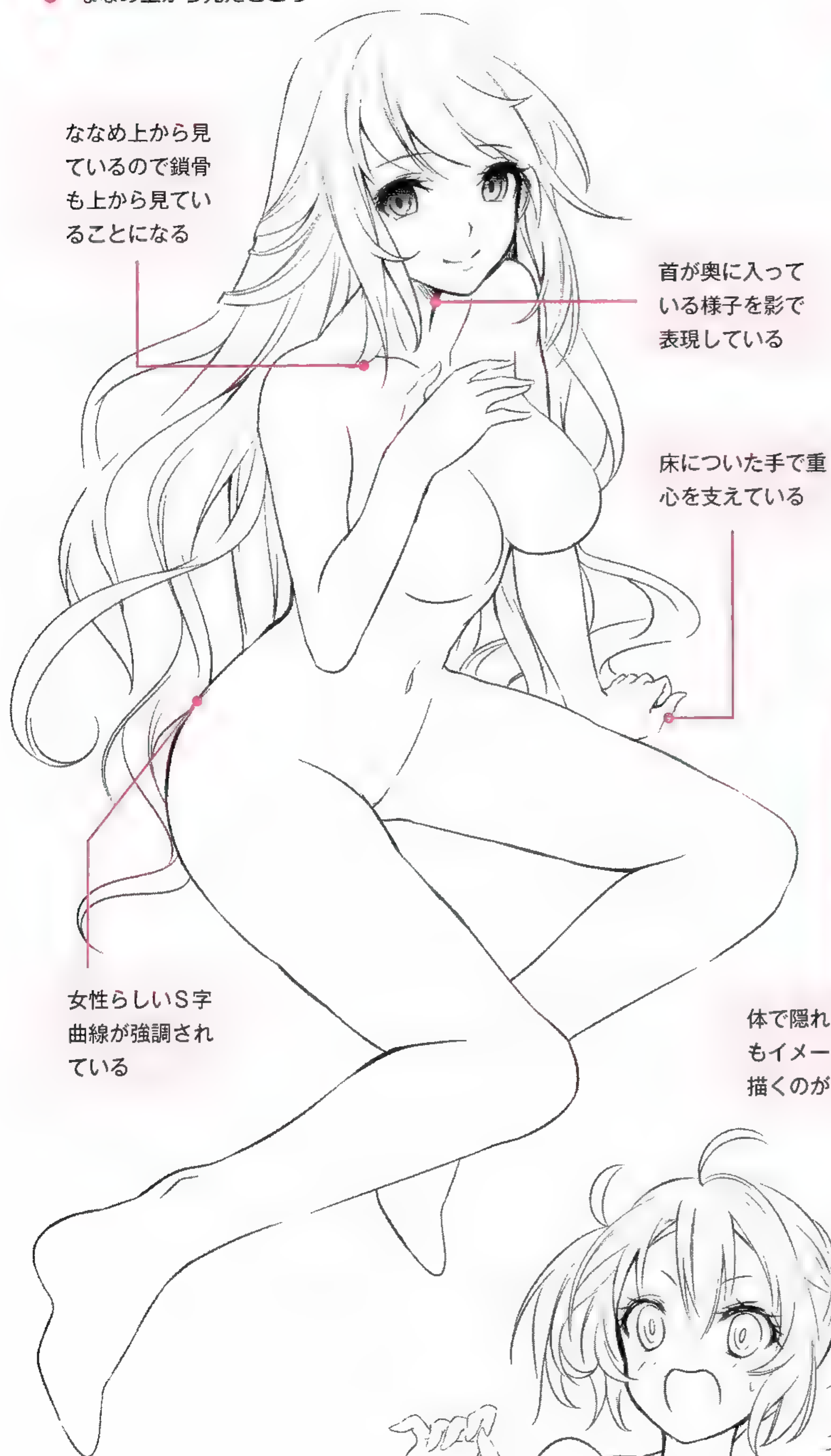
真横から見ると背中から腰にかけての女性らしい曲線がきれいに見える

なかめ上から

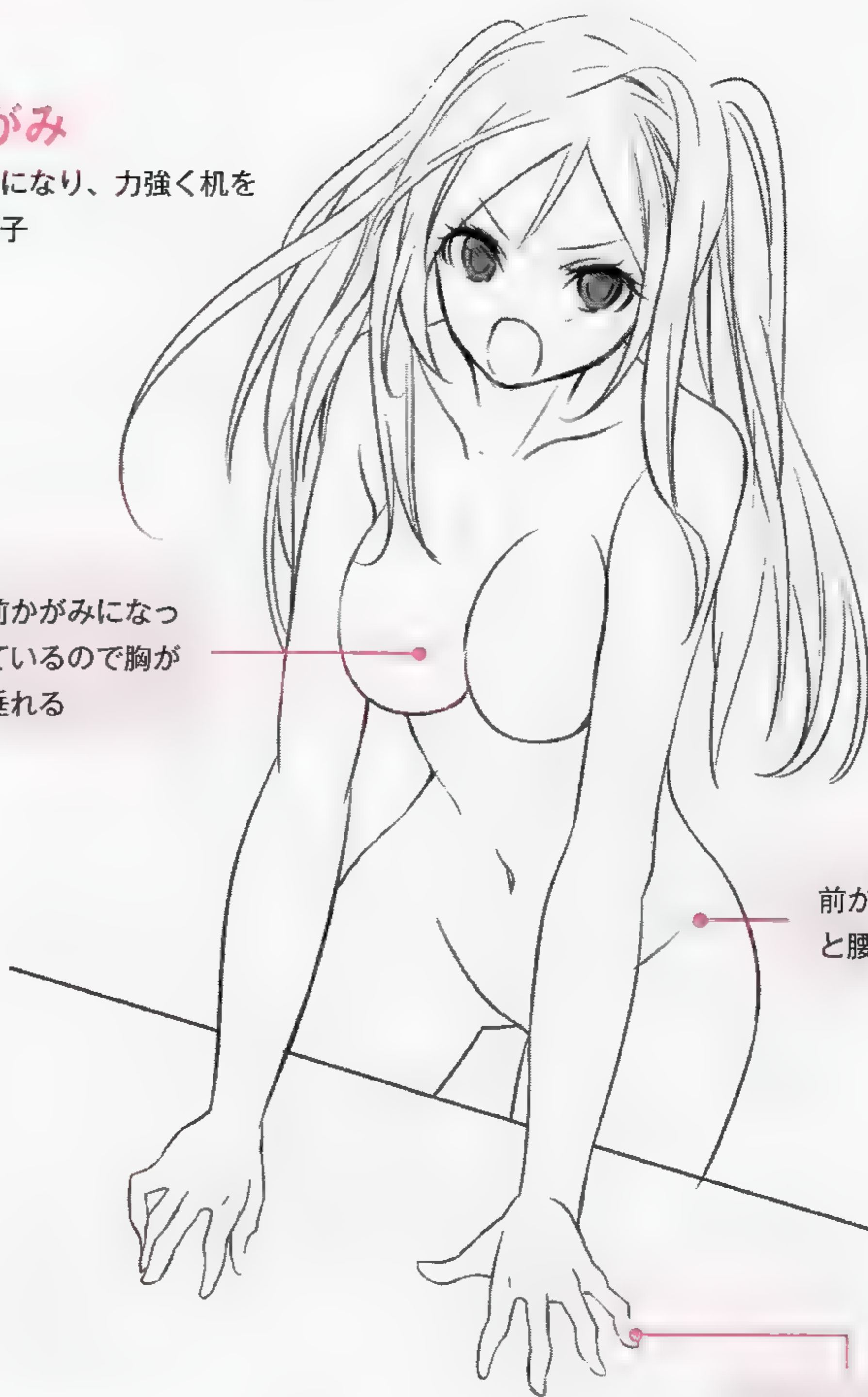
上目遣いでポーズをきめる女の子をななめ上から見たところ

腕を上げると脇下がきれいに見え、くぼみのような部分ができる。右の胸も少し持ち上がる

上から見ているので胸の上部がよく見える

ななめ上から
ななめ座りで上目遣いをしている女の子をななめ上から見たところ
ななめ上から見ているので鎖骨も上から見ていることになる
首が奥に入っている様子を影で表現している
床についた手で重心を支えている
女性らしいS字曲線が強調されている
ななめから
片腕を後ろに回した女の子をななめから見たところ
体で隠れている部分もイメージしながら描くのがポイント
腕を後ろに回すと体が反った状態になるため、胸を張っている
のけぞる
驚いてのけぞった瞬間のポーズをななめからとらえたところ
胸の下部がよく見える
大きく背中を反っているのでウエストのラインが強調される

ほぼ正面から
腕をクロスして座っている女の
子をほぼ正面から見たところ
腕をクロスさせてい
るので肩が内側に入
り、背中が丸くなる
顔を少し下げて
いるので首が埋
まって見える
ひざをつかんで
いる指の曲がり
方が自然になる
ように注意する
背中を丸めると
お腹側はへこむ
あごは肩より後ろ
には回らないので
角度に注意する
ななめ上から
ベッドに寝そべっている女の
子をななめ上から見たところ
肩を後ろに寄せて
いるので肩甲骨が
強調される
寝そべっている様子を出す
には、シーツのしわなどを
入れて体重がかかっている
ことを表現するとよい
背骨のくぼみを表現するラ
インを入れることで、背中
が反っているのがわかる

前かがみ

前かがみになり、力強く机を叩く女の子

前かがみになっているので胸が垂れる

前かがみになると腰は奥にいく

指先に力が入っている

ななめ上から

上目遣いでこちらを見ている女の子をななめ上から見たところ

上から見ているので頭頂部がよく見える

上から見るので鎖骨がくっきりとしている

ほぼ正面から

モデル風のポーズをきめた女の子をほぼ正面から見たところ

通常、肩が上がっているほうに頭も傾く

下から
ふわっと空を飛んでいる女の子を下から見たところ
振り返る
こちらを振り返った瞬間の女の子を横からとらえたところ
あごは肩より後ろには回らないので角度に注意する
手前側の肩甲骨のラインを入れて立体感を表現している
下から見ているので手前側の腰から脚にかけての曲線が強調されている
つま先を伸ばすことでふんわりと浮遊している様子を表現
背骨のくぼみのラインを入れることで背中が反っていることがわかる
横から
リラックスした状態で座っている女の子を横から見たところ
こちら側の腕に重心がかかっており、肩が内側に入っている
横から見ているので脚の側面が見える

Chapter. 1

女の子の体のパーツについて

頭から足まで、女の子の体を構成する
パーツの基本の描き方を押さえ、
それぞれがどのように動くのかを知っておきましょう。

Chapter.1

Lesson 1

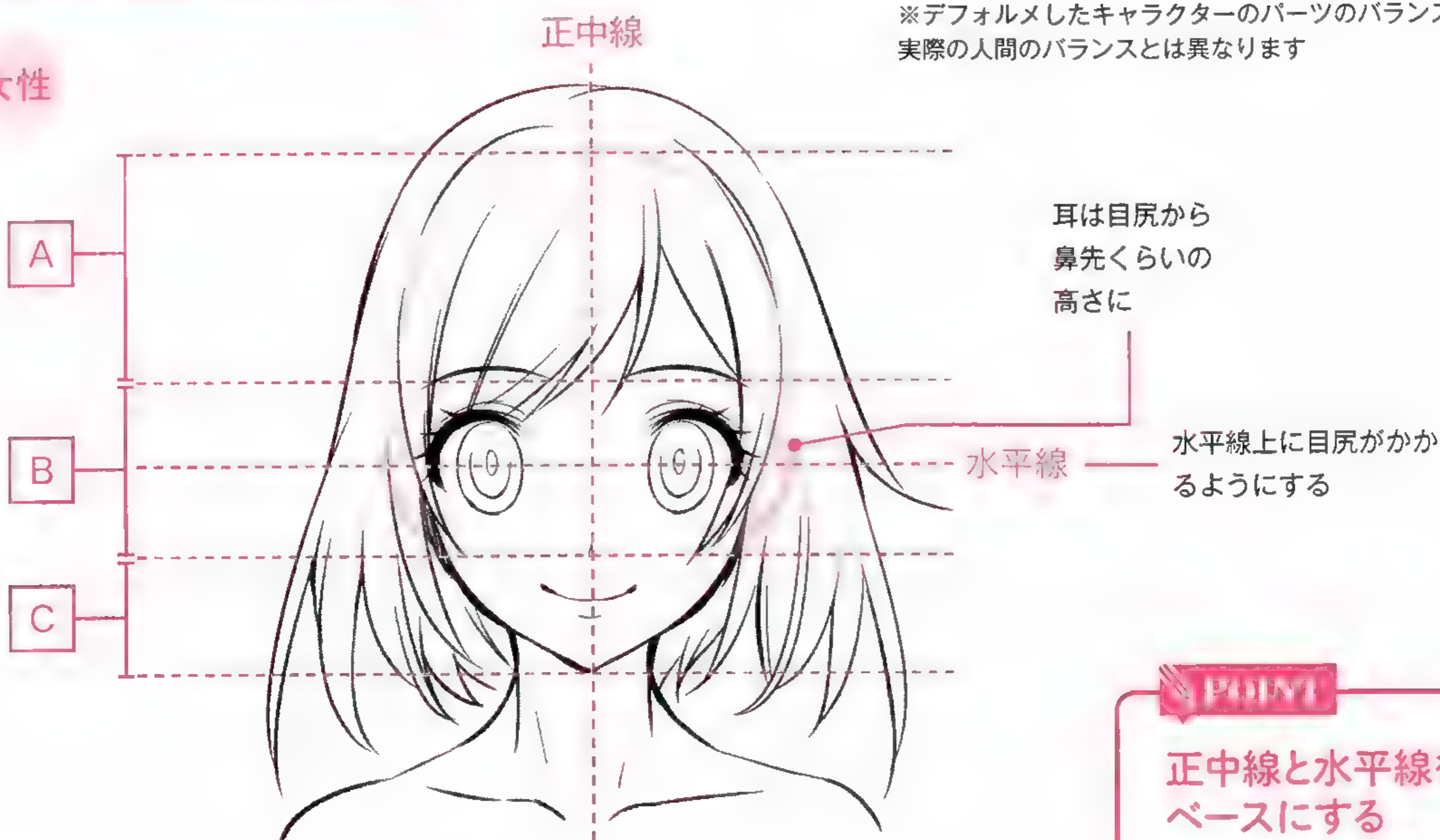
パーツについて

上半身のパーツ

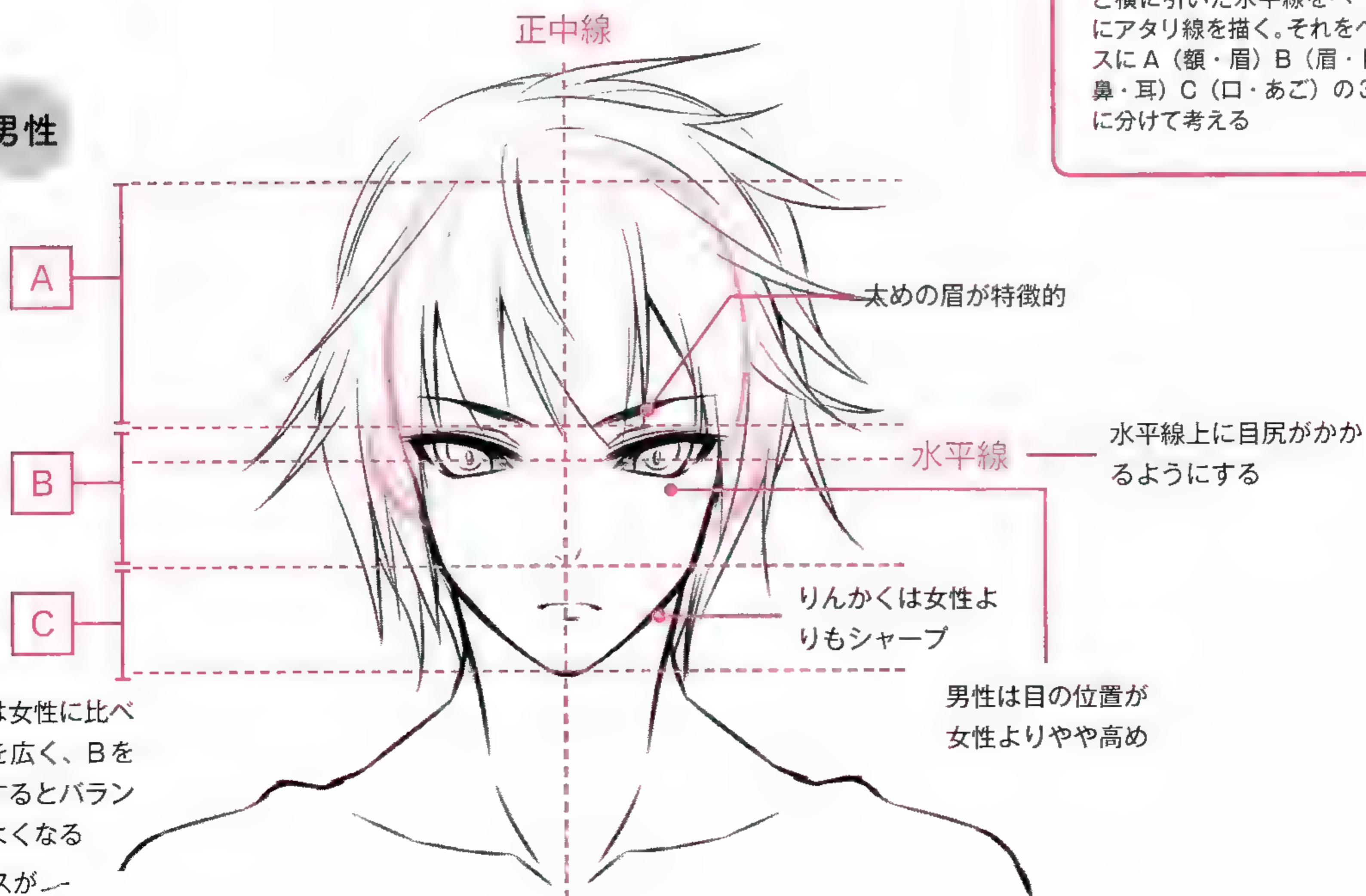
顔から胴にかけての上半身の描き方を細かく見ていきましょう。女性らしさの象徴である胸やくびれがポイントです。

顔の基本

顔のパーツのバランス

目、鼻、口などの顔のパーツは、顔を3つの部分に分けて考えるとバランスよく描けます。男女によって、その3つの比率は異なります。

POINT

正中線と水平線をベースにする

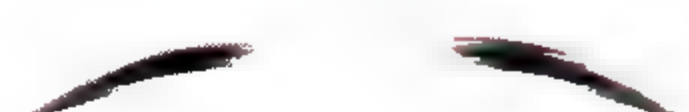
頭の中心に縦に引いた正中線と横に引いた水平線をベースにアタリ線を描く。それをベースにA（額・眉）B（眉・目・鼻・耳）C（口・あご）の3つに分けて考える

角度による顔の見え方

角度をつけて顔を描くときは、正中線と水平線の取り方を変えることでバランスよく描くことができます。

顔のパーツのバリエーション

キャラに合わせて眉、目、鼻、口、りんかくを変えていくことは重要です。各パーツのバリエーションを見ていきましょう。

眉

キリッとしてシャープな印象

弱気で困った印象の下がり眉

眉の幅を太めにすると素朴な印象

アーチを描いたナチュラルな眉

目

ぱっちりした目。ハイライトは小さめに複数入れるとキラキラに見える

幼い目。ハイライトが大きく、瞳自体も大きめに

つり目。ぱっちりした目に比べて横に長く、目尻を上げて描く

じと目。まぶたを半目状態にする。感情を出さないイメージ

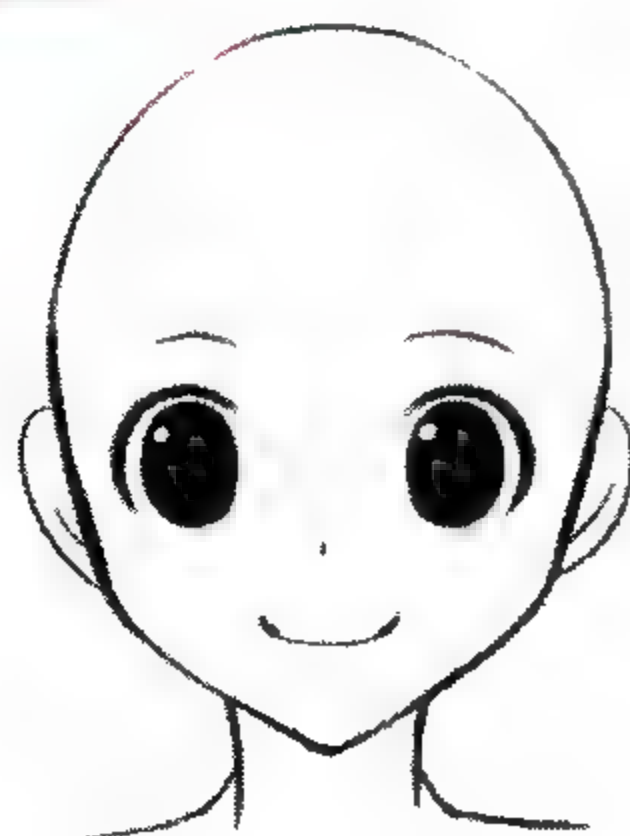
鼻

鼻筋を短く、鼻自体も小さめにするとかわいく見える

面長に描く場合、鼻筋も長く描くとバランスがよくなる

鼻筋をまっすぐ落とした厚みのある鼻。意志が強い印象

アニメ調の簡略式の鼻

口

シンプルな口

唇の線を上下に入れて少しリアルに

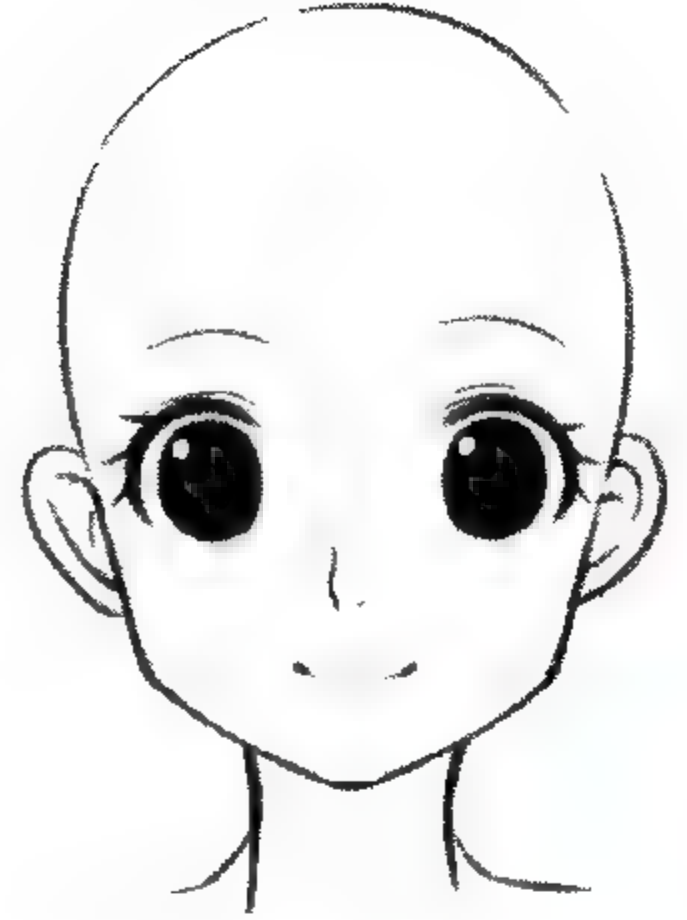
唇の厚さを強調した口。セクシーな印象に

八重歯が特徴の口

▶りんかく

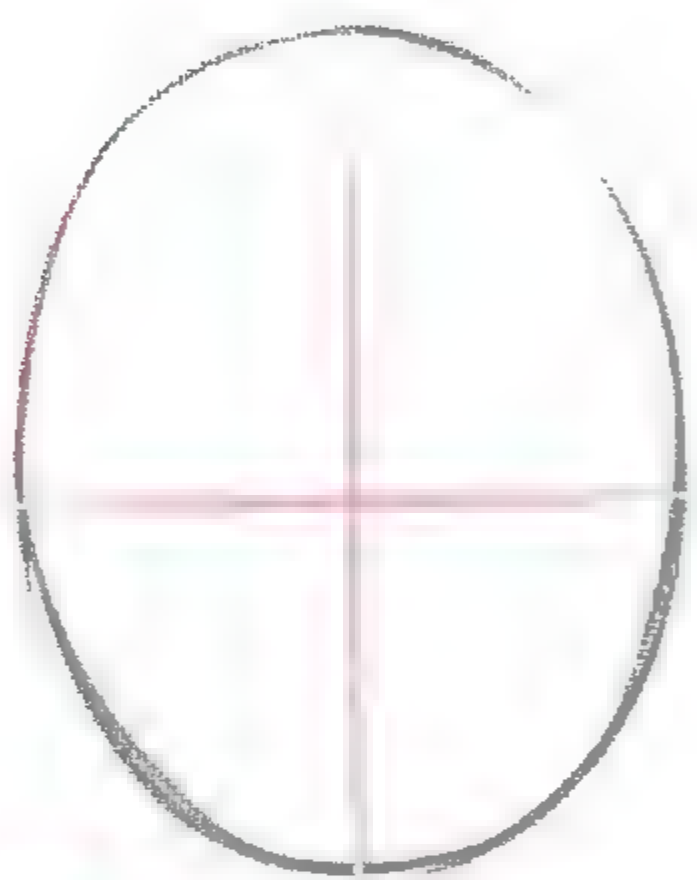
丸顔。ふっくらとしたほおと丸いあごが特徴。童顔な印象

逆三角形のりんかく。クールで知的な印象。細すぎるとほおがこけて見えるので注意

面長な顔は落ち着いた印象。ほおから下を長めにするのがポイント

横幅が長めの顔。ホームベースのようなりんかくで直線的

顔の描き順

各パーツを組み合わせて顔を描いてみましょう。描きやすい順番でOKですが、基本的な流れを押さえましょう。

1 アタリとなる丸を描く

2 アタリとなる正中線と水平線を十字に引く

3 正中線と水平線を目安にりんかくを描く

4 水平線上に目の幅をとり、正中線上に鼻を描く

5 目の形を決め、口のアタリをとる

6 目の形を描き、口や眉などを描く

完成

首～肩の基本

首の伸び縮み

頭の傾け方によって、首の伸び縮みする位置は変わります。いろいろな角度で描けるようにしましょう。

肩の描き方の基本

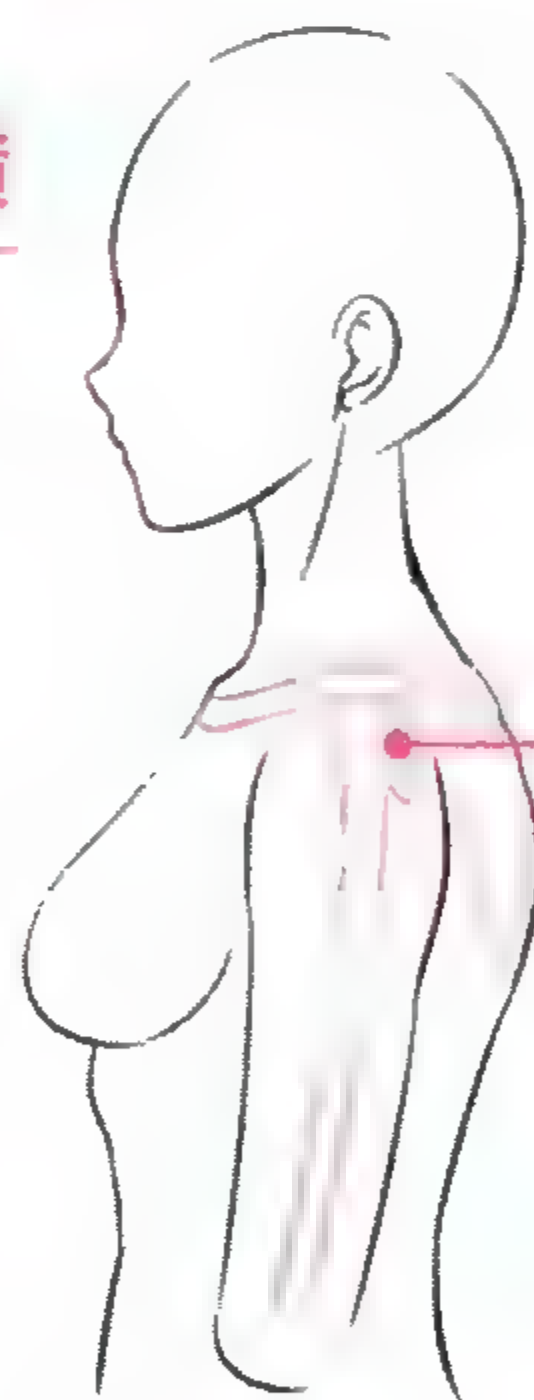
正面、横、後ろからの肩の形の見え方をマスターしましょう。また、腕を上げると肩も一緒に上がります。

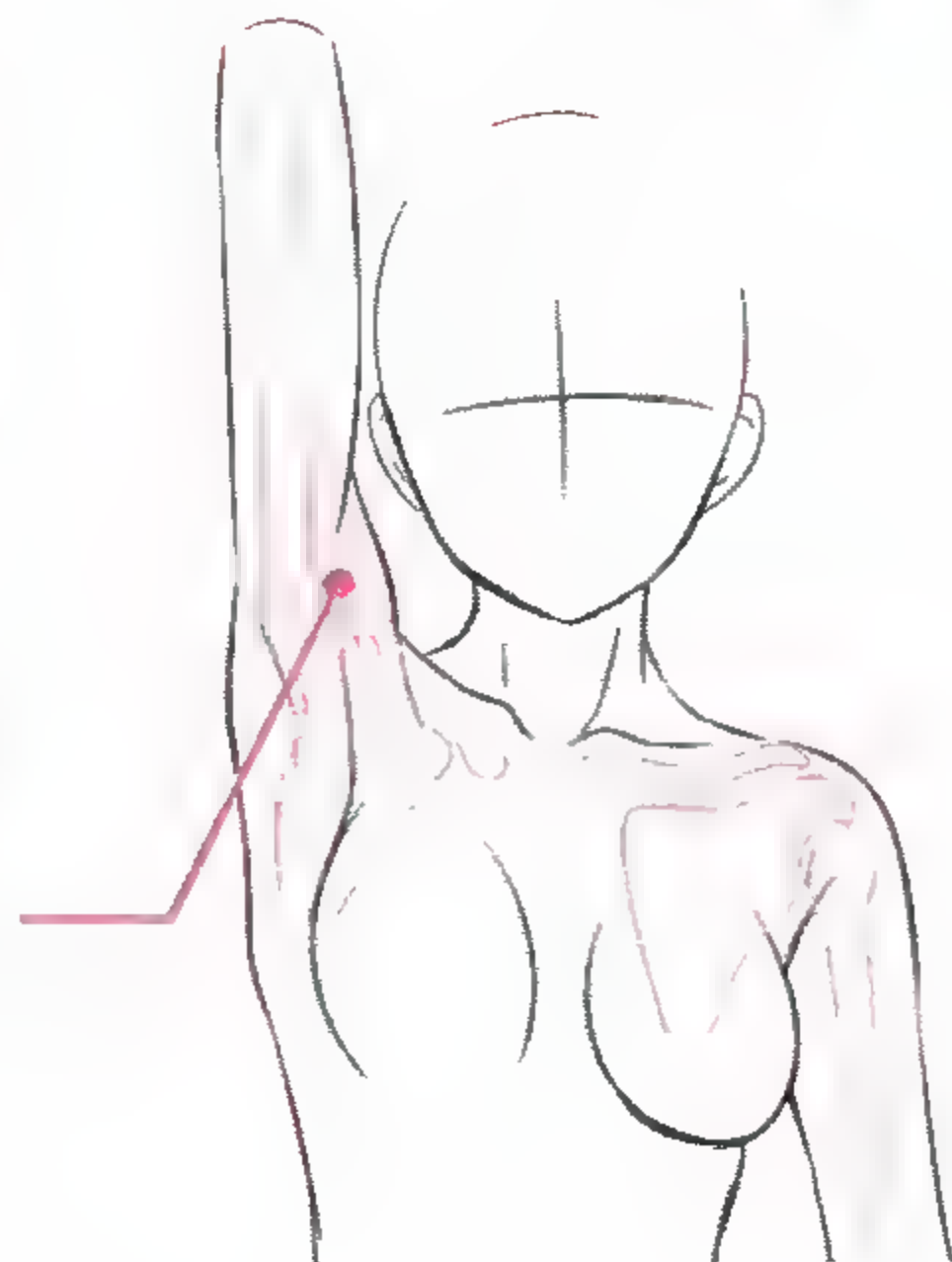
▶正面

首から肩にかけてのラインはなだらかな線でつながっている

肩の骨の部分は少し盛り上がって見える

▶横

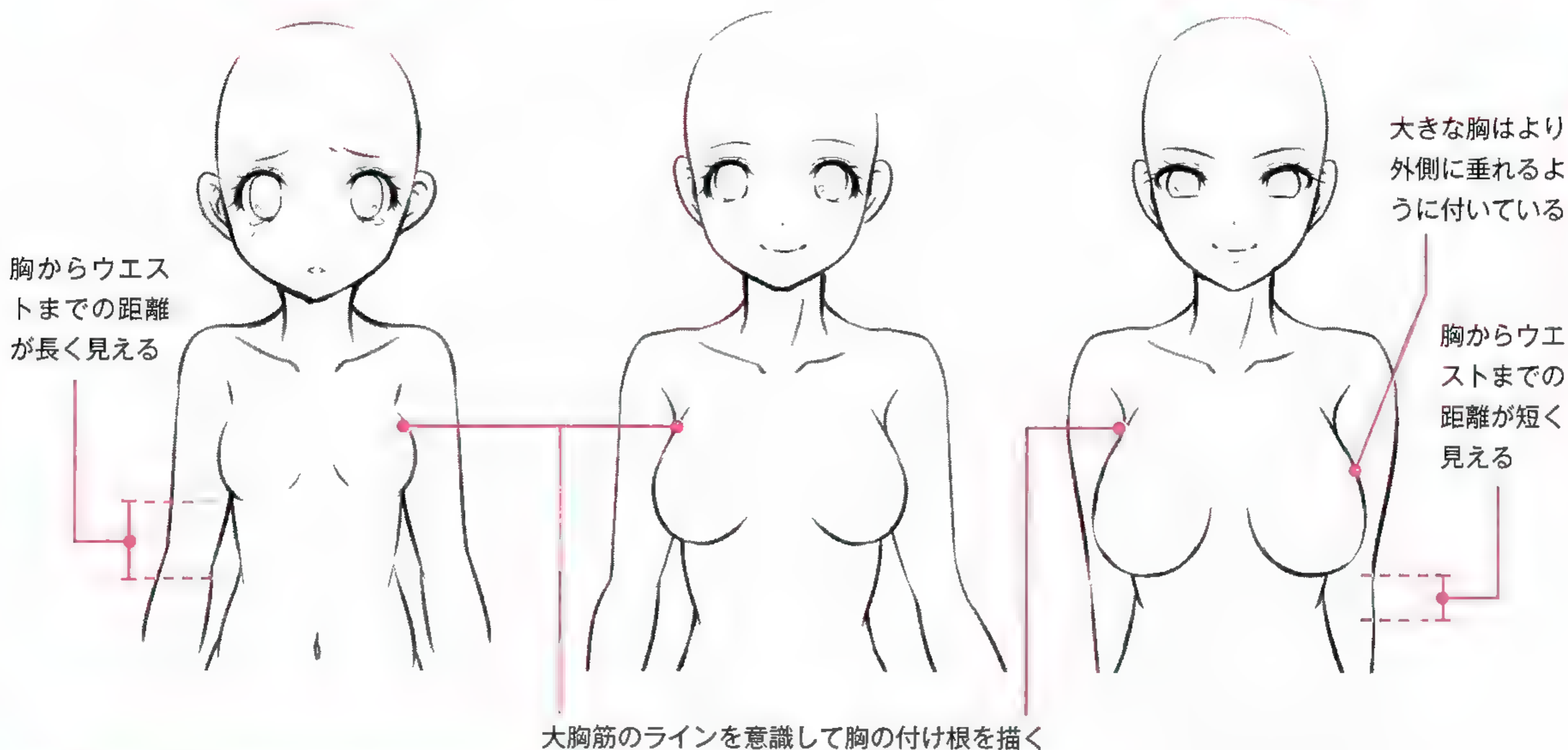
横から見ると肩の骨は目立たない

▶腕を上げたとき

肩も腕とともに上がる。中にある骨をイメージして描くのがポイント

POINT 鎖骨の描き方

鎖骨は横向きのＳ字をイメージして描くとよい。濃く描くとゴツゴツした印象になるので女の子を描く場合は控えめに

胸の基本

胸の大きさの種類

胸の大きさはキャラクターの個性を表現する大切な要素です。小さな胸も大きな胸も体に対してどう付いているのか知っておきましょう。

角度による胸の見え方

ななめから、上から見たときの胸の見え方を見ていきましょう。

▶ななめから

▶上から

POINT

胸を寄せる

胴の基本

胴を構成するパーツ

首～肋骨（ろっこつ）までの「胸」、肋骨から骨盤までの「お腹」、骨盤から下の「腰」の3つに分け、骨や筋肉を意識して描く。

胸

お腹

腰

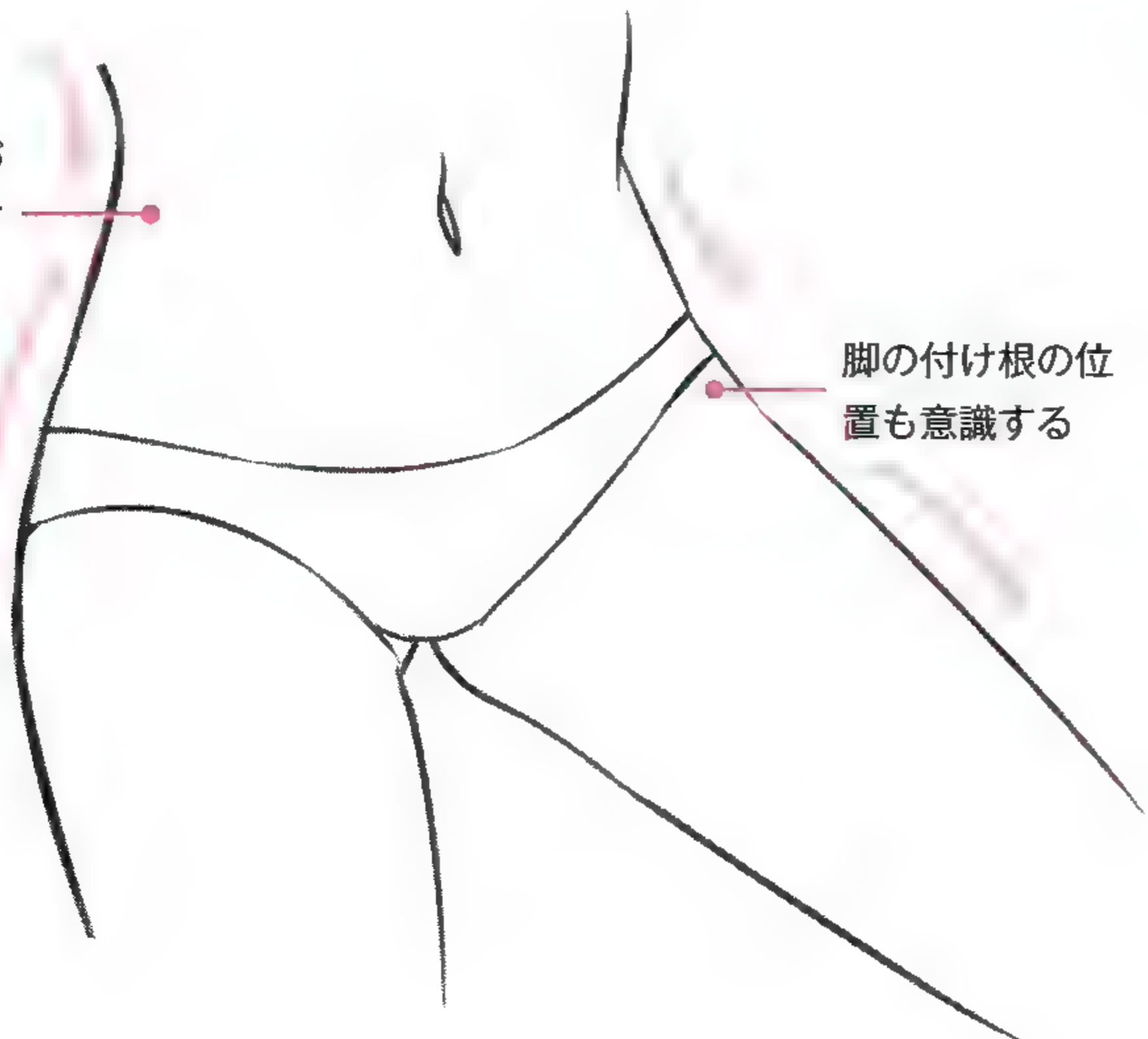
ライン の取り方

体の曲線を描くときは、パーツごとに動きを加えると自然なS字ラインになる

NG

ウエストのくびれやお腹の肉感を無視すると直線的なラインになり、女性らしさがなくなる

くびれの描き方

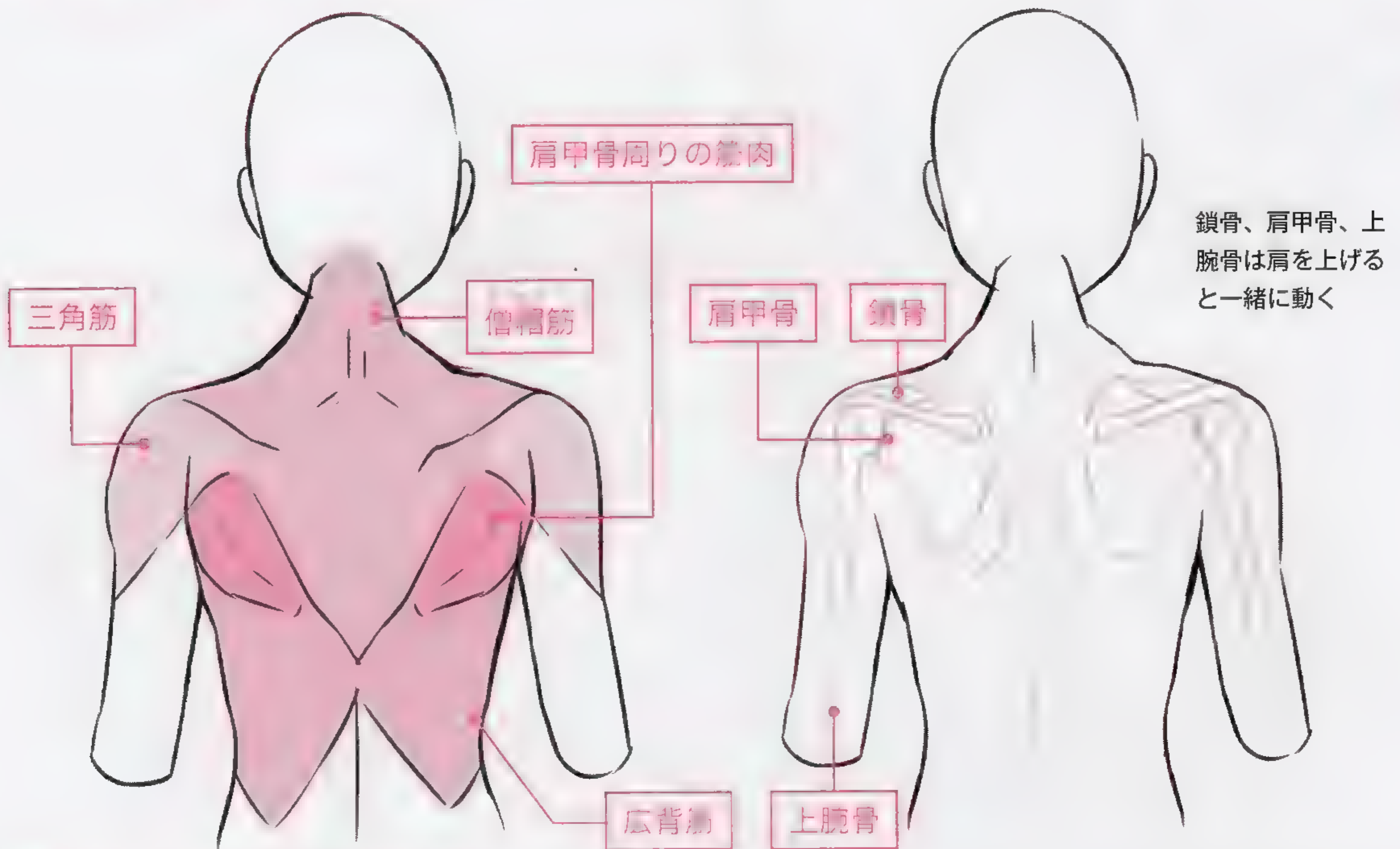
なだらかにくびれたウエストは女性ならではのもの。自然なくびれを描けるようにしましょう。

POINT

肉感を強調する

プヨッとした肉部分を強調するとよりリアルに、そしてセクシーに表現することができる

背中の基本

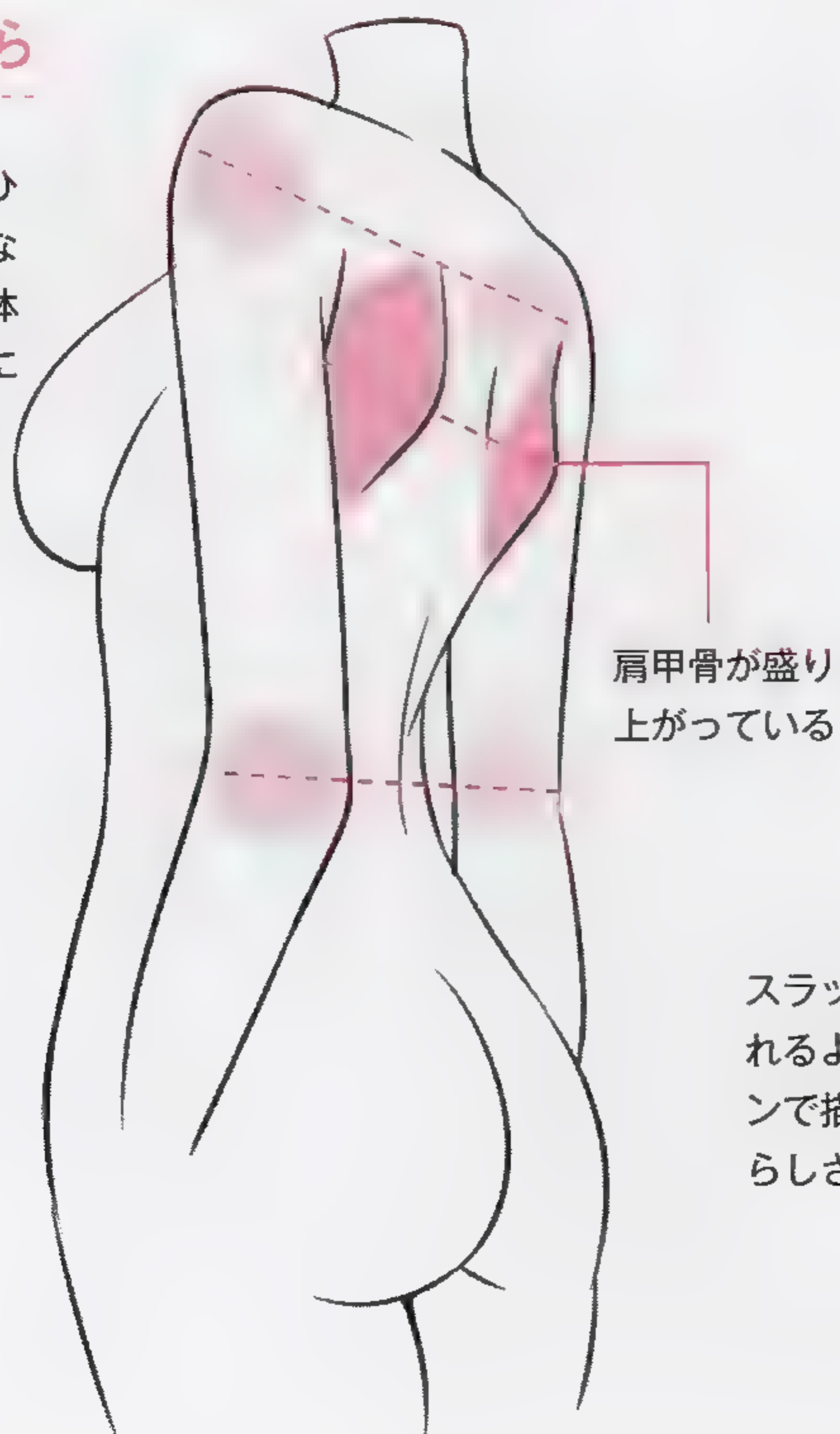
背中の筋肉と骨格

華奢でしなやかな背中は女の子を魅力的に見せてくれます。背中の筋肉や骨格がどうなっているかを知っておきましょう。

角度による背中の見え方

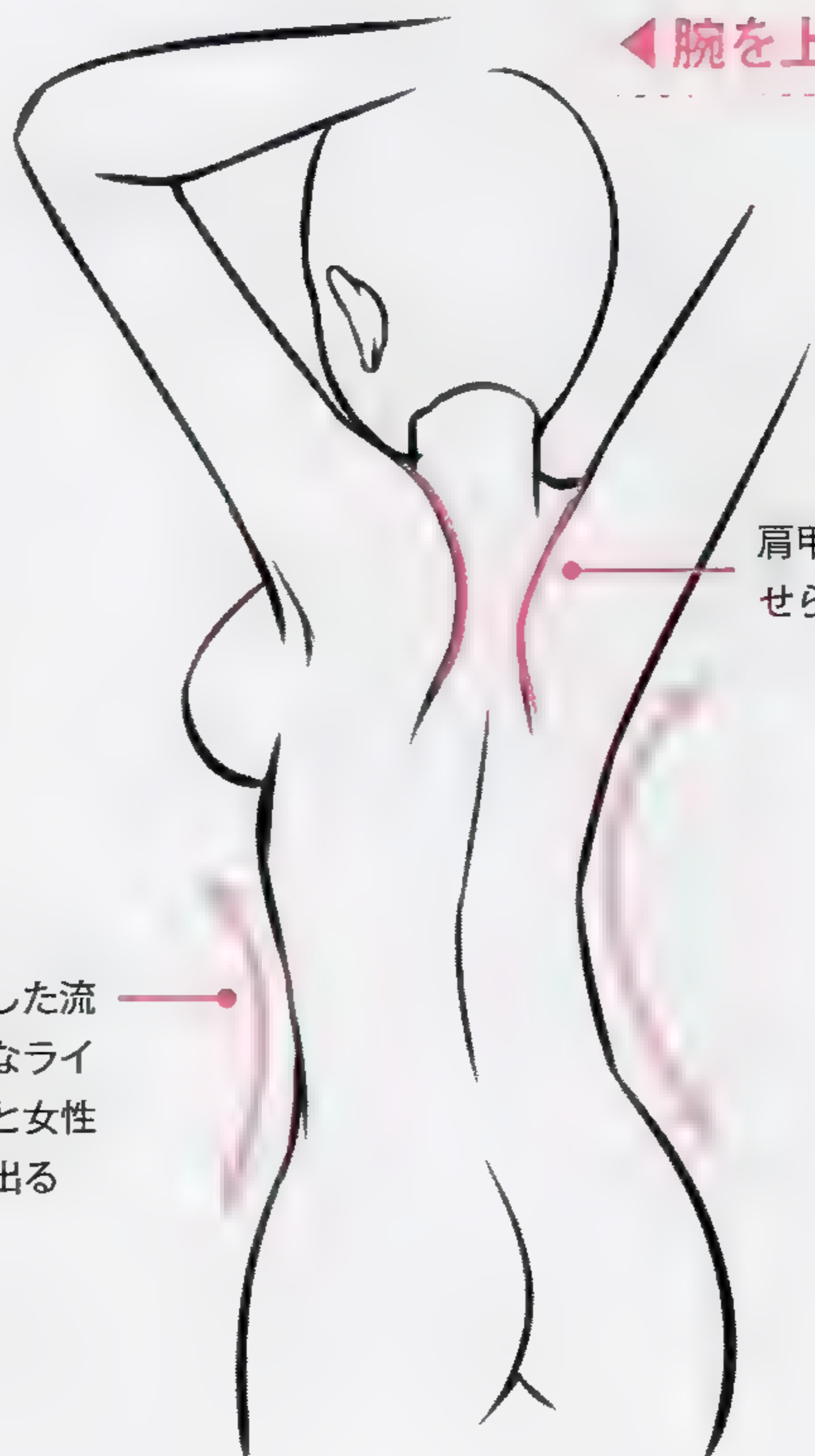
ななめから見たときの背中の見え方、腕を上げたときの背中の変化を見ていきましょう。

▶ななめから

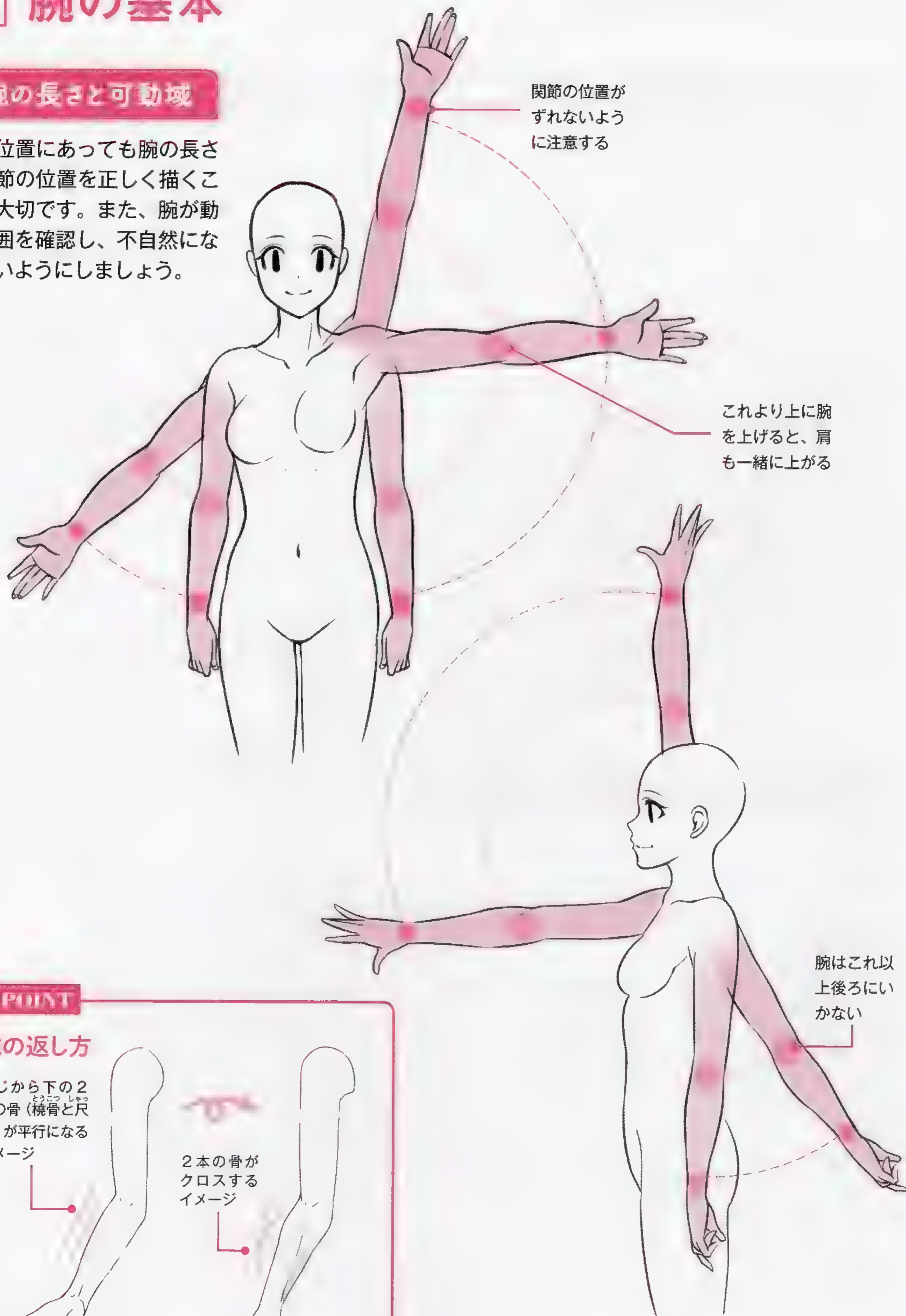
肩関節、肩甲骨、ひじ関節など対になっている部位は体のラインと平行になるようにする

肩甲骨が盛り上がっている

◀腕を上げたとき

肩甲骨が引き寄せられている

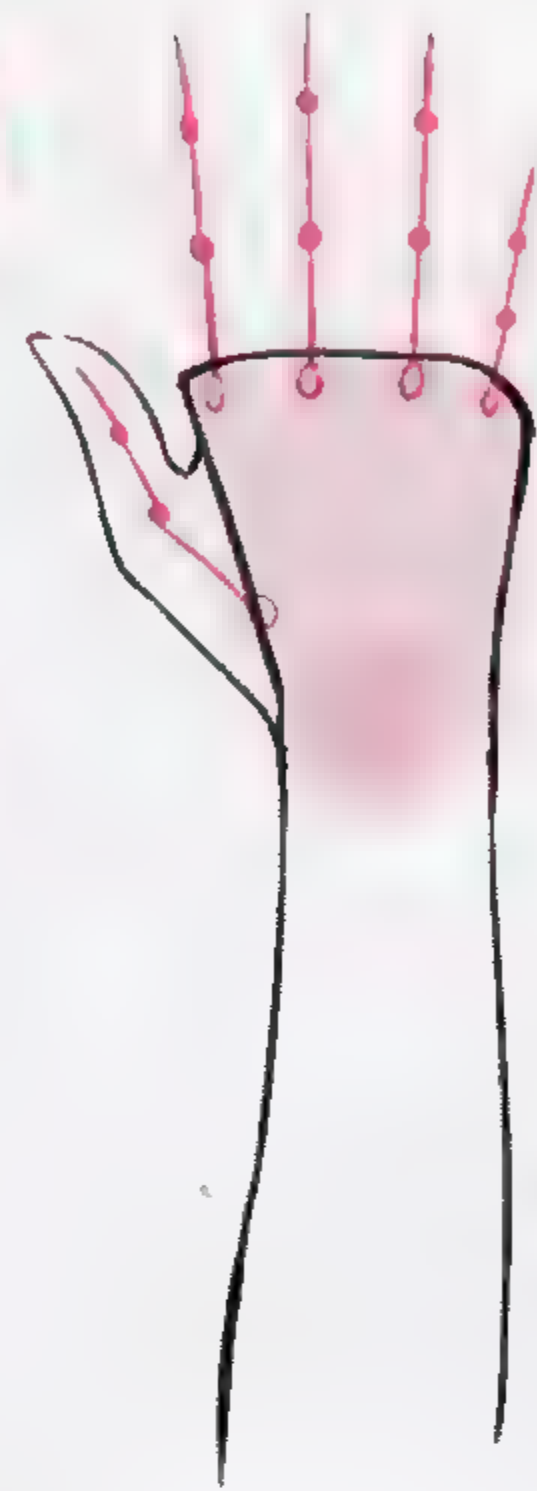
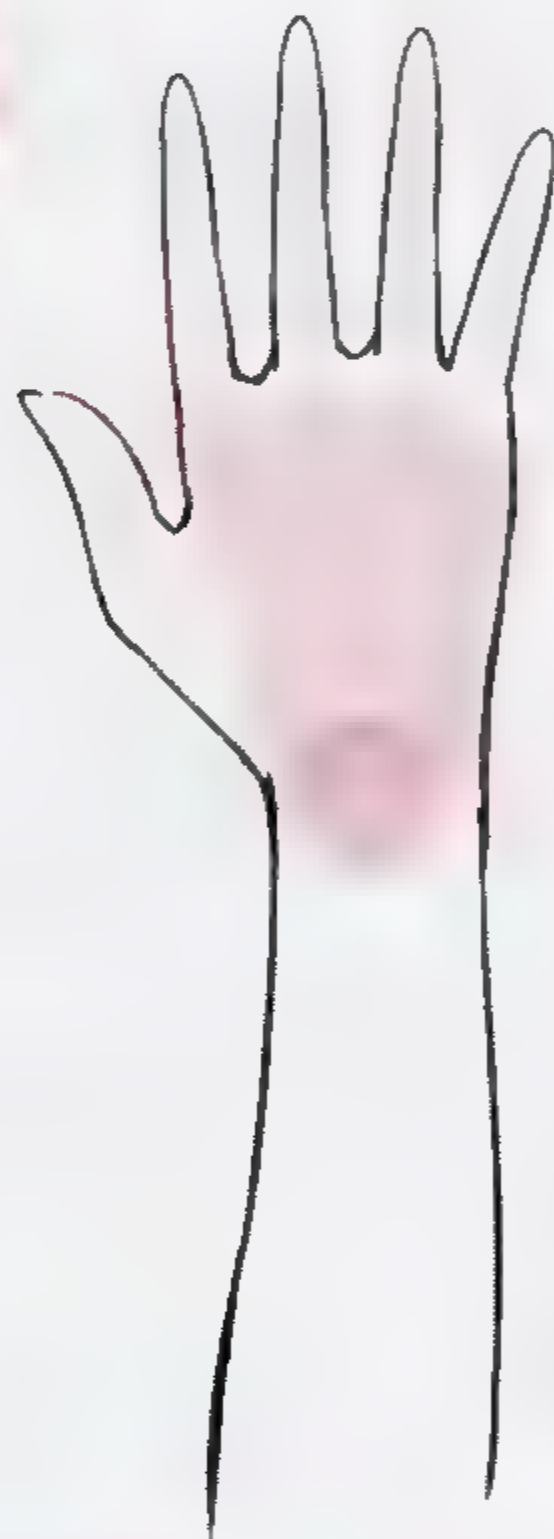
スラッとした流れるようなラインで描くと女性らしさが出る

腕の基本

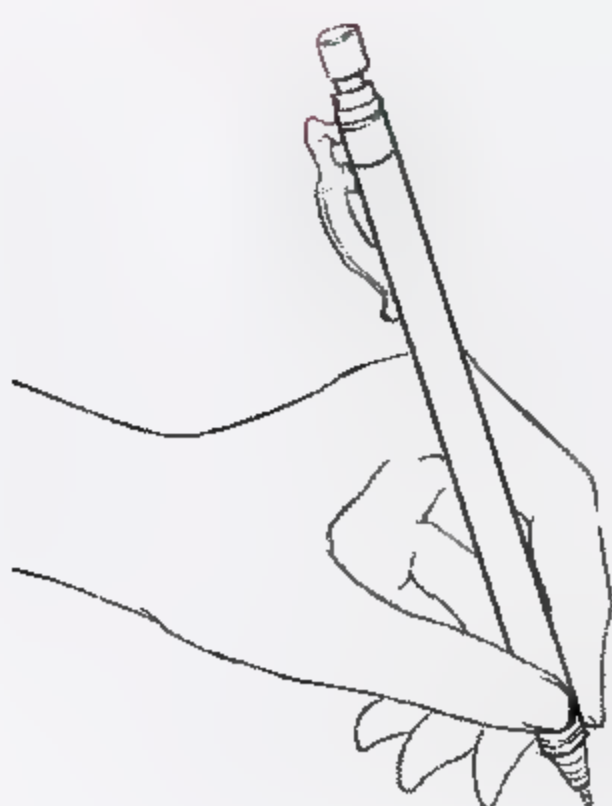
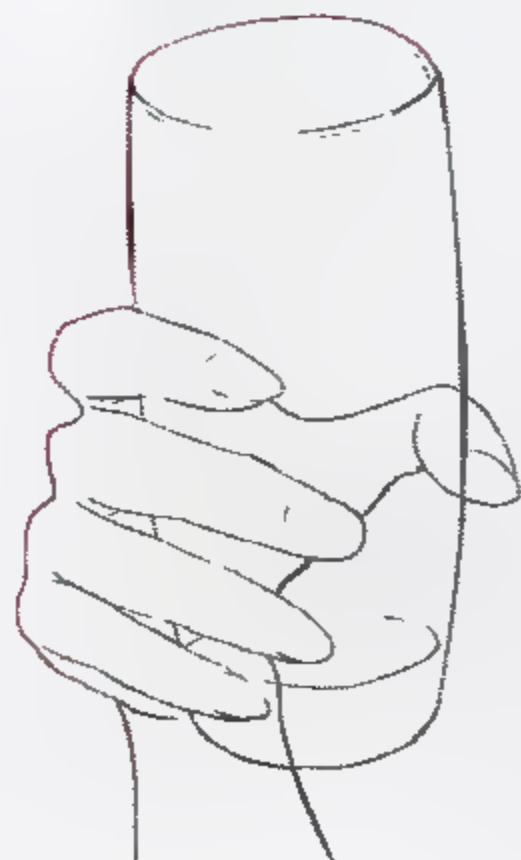
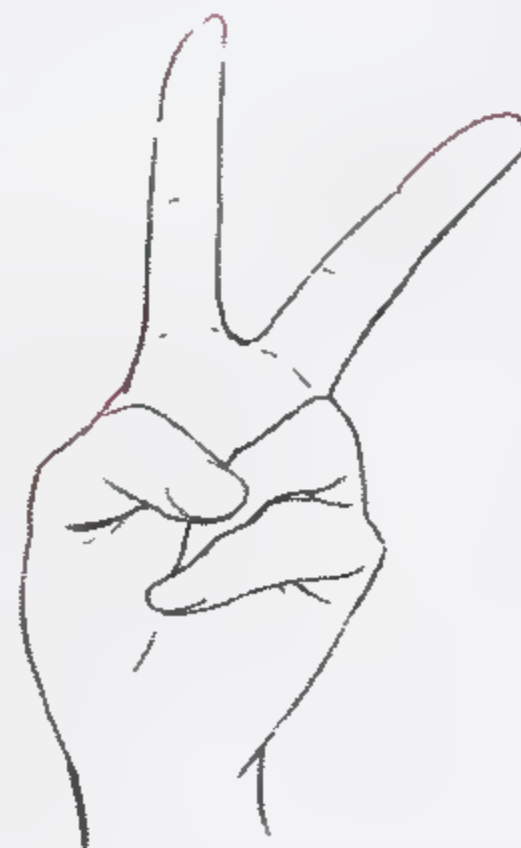
腕の長さと可動域

どの位置にあっても腕の長さや関節の位置を正しく描くことが大切です。また、腕が動く範囲を確認し、不自然にならないようにしましょう。

手の基本

手の描き方

基本的な手の描き方を詳しく見ていきましょう。関節や骨を意識して描くのがポイントです。

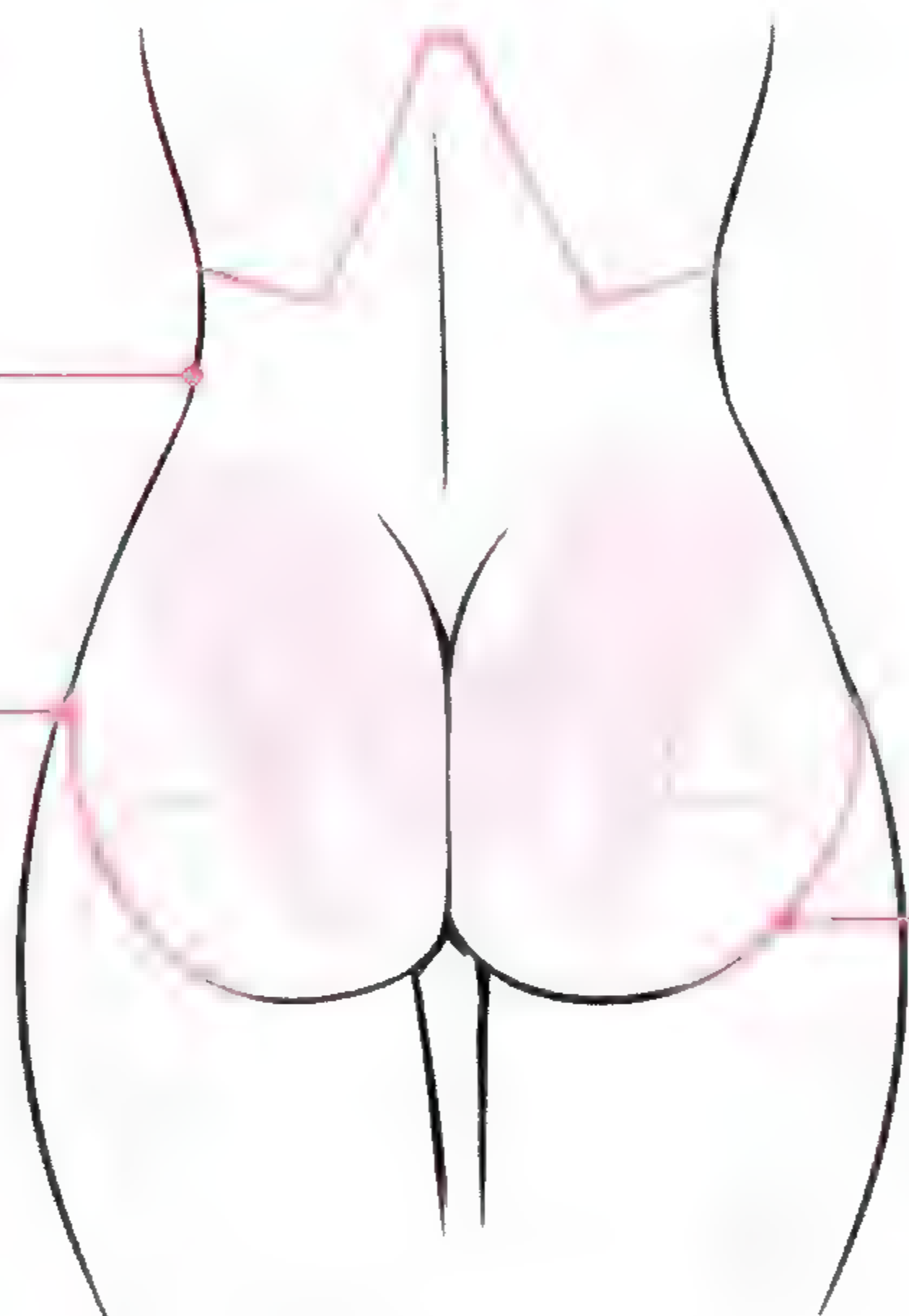
1. 腕の関節から先に、手の甲部分を描く
2. 親指の付け根となる部分に、直角三角形をイメージし親指を描く
3. 人差し指から小指までの簡単な指の骨を描く
4. 骨を意識しながら指の形を描く
5. ラインを整え、爪を描いて完成

いろいろな手の形

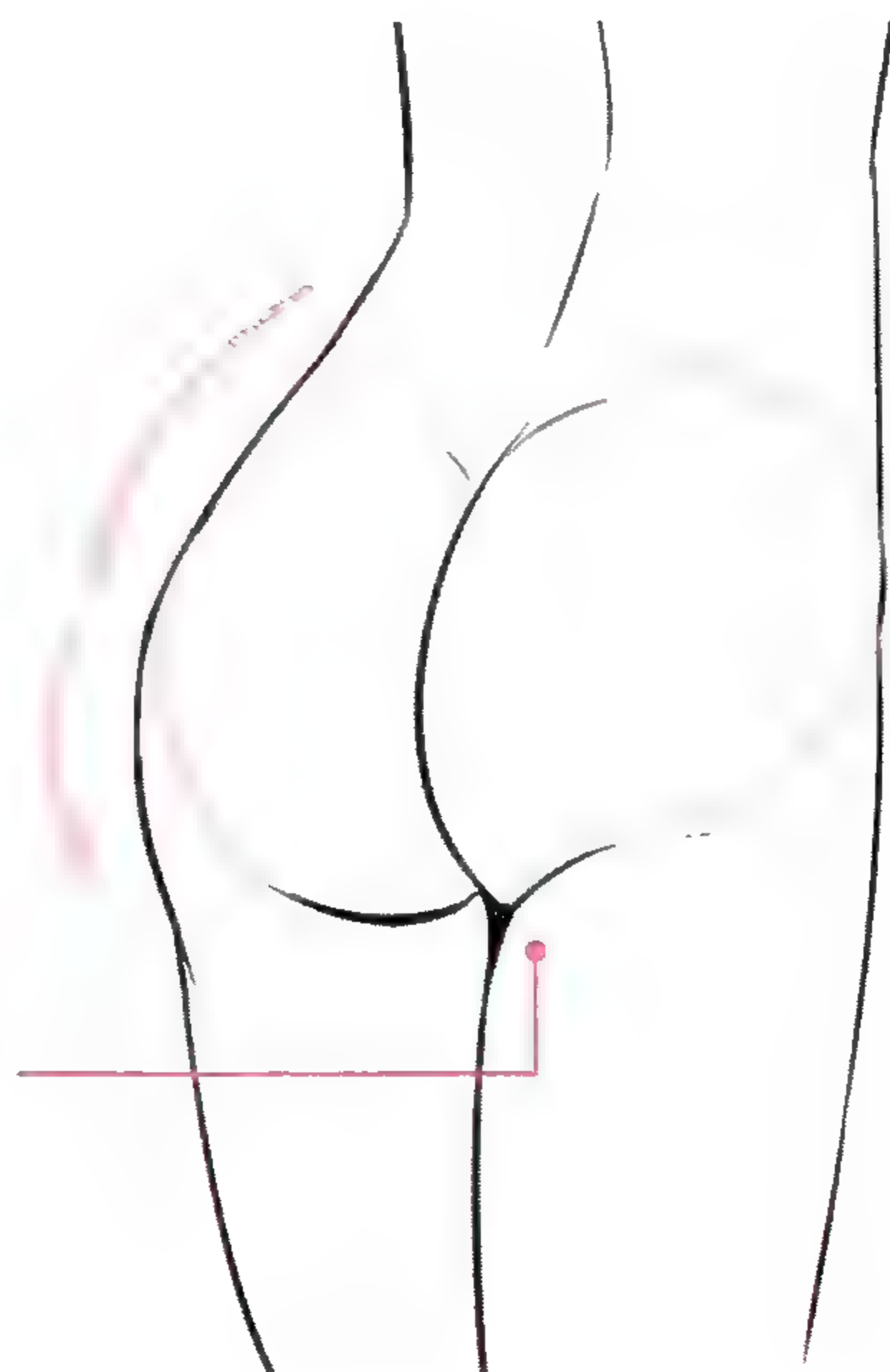
基本の描き方をマスターしたら、さまざまな手の形を描いてみましょう。

下半身のパーツ

お尻から脚にかけての下半身の描き方を細かく見ていきましょう。お尻の肉感や脚のラインなどはキャラの魅力を左右する部分です。

お尻の基本

お尻のライン

魅力的なお尻を描くには、位置やラインが重要です。ウエストから脚にかけてのラインをバランスよく描きましょう。

お尻の角度

いろいろな角度からお尻を描けるようにしましょう。体のひねりや脚の動きによっても見え方が異なります。

脚の基本

脚のライン

脚のラインをさまざまな角度から見ていきましょう。

▼前

太ももからひざにかけては、内側に向けて細くなる

ふくらはぎのふくらみをつくる腓腹筋がポコッと盛り上がっている

くるぶしは必ず外側が下にくる

▼横

ふくらはぎは後ろにふくらんでいる

すねはまっすぐ

▼後ろ

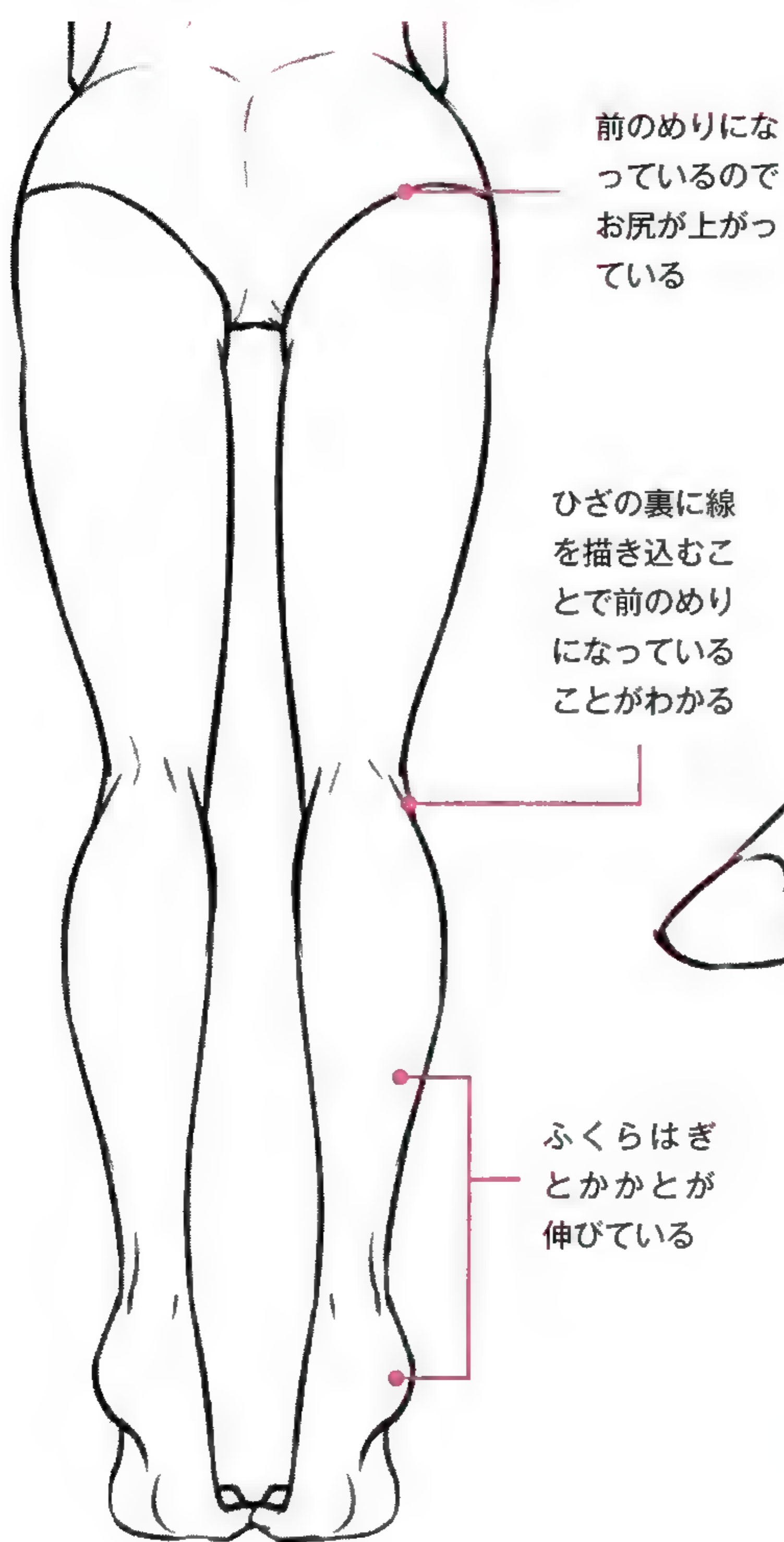
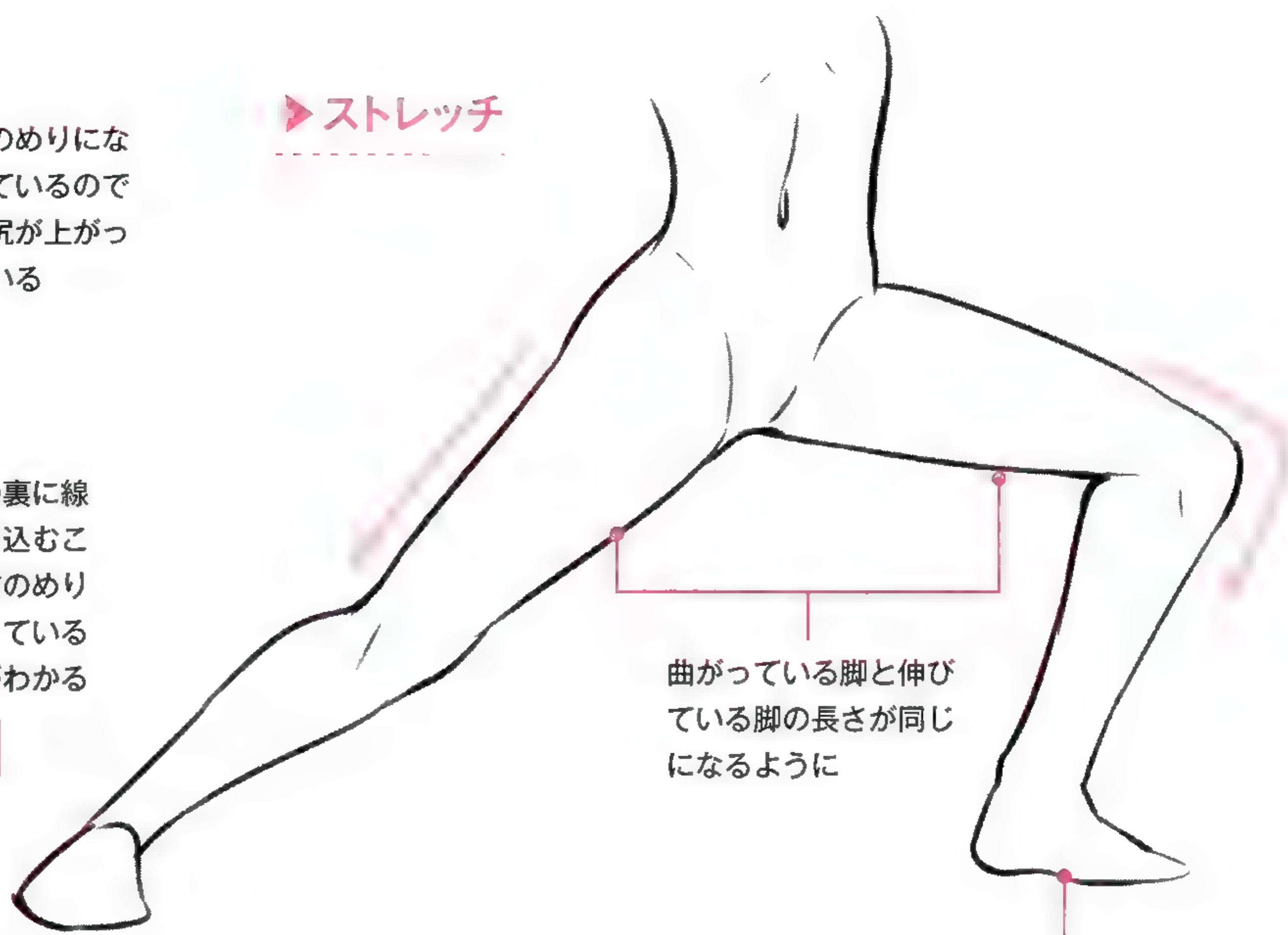
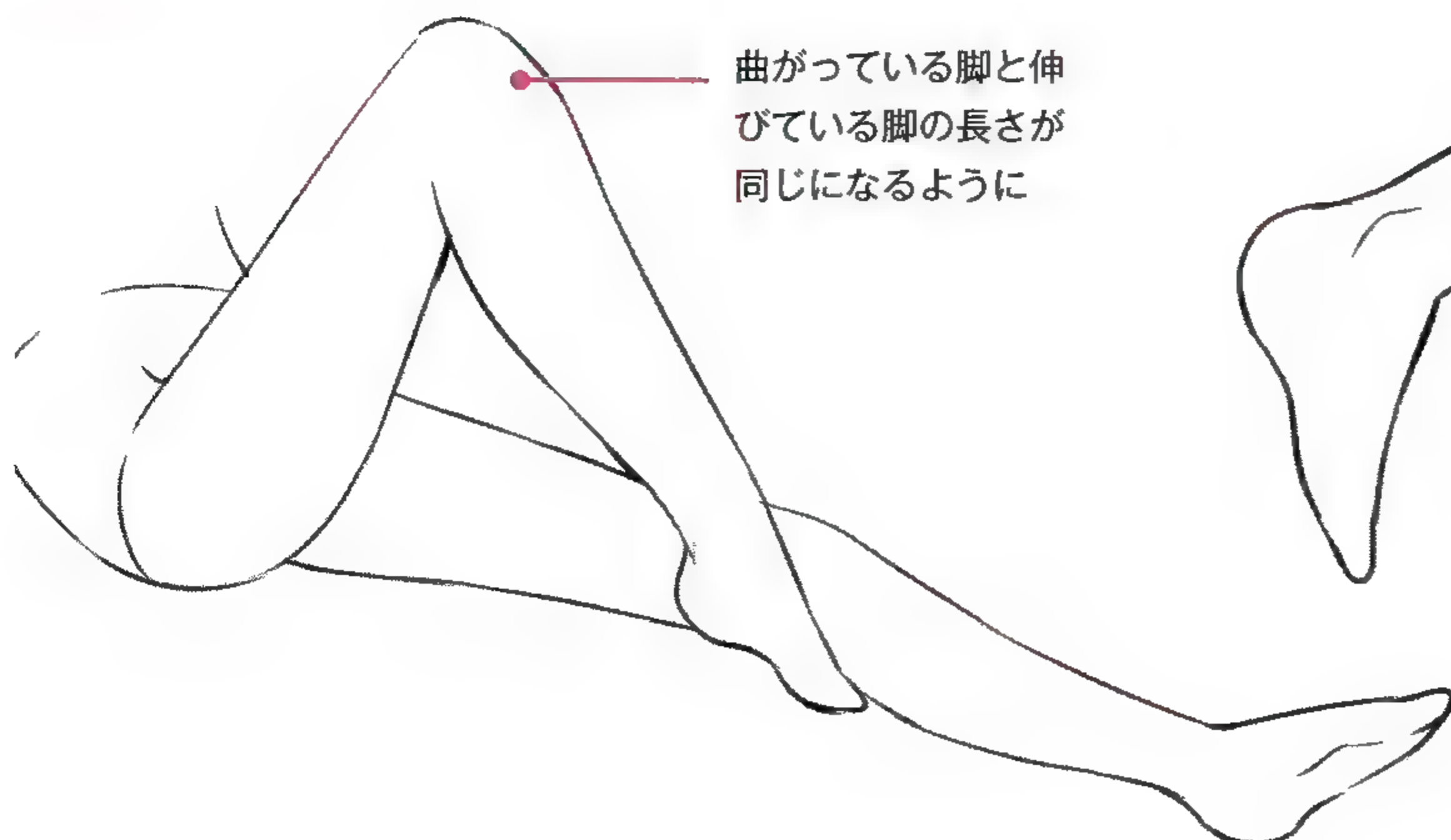
前から見たところと同じ形になるように描く

ひざの後ろは少しくぼんでいるので線を入れるとリアル

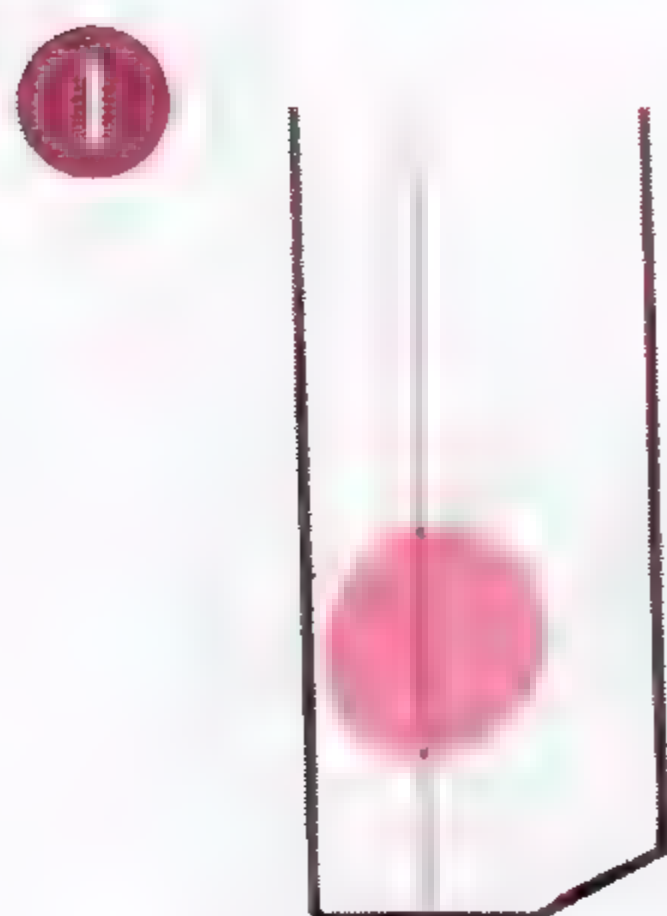
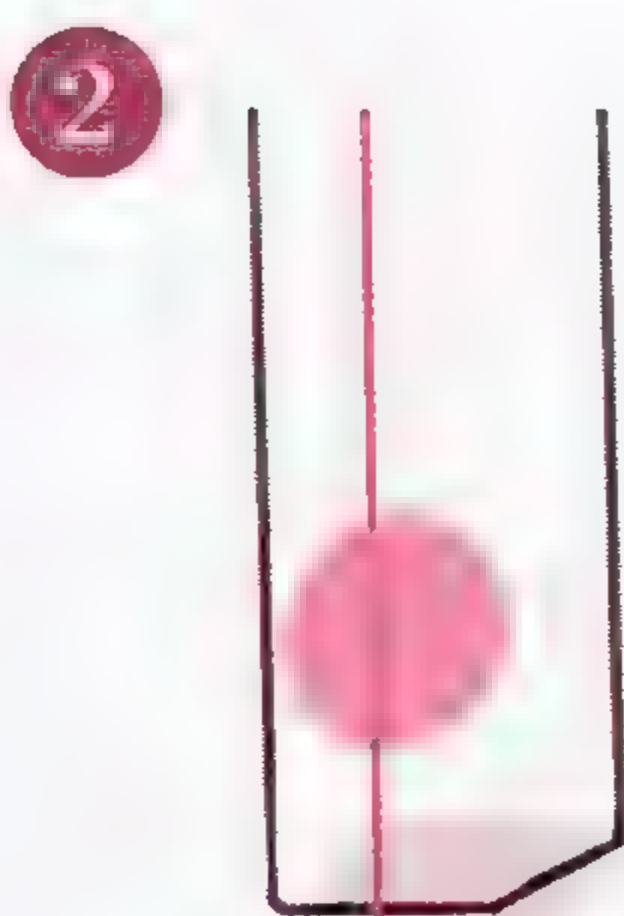
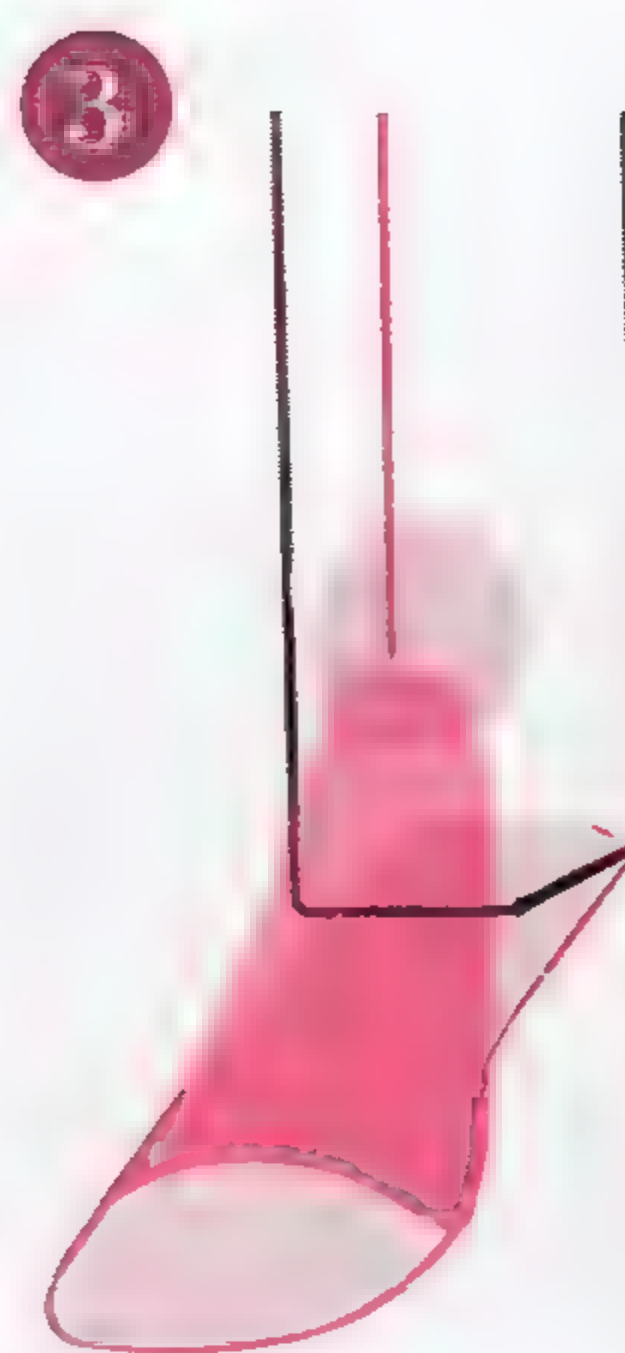
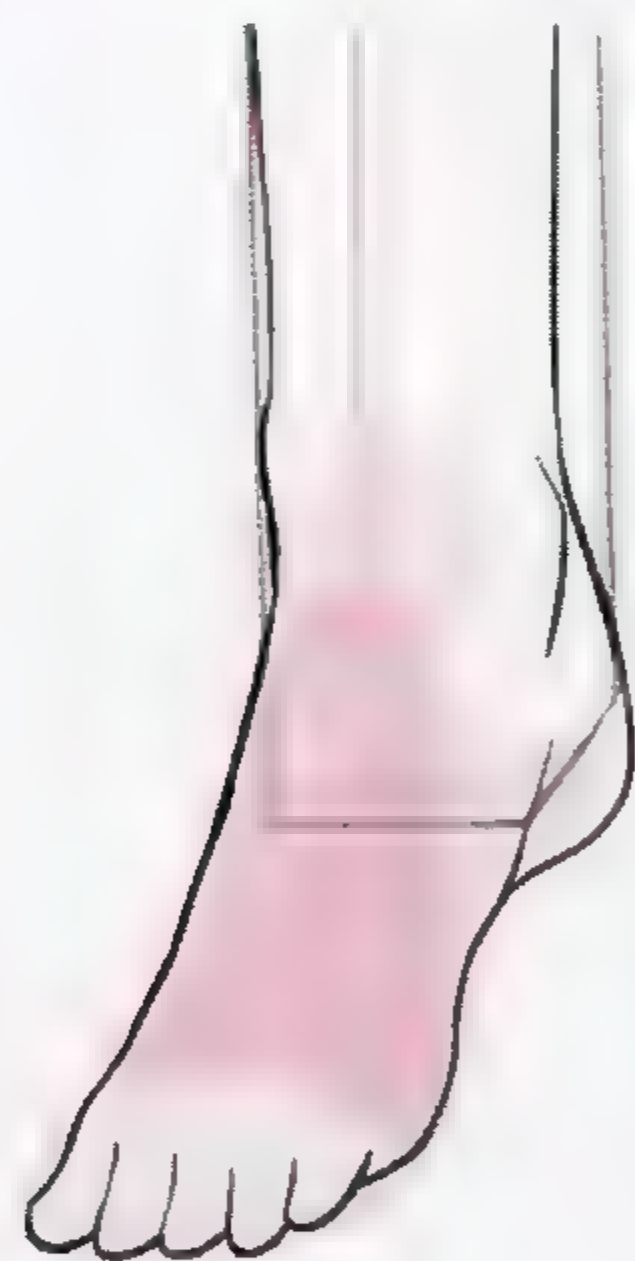
脚の曲げ伸ばし

伸ばしたとき、曲げたときの脚の形を見ていきましょう。どこに力が入っているのか意識することがポイントです。

さまざまな脚の動き

脚の動きでさまざまなシチュエーションを描くことができます。左右のバランスやラインに注意していろいろな形を描いてみましょう。

足の基本

足の描き順

バランスのいい足を描くには、足の向き、甲のアーチなどに注意する必要があります。

足の角度

足の立体感を出すには、足を３つのパーツに分けて考えるのがおすすめです。さまざまな方向から足を見ていきましょう。

Column 1

表紙の線画ができるまで

表紙のイラストのラフから線画までのメイキングを紹介。さまざまなことを考えながらキャラクターをつくっていきます。

「複数のキャラで世界観にバリエーションを」というテーマのもと、アイデア出し。周囲を花で囲んだり、シャボン玉に小物を入れたりして楽しげな雰囲気を出すようざっくりとラフを描く。

情報を整理するため線を整える。ラフ１ではやや散乱したイメージだったため、小物はなくし、花の密度を高めに変更。

構図へのこだわり

タイトル文字のレイアウトも考えてさらに構図を練る。キャラを４人から３人に変更して見やすくし、花を円状に置くことでフラワーガーデンのようなかわいらしさを表現。

バランスについて

「何を見せたいか」「どこにボリュームを置き、どこにスペースをつくるか」に重点を置いて作成。密度が高すぎるとごちゃごちゃになりがちなので思い切って要素（この場合は花）を減らし、キャラクターの服はしっかり描き込んでいる。

服のデザイン

中心のキャラクターの服がシンプルすぎたため練り直し。ブレザーの制服をベースに、スカートやネクタイに着彩時、柄を加えアクセントをつけた。

Chapter.2

いろいろな女の子の描き分け方

体型、表情、髪型、ポーズなどに変化を
つける方法をレクチャー。
描き分けてキャラクターに個性を
つけていきましょう。

Chapter.2
Lesson 1
いろいろな女の子の描き分け方

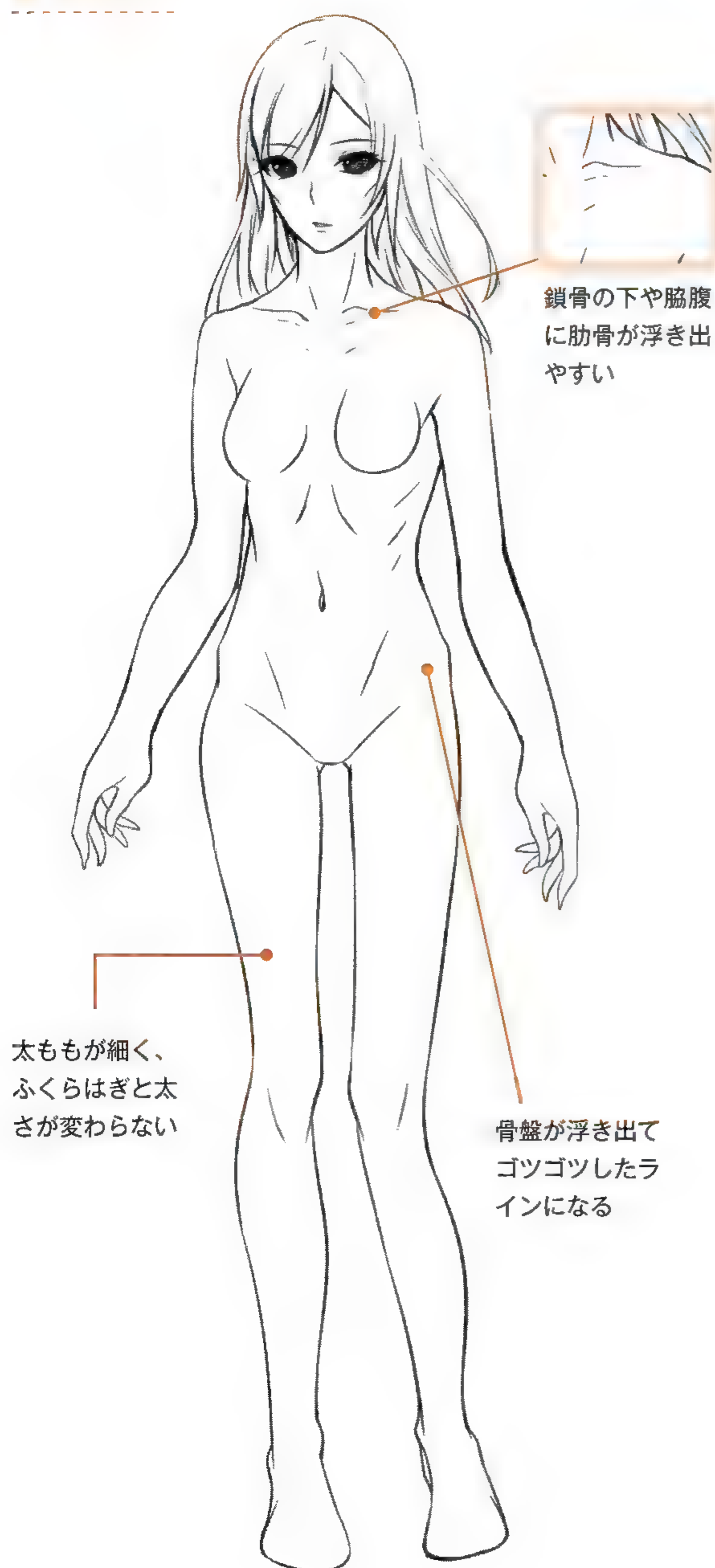
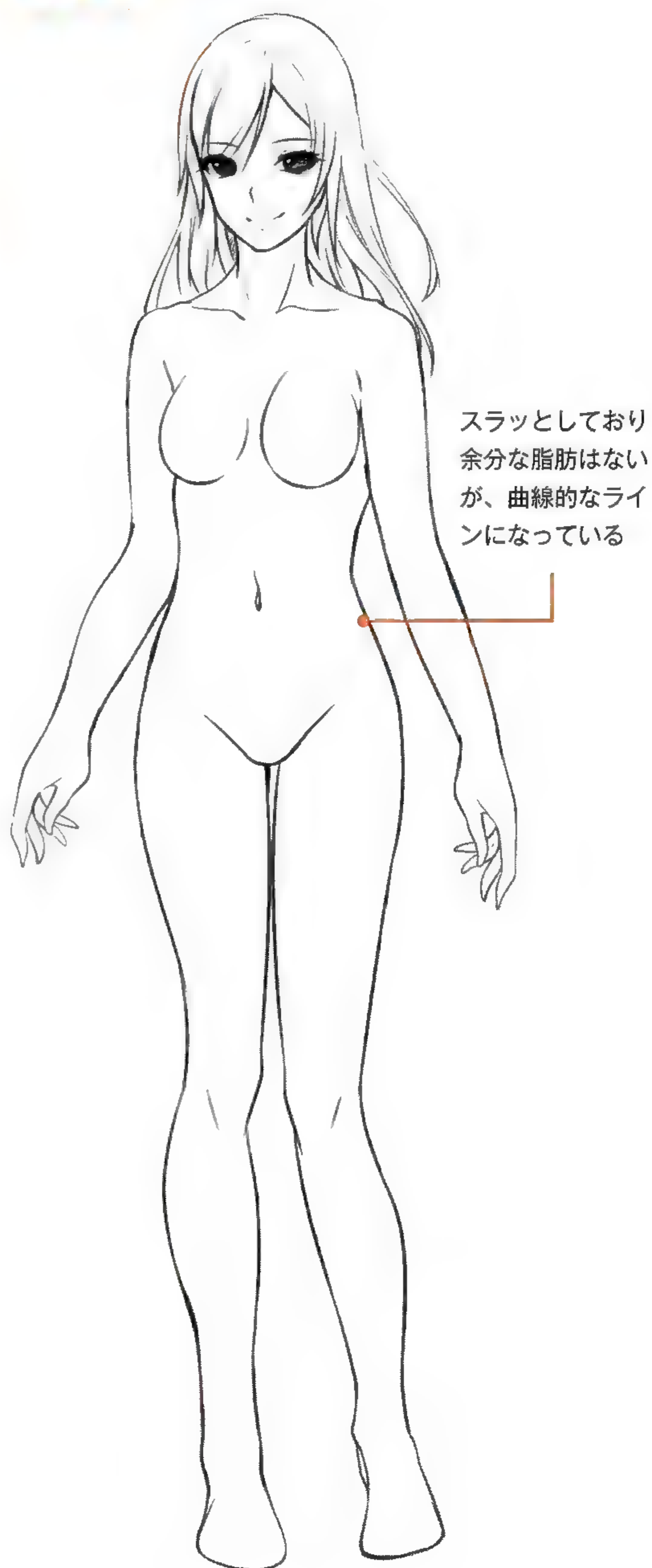
体型を描き分ける

体型はキャラクターの個性を表現する大切な要素です。いろいろな体型とその特徴をマスターしましょう。

いろいろな体型

体型の描き分け方

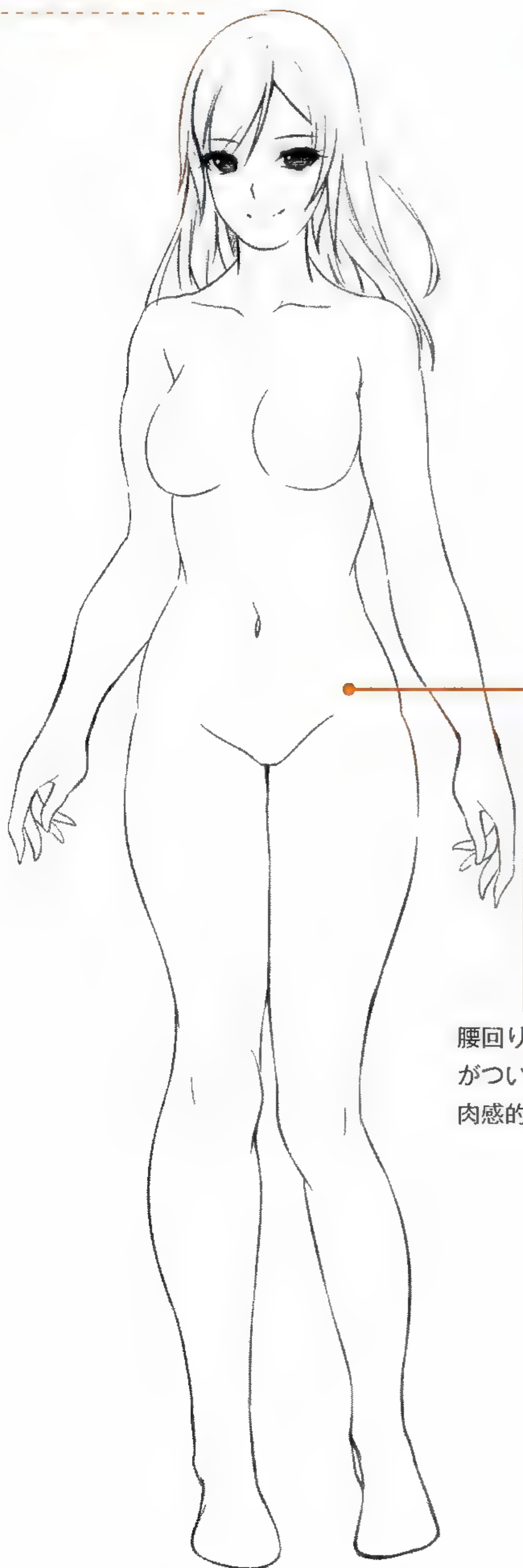
ガリガリ～ぽっちゃりまで、同じキャラクターでも体型が違うとかなり印象が異なります。体型ごとの特徴を見ていきましょう。

POINT

体型による顔の変化

同一人物でも、痩せたり太ったりすれば顔の印象が変わります。ガリガリの場合はあごがシャープになってほおがこけ、ぽっちゃりの場合はほおからあごにかけて肉付きがよくなり、二重あごになります

▶ややぽっちゃり

腰回りに脂肪がついており、肉感的

▶ぽっちゃり

顔にも脂肪がつくため、二重あごになる

上半身にも脂肪がつき、垂れるので二段腹、三段腹になる

腰回りから太ももにかけてたっぷりと脂肪がつく

成長による体型の変化

成長に合わせて体型も変化していきます。小学生くらいの女の子が大人になるまでの変化を見ていきましょう。

大人

6頭身くらい。胸やお尻が大きくなり、成長しきった状態

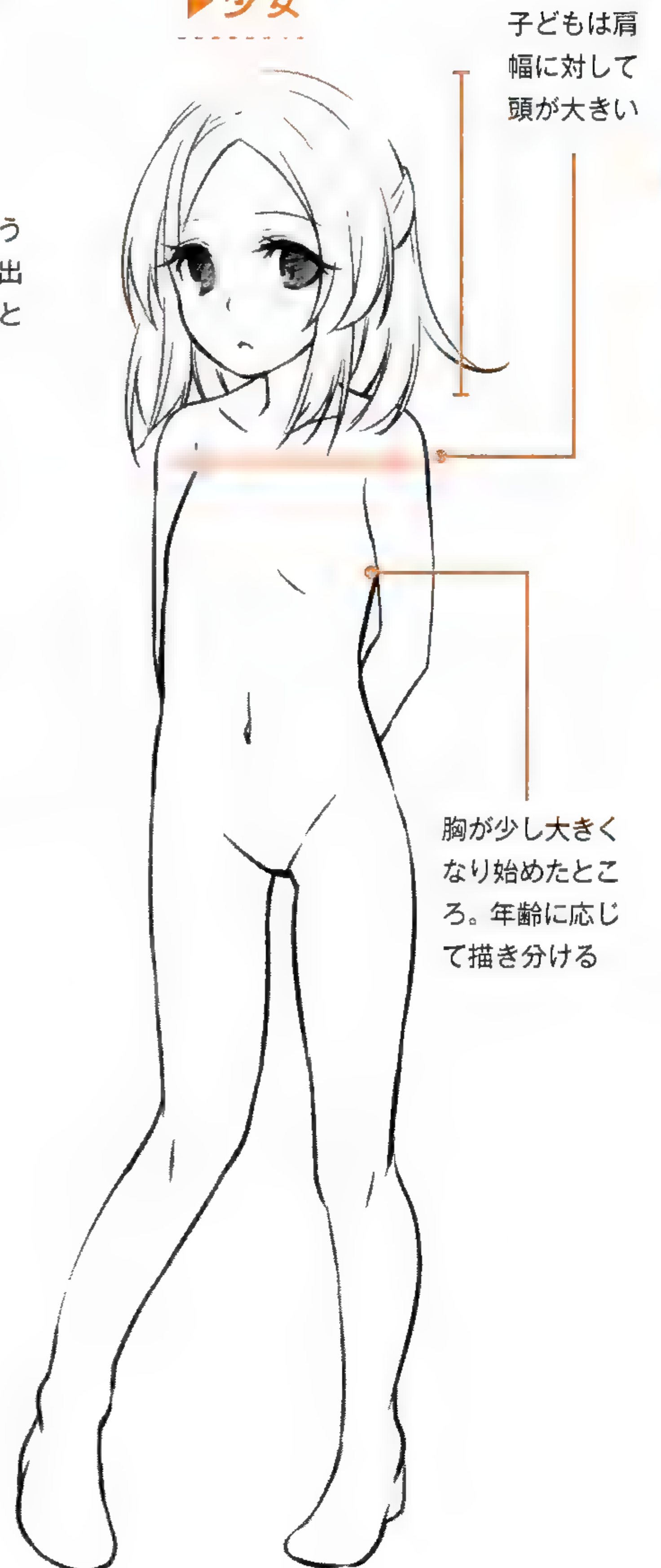
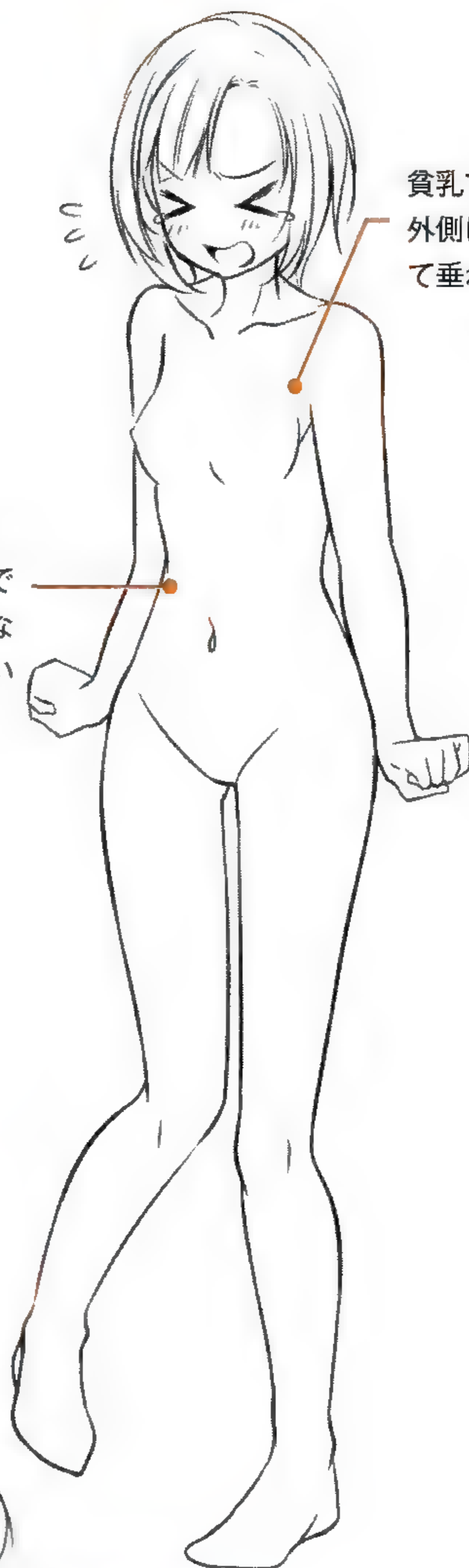
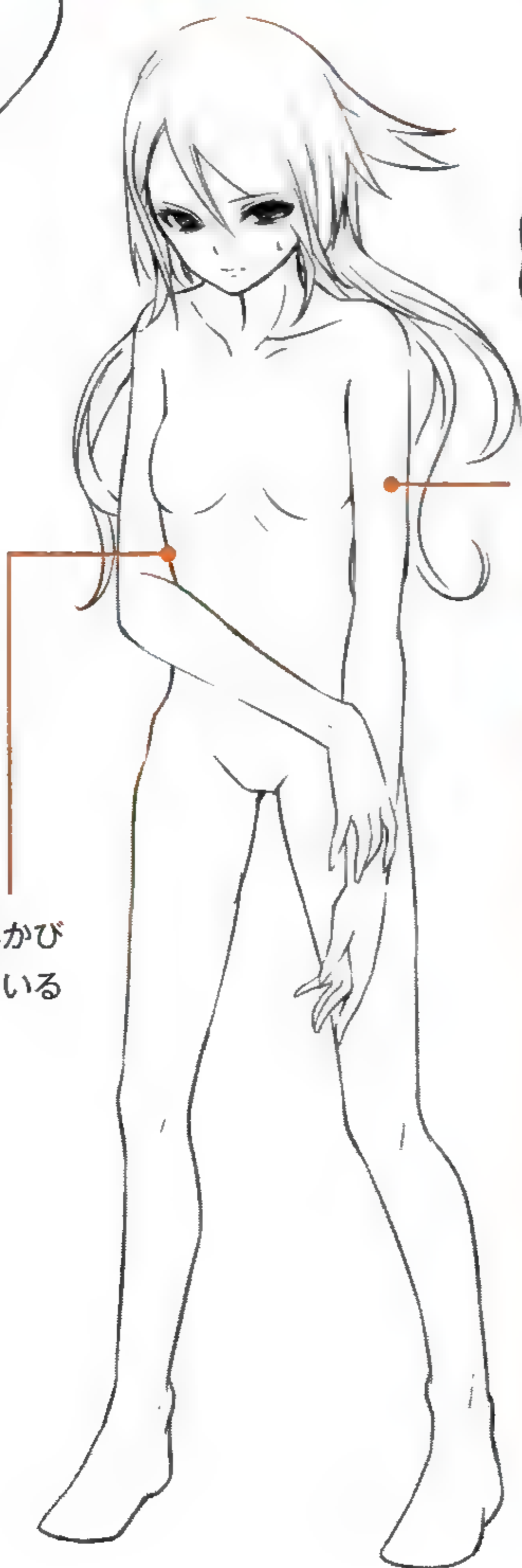
中高生

5頭身くらい。胸も大きくなり、女性らしい体型に近づいてくる

小学生

4.5頭身くらい。胸もほとんどふくらんでおらず、ウエストのくびれも少ない

いろいろな体型の女性

体型はキャラクターの個性や性格を表現する大切な要素。いろいろな体型の女性を見ていきましょう。

グラマラスな女性
全体的に細すぎず、大胆な胸の大きさで体型にメリハリがある
ウエストからお尻にかけての曲線を強調するとよりセクシーに
細身で貧乳
貧乳でも胸は外側に向かって垂れる
貧乳の場合、全体に細身でくびれが少ないことが多い
ガリガリ
二の腕の肉が少なく、ひじよりも細い
肋骨が浮かび上がっている
POINT
貧乳を横から見ると
小さな胸を横から見た場合、ふっくらとした丸みのあるラインがなく、ペタッとした横ラインになっている

巨乳少女

童顔と胸の大きさのギャップをつけるとキャラの個性が引き立つ

太ったおばさん

胸が外側に垂れる

脇の下から背中にかけても肉がついている

脚の肉付きがよく、ひざの上も盛り上がっている

POINT

巨乳を横から見ると

大きな胸は、横やなめ後ろから見ても腕に隠れず、形が大胆に見える

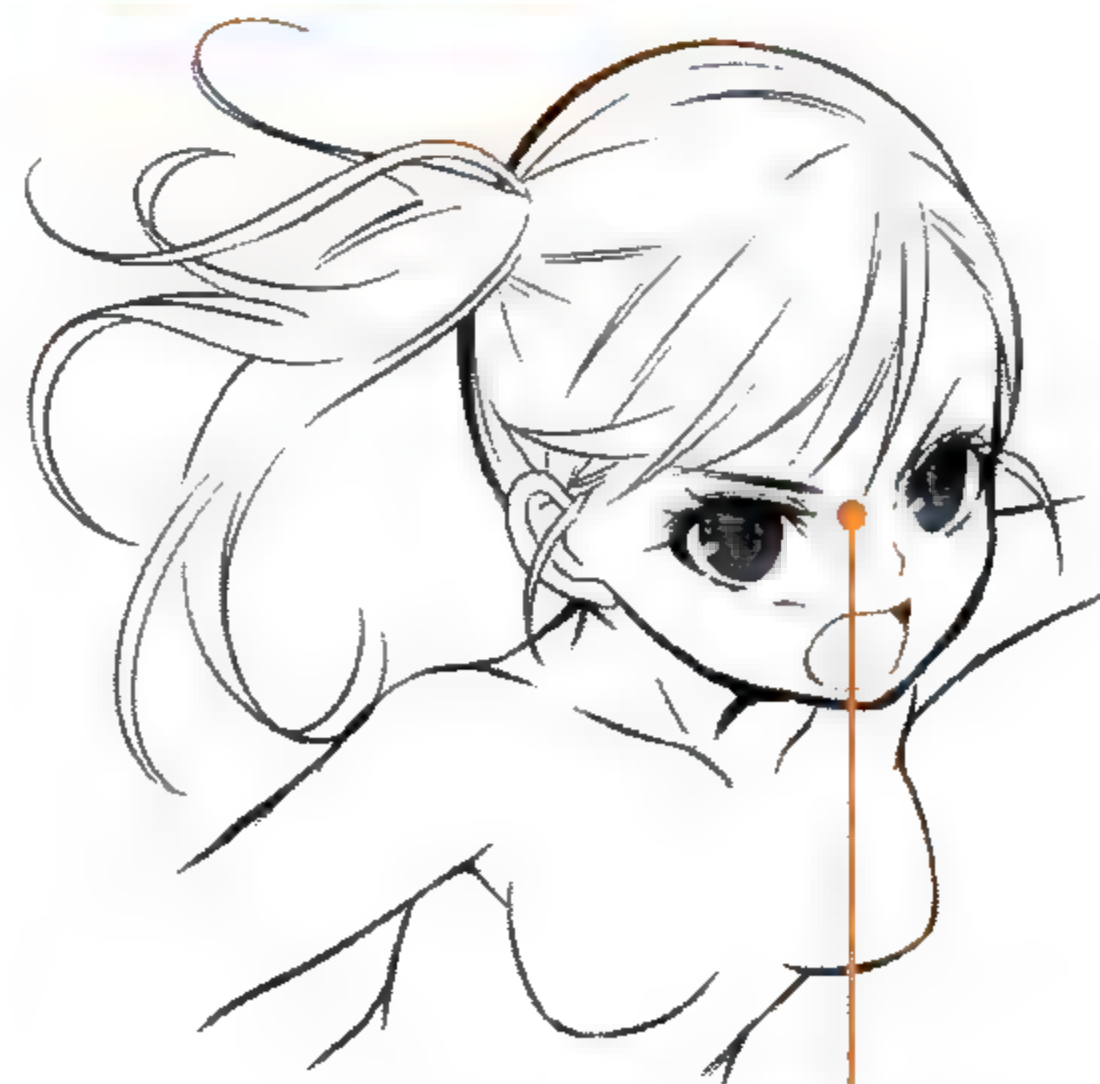
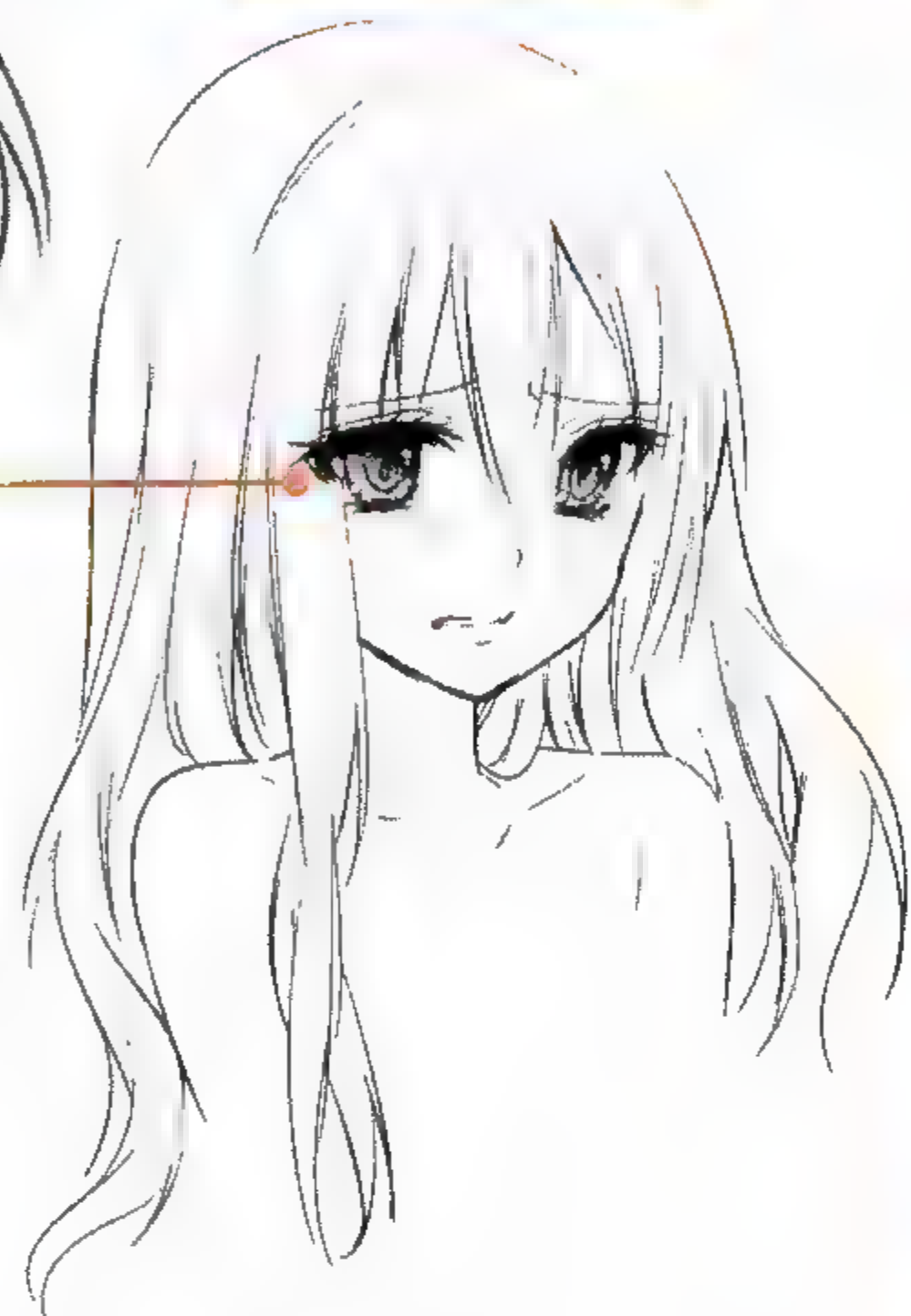
表情を描き分ける

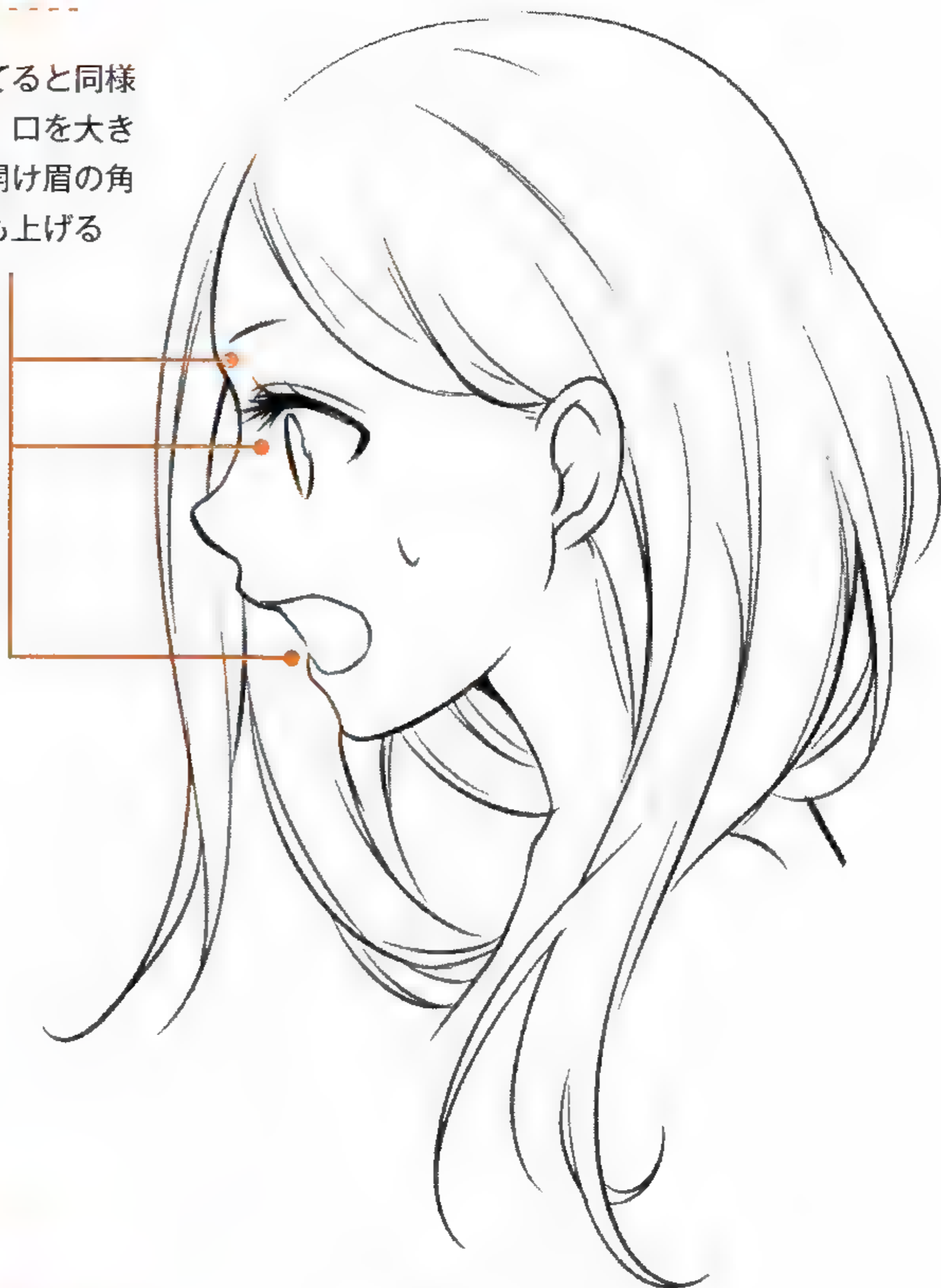
表情によってそのキャラクターの魅力は引き出されます。キャラクターの微妙な感情も表現できるようにしましょう。

いろいろな表情

喜怒哀楽の描き分け　まずはわかりやすい喜怒哀楽の表情を描いてみましょう。

▶喜

▶怒

▶哀
下がり眉で悲しみを表現
ハイライトを多めに入れてうるんでいる表現に
▶楽
顔の角度や髪型で動きを出すと、こみ上げてくる笑いを抑えきれない様子が伝わる
イキイキとした目で楽しい気持ちを表現

その他の表情

その他のさまざまな表情を見ていきましょう。汗やため息などのマンガ効果を足すと表現の幅が広がります。

▶ため息をつく

目線を下にすることで、諦めや呆れを表している

▶泣き叫ぶ

目を閉じ、口を大きく開けていることで声を上げて泣いているのがわかる

▶はにかむ

口を閉じてほほえむことで控えめな照れを表現

▶上目遣い

目玉の部分を下まぶたとつけないようにする

髪型を描き分ける

トレードマークにもなる髪はキャラクターにとって重要なものです。自然でかわいい髪型の描き方をマスターしましょう。

髪の基本

髪の描き方

まずは基本の描き方を押さえましょう。頭の形をイメージして立体的に描くのがポイントです。

1. 髪の生え際を意識してアタリをつける

2. つむじの位置を決め、前髪を描く

3. つむじを意識してサイドの髪を描く

4. 後頭部の形に沿って、髪の流れをつくるように描く

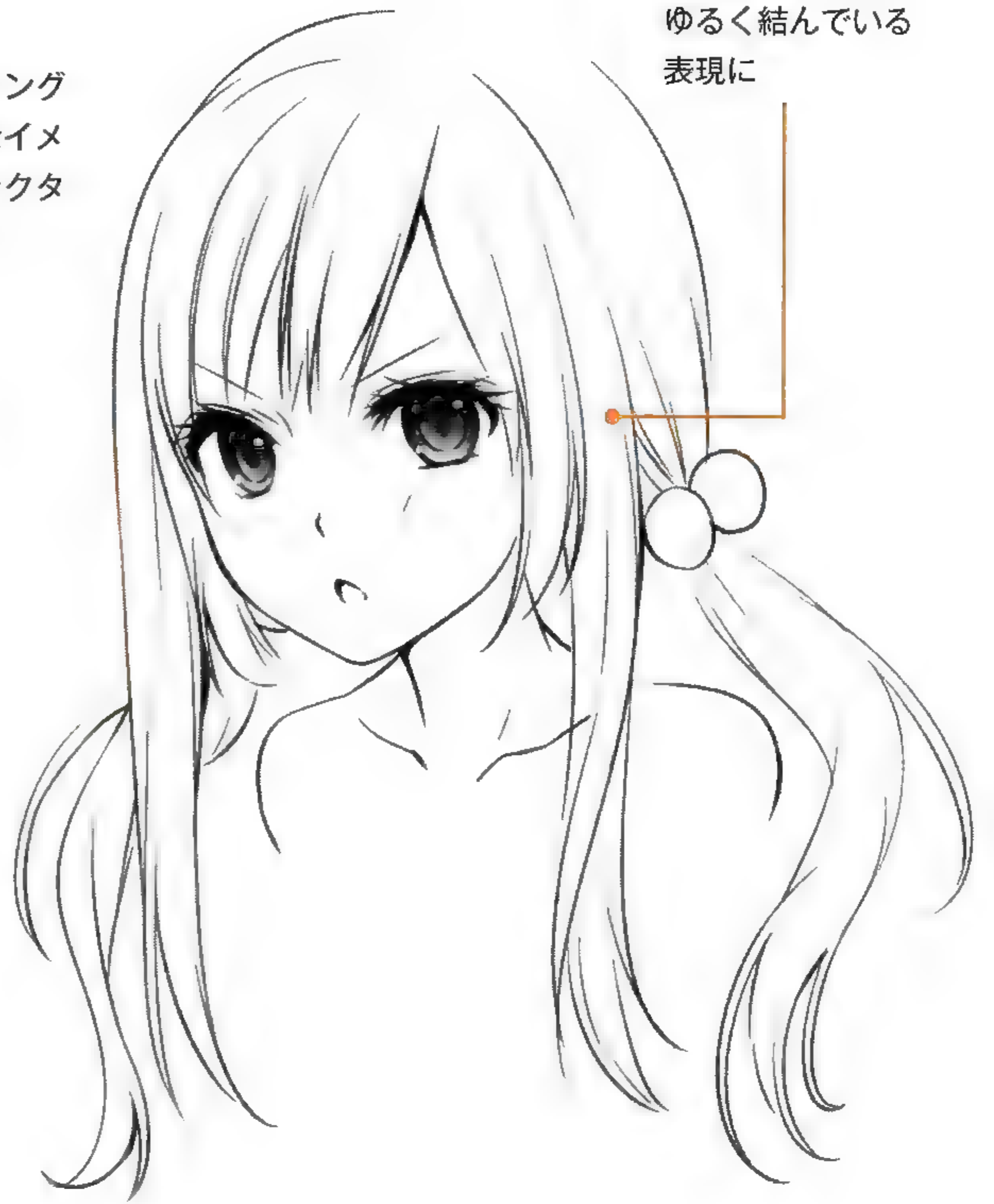
いろいろな髪型

ショート・セミロング

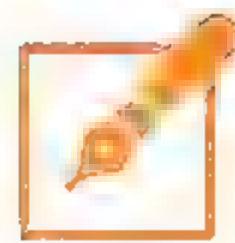
短めの髪は、キャラクターの明るく活発な印象をつくります。

2 いろいろな女の子の描き分け方

ロングヘア

サラサラのロングヘアはかわいい女の子の象徴。まとめたり、ウエーブをつけたりさまざまなアレンジができます。

サイドを編み込みでロングヘアをアップにしている。髪の流れの表現に注意
後ろから見た印象は正面とは異なる。髪の流れや、どのように結ばれているかを意識して描く
サイドアップのポニーテールに大きなヘアアクセサリーをつけて軽やかな印象に

頭身を描き分ける

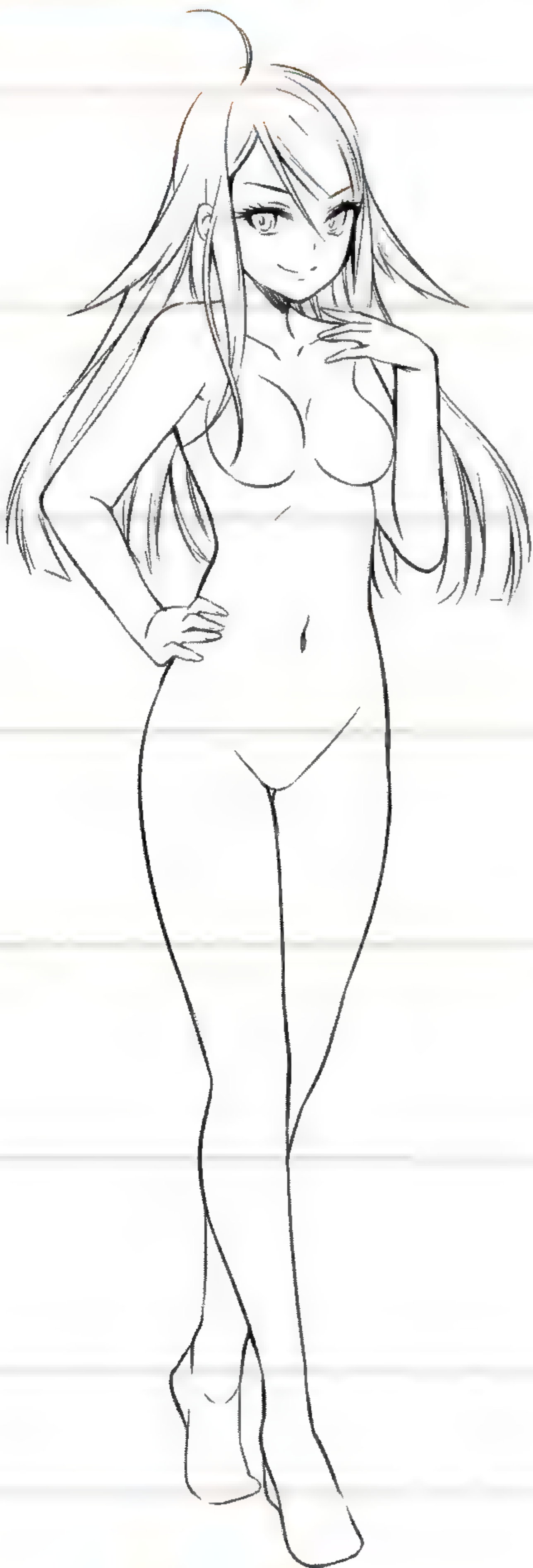
さまざまな頭身を使い分けられると、描けるキャラクターの幅が広がります。自然に頭身を変える方法をマスターしましょう。

頭身の基本

さまざまな頭身

基本の6.5頭身のほかに、3頭身や2頭身などのデフォルメキャラも描いてみましょう。

▶6．5頭身

▶5頭身

POINT

バランスよく描くには

まず描きたい頭身のアタリと正中線を描く。正中線を入れると重心がどこにあるのかわかりやすいのでポーズのバランスが安定する

▶3頭身

▶2頭身

ちびキャラのポーズ

3頭身

フィギュアのように体をしっかりめに描く3頭身。
さまざまな表現が可能です。

2.5～2頭身

よりデフォルメしたタイプ。
マンガの中で効果的に使うこともあります。

女の子の性格を描き分ける

表情や仕草で女の子の性格を表現することが可能です。いろいろな性格を描き分けられるようにしましょう。

基本の性格の描き方

内向的な性格

控えめで内気なキャラクターを描くときのポイントを押さえましょう。

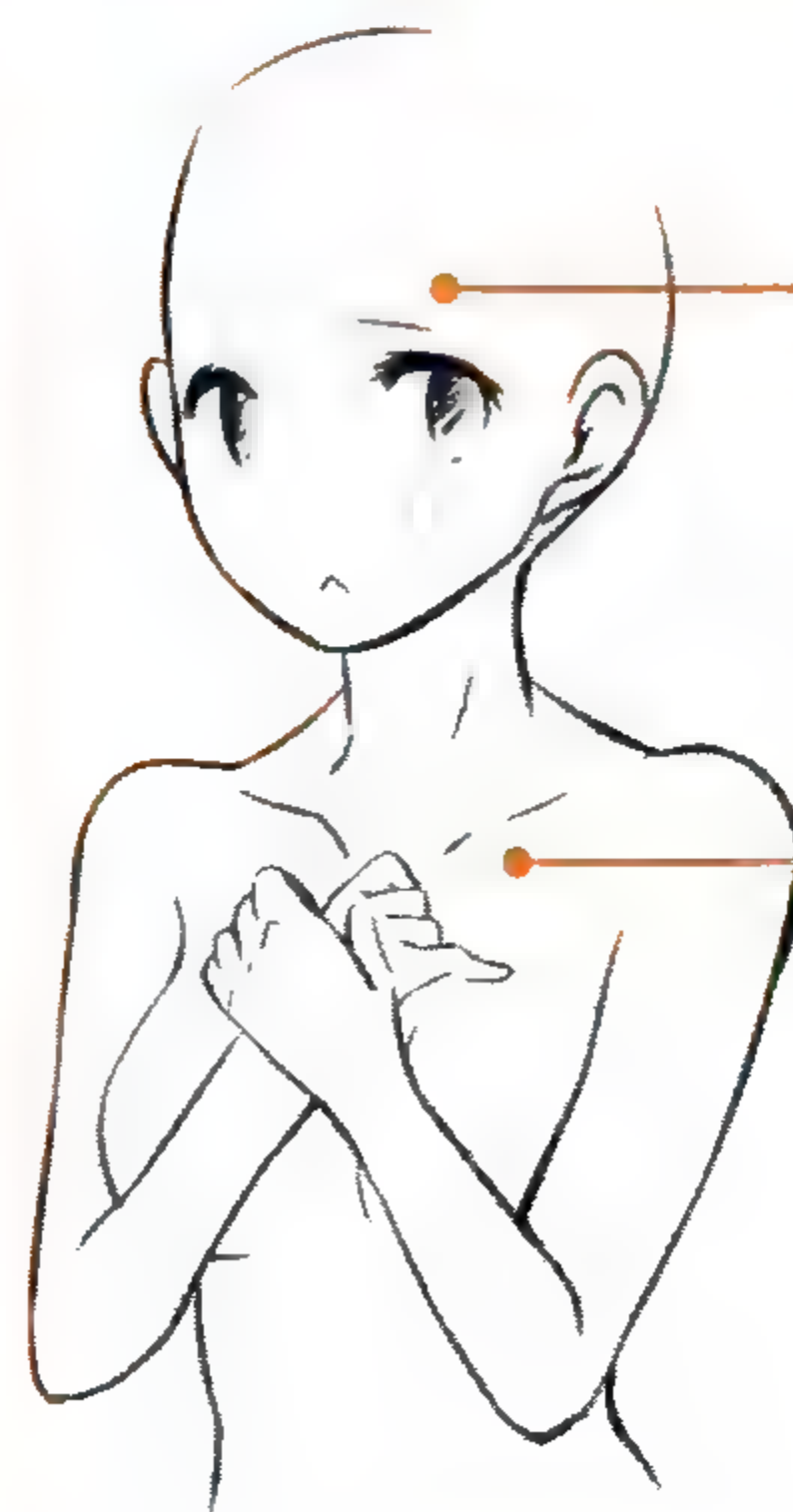
困ったような表情でおとなしい性格を表現

ハの字眉で自信がなさそうな印象に

より内向的に見せる手の位置も重要

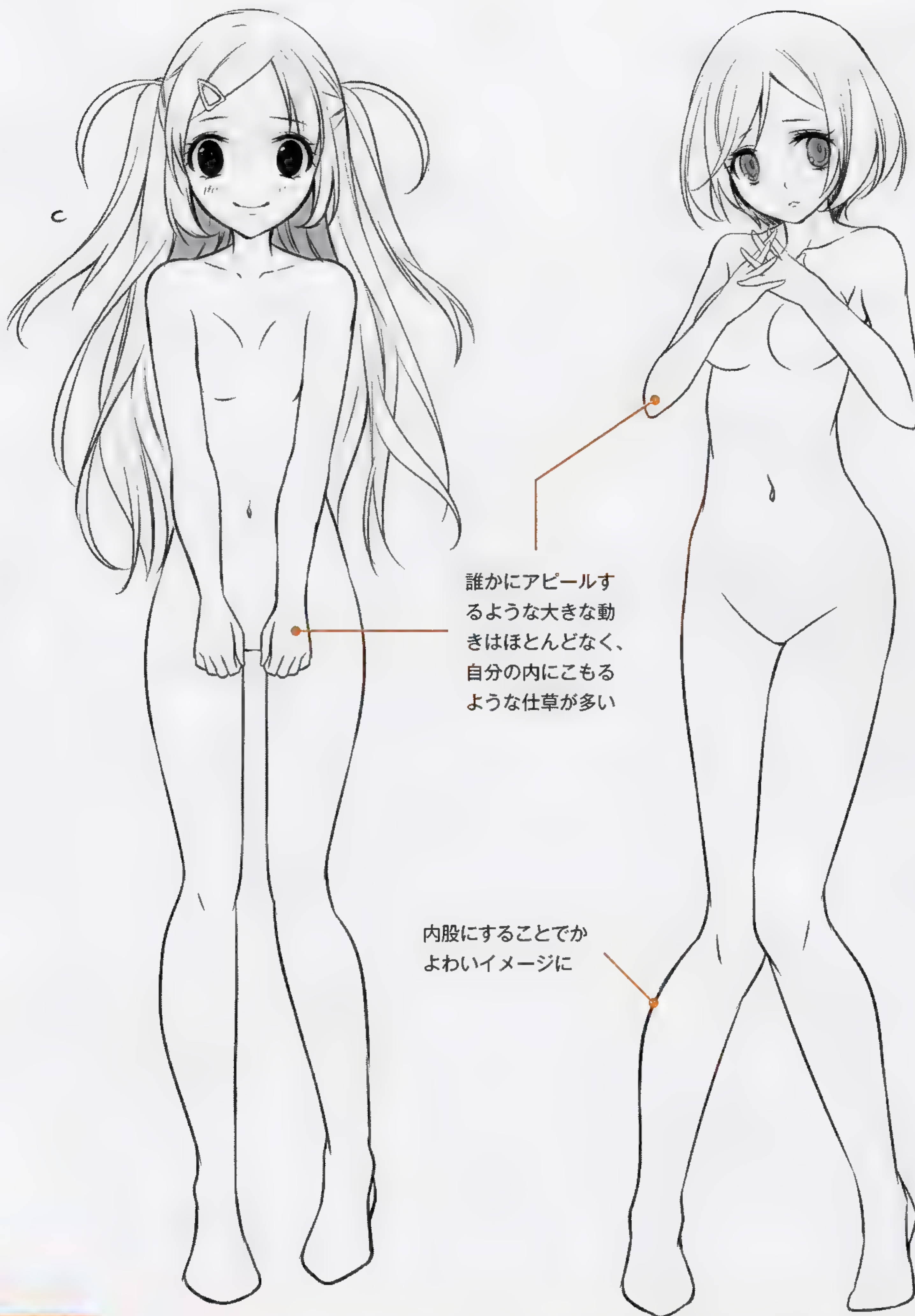
伏し目がちにすることで感情を表に出さない印象に

POINT

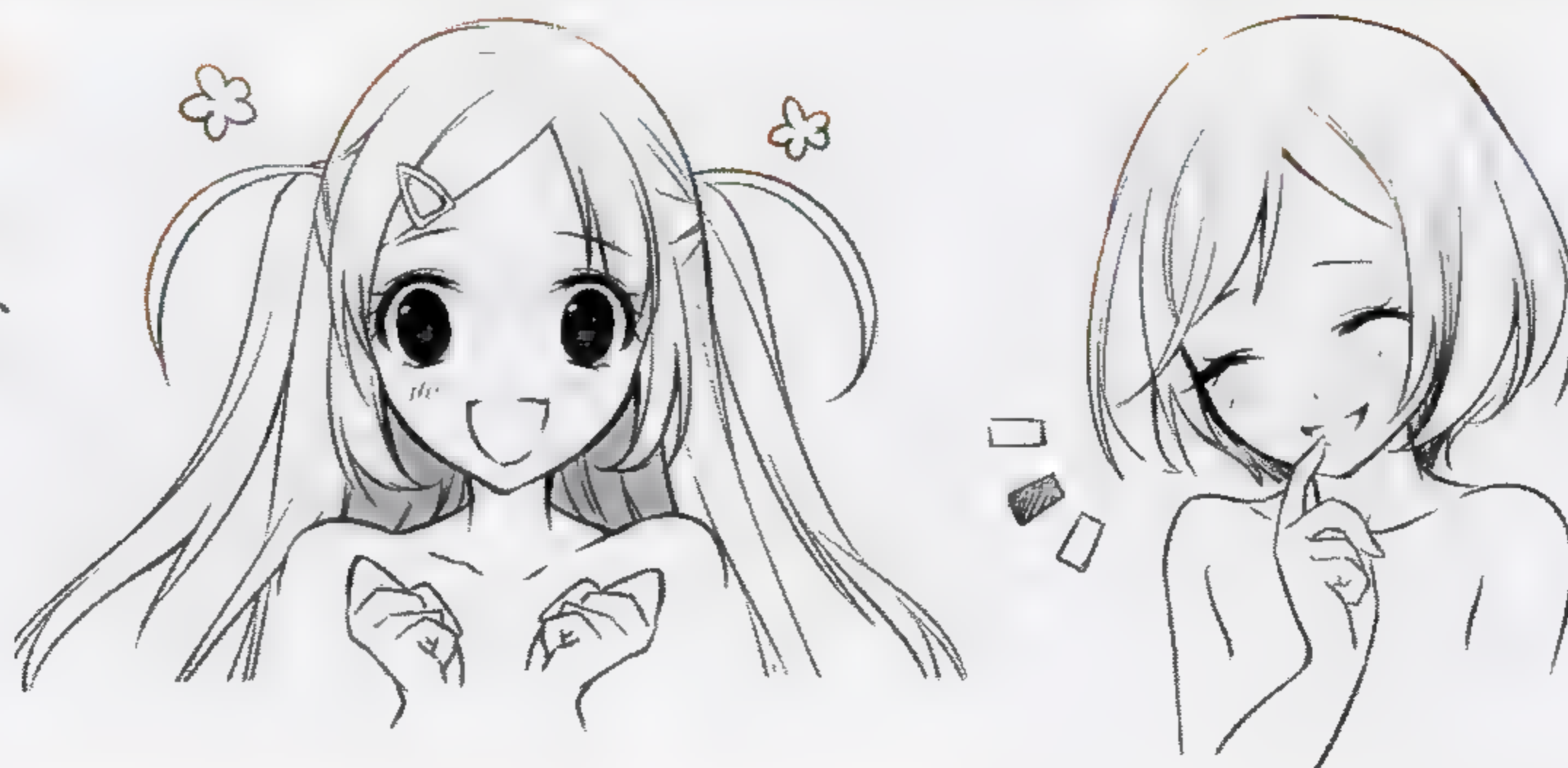
内向的に見せるコツ

表情はとくに眉が重要。眉の角度で気持ちに変化をつけることができる

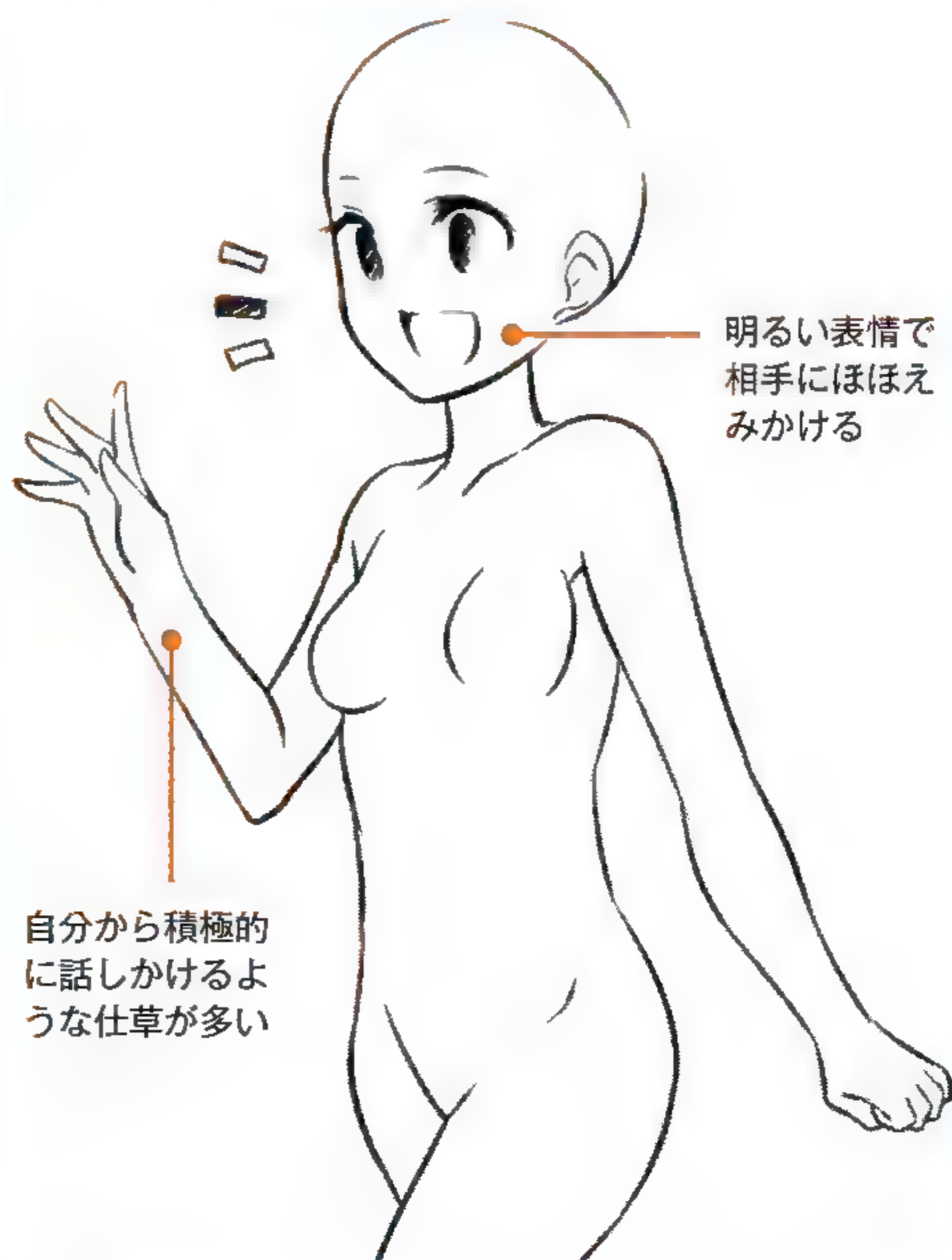
自分を守るかのようなポーズでより内向的に見える

誰かにアピールするような大きな動きはほとんどなく、自分の内にこもるような仕草が多い

内股にすることでかよわいイメージに

POINT

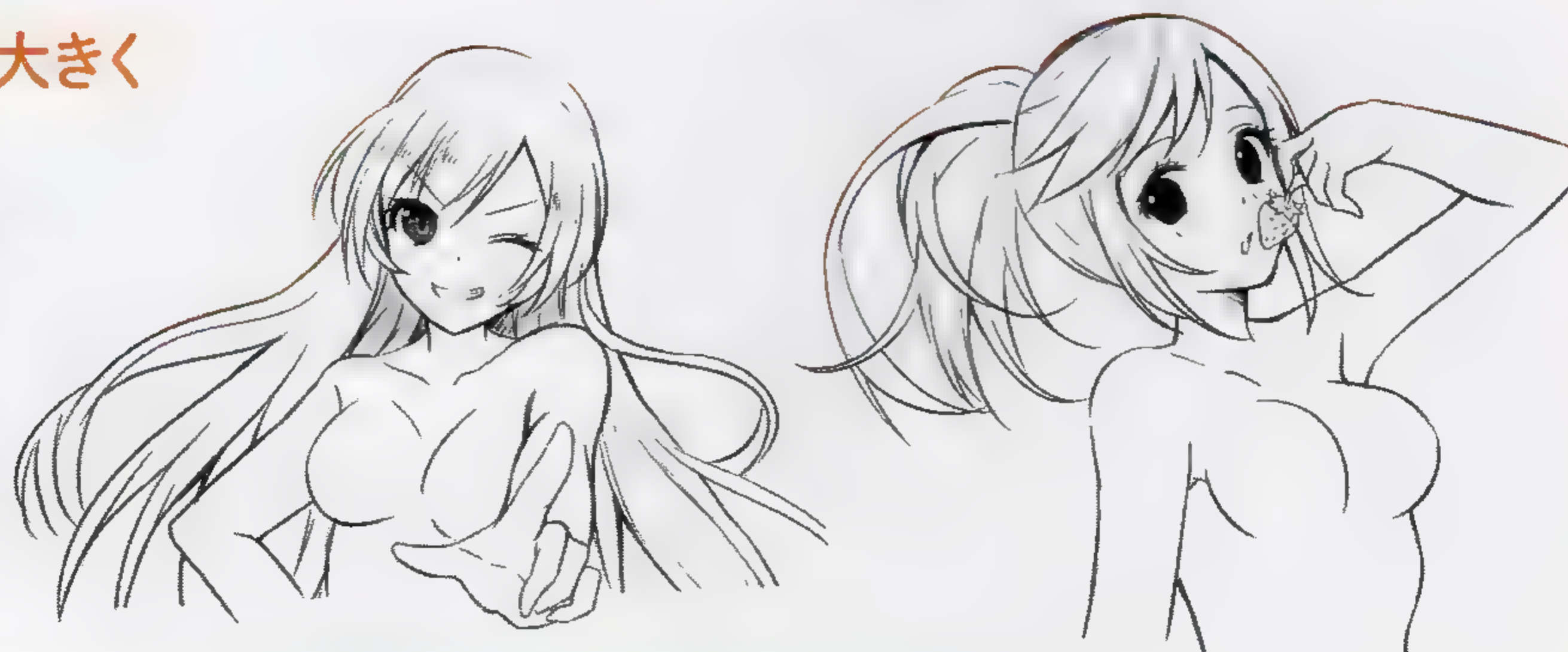
表情に変化をつける

内向的とはいえ、喜怒哀楽はあるもの。手を前に持ってきたり、口元に当てたりすると内向的なキャラクターらしさが出る

外交的な性格

積極的で明るいキャラクターを描くときのポイントを押さえましょう。

仕草にためらいがなく、思いっきり体を動かすのが外交的な性格の特徴

POINT

リアクションを大きく

外交的なキャラクターは、基本的に喜怒哀楽の表現が激しく、リアクションも大きい。感情を体全体で表現すると性格が表せる

いろいろな性格

内向的・外交的以外にも、キャラクターにはさまざまな性格があります。
表情や仕草のコツを学びましょう。

おっとり

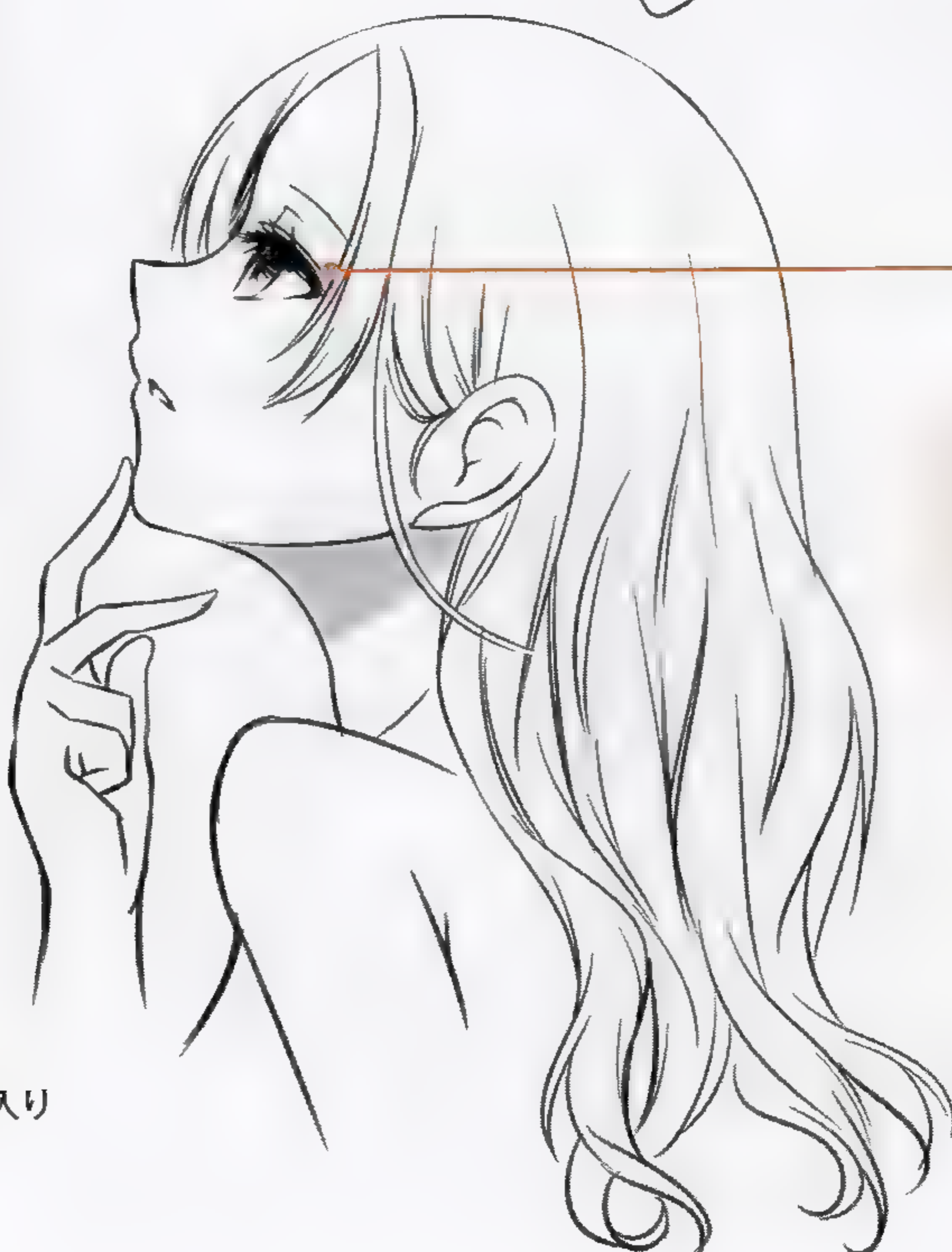
やさしい笑顔と手の仕草で
のほほんとしたイメージに

いたずらっ子

得意げな表情のいたずらっ子。
おどけた手の仕草もポイント

根暗

うつむき気味でこちらをにらみ
つける表情が暗い性格を表現

まじめ
黒髪ストレートとりりしい
表情でお堅い印象に
背すじがピンとしている
アオリで見下ろすよう
に描くとよい
脚を組んでいる
女王様タイプ
人を見下したような表情と
高飛車なポーズがポイント
あえてハイライトを
入れずに目を描くことで
感情が入っていない
様子を表現
不思議議系
ぼんやりと自分の世界に入り
込んでいるイメージ

仕草やポーズを描き分ける

表情と一緒に体の動きを加えると、よりいっそう表現の幅が広がります。
仕草やポーズの描き分けについて学びましょう。

さまざまな仕草やポーズ

顔と手のポーズ

顔と手だけでもさまざまな表現が可能です。上半身だけのイラストのときの参考にしてください。

照れる

恥ずかしそうに手で顔を隠し、
困ったように照れている女の子

緊張すると肩が上がる

内緒のポーズ

片目を閉じてこちらにアピールしているところ

手を振る

明るい笑顔で手を振っている

指をピンと張ると元気
なイメージに

あくび

涙を浮かべて大きなあくびを
する女の子

大きく開けた口で
無防備さを表現

眠い目をこする

目をこすりながら眠さに
耐えている女の子

少し閉じ気味のうるんだ瞳

髪を結ぶ

ヘアゴムを口にくわえ、髪を
結ぼうとしているところ

まとめる前の散らばる
毛先がポイント

寒がる

寒そうに指先に息を吐き
温めているところ

口元に指先をそろえる

暑がる

額の汗をぬぐい、手で
あおいでいる女の子

手であおぐマンガ表現
を入れると効果的

めがねを上げる

ずり落ちてきためがねを
上げる女の子

めがねフレームの片側を
上げる仕草はまじめな
印象

髪をかき上げる
長い髪を両手でかき上げているところ
髪が腕で持ち上がるので、そこから落ちる流れがポイント
考える
あごに指を添え、真剣な表情で考えている
うたた寝する
座ったまま気持ちよさそうにうたた寝している
横に傾いた頭を手で支えている
小さく開けた口

全身のポーズ

立ちポーズ

体全体を使ったさまざまなポーズを見ていきましょう。どのポーズも女性らしい体のラインを意識して描いてください。

走る

後ろを気にしながら走る
女の子の後ろ姿

挑発する

相手をからかうような表情と
ポーズの女の子

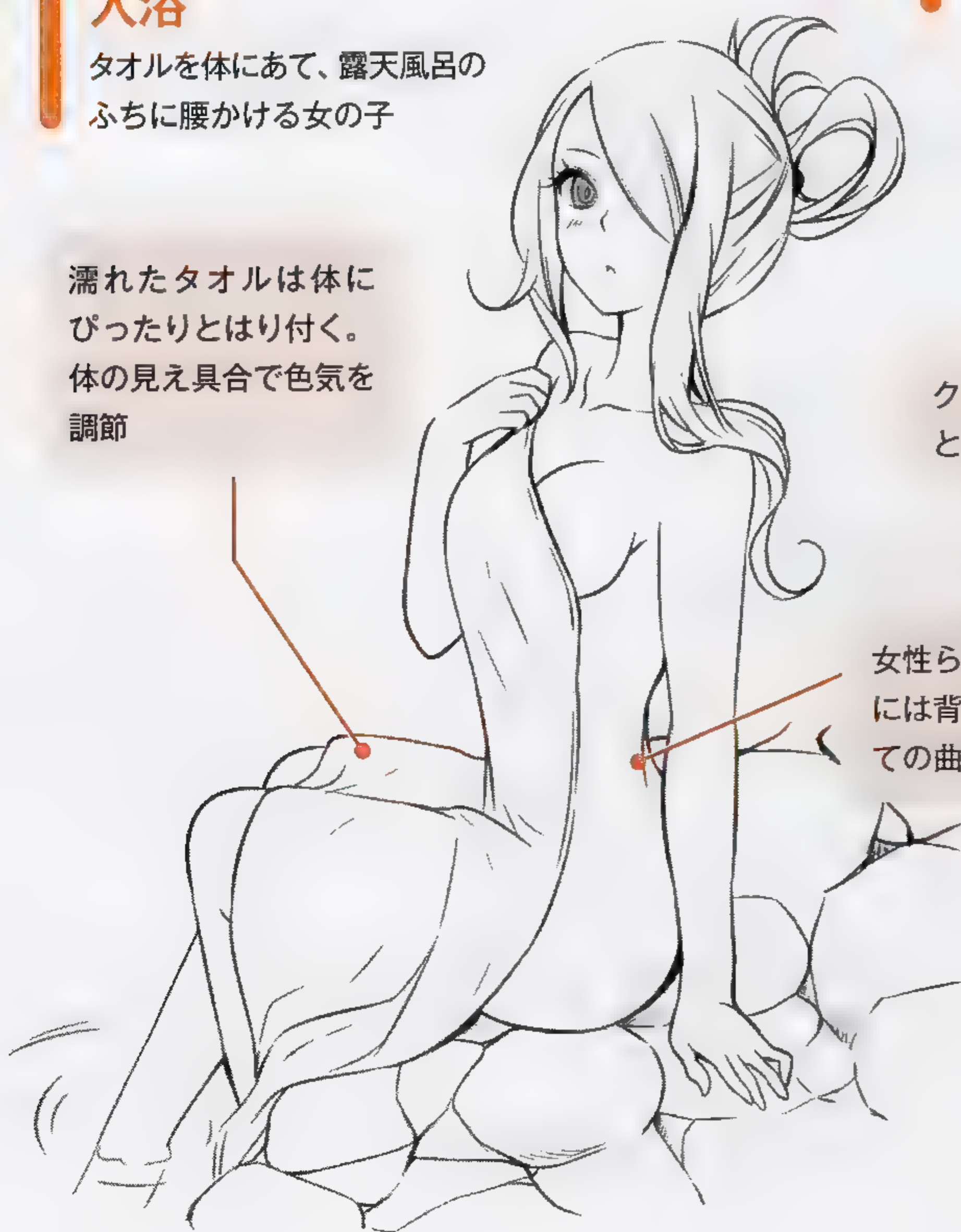
座りポーズ

「座る」といってもポーズはさまざま。女の子のいろいろな座り方を見てみましょう。

浮かぶ

座った姿勢で宙に浮いている現実にはあり得ないシチュエーション

入浴

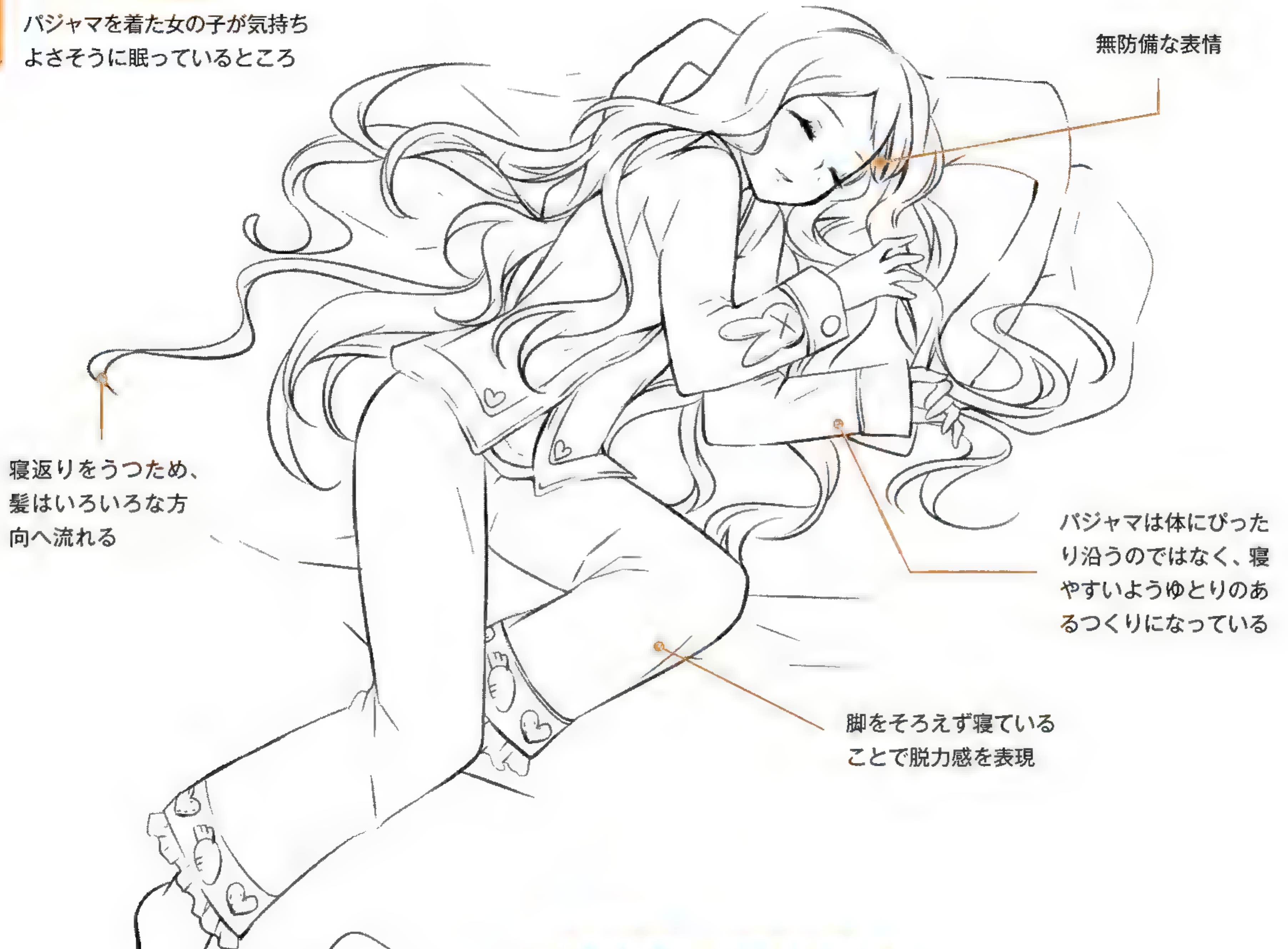
タオルを体にあて、露天風呂のふちに腰かける女の子

ひざを抱える

困った表情でひざを抱えて座る女の子

寝ポーズ

横になった女の子のポーズを見ていきましょう。脱力感を表現するのがポイントです。

ぐっすり眠る

パジャマを着た女の子が気持ちよさそうに眠っているところ

無防備に相手を誘う

ぼんやりとした表情でこちらを見つめるセクシーな女の子

Chapter.3

コスチュームと動きについて

キャラクターに魅力的な衣装を
着せていきましょう。衣装にあったポーズを
とらせて表現の幅を広げてください。

日常の服を描く

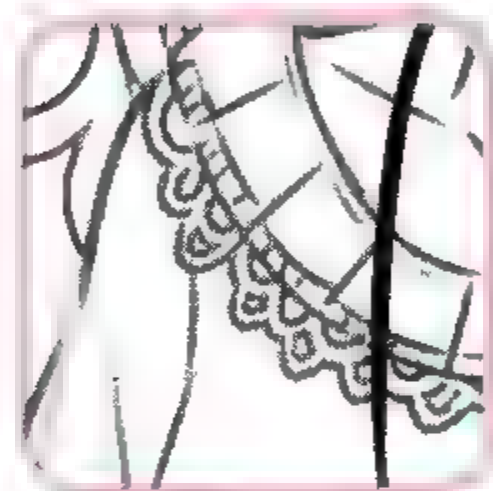
普段着や学生服など、女の子の日常の服を描いてみましょう。季節感を意識して素材にも気を配ることが大切です。

普段着

春〜夏

女の子がもっとも薄着になる季節。肌を露出した軽やかな服装で女の子の魅力を引き出しましょう。

カットソー＆ショートパンツ

七分袖のカットソーと花柄のショートパンツがかわいい春らしいスタイル

胸元にあしらった繊細なレースが女の子らしい

カットソーの袖はリブ袖に。細かなしわで立体感を表現している

ショートブーツでカジュアルに春らしさを表現

ガーリーなワンピース

リボンやフリルなど、ガーリーなモチーフをたくさん取り入れたワンピース

リボンで絞られたフリルが立体的になったデザイン性の高い袖

花柄、波形カット、フリルと女の子らしい要素がたくさん詰まったすそ

つま先が丸くボリュームのある“おでこ靴”でちょっとロリータ風に

Tシャツ＆ショートパンツ

シンプルで夏らしいファッション。適度な肌見せで元気いっぱいの女の子に

リゾートワンピース

ゆったりとしたロングワンピースに麦わら帽子をかぶったリゾートスタイル

短めの袖でチラリと脇が見えるのがポイント

ショートパンツで脚を健康的にスラッと長く見せる

ふんわりとめくれるすそは、素材のやわらかさを表現

麦わら帽子はツバを大きくするとリゾート感が出る。細かな線を入れて編み目を表現

リゾートらしく胸は大胆に露出。胸元のデザインにもこだわりを

大きく風になびくスカートはゆったりとしたつくり。すそにはひだが少なめのフリルを飾ってカジュアルに

寒くなる秋～冬は女の子らしいアイテムがたくさん登場する季節。ニットやファーなどの温かみのある素材を取り入れるのがポイントです。

ざっくりニットスタイル

ニットとチェックシャツに細身のパンツを合わせた優等生スタイル

ニットの下に着たチェックシャツは襟の下に影を入れると立体的に

ニットの模様は線に強弱をつけることでより立体的に

パンツはくるぶしが見える丈にするのが女性らしい着こなしのコツ

ハイネックニットとベレー帽

ゆったりしたニットとベレー帽、編み上げブーツが秋らしいスタイル

ベレー帽はななめにかぶるのがポイント。ふちが内側に入って丸くなっている状態

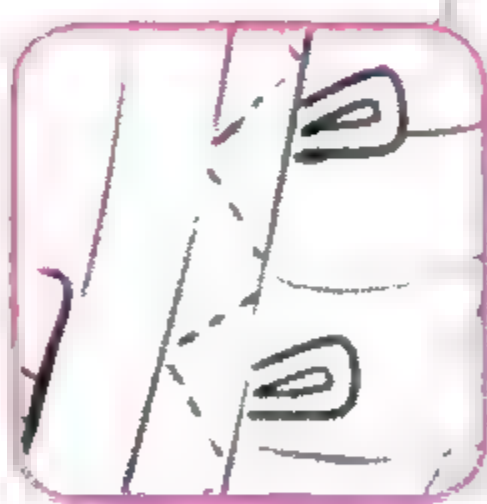
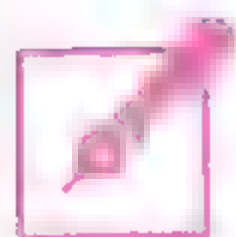
大きめのニットは"萌え袖"になるように描くとかわいい

編み上げブーツの履き口には繊細な刺繍(ししゅう)が施されている

モコモコのポンチョスタイル

モコモコしたボアがついたポンチョを重ねたあったかファッション

ファーコートの真冬スタイル

女の子をかわいく見せるフード付きコートで真冬のコーディネートに

学生服

セーラー服

セーラー服はさわやかに着こなすのがポイント。スカート丈は長めにすると清楚なイメージ。

夏服

白い上着がさわやかな夏のセーラー服。上半身はコンパクトにまとめるのがかわいく描くコツ

スカーフの結び方にもいくつかパターンがある。これはスカーフ通しにくぐらせるデザイン

上着は短めがかわいい。大きく動いたときにおへそをチラ見せさせてもよい

冬服

夏服に比べ、全体に黒っぽくなる冬服のセーラーはシックな印象

袖はゆったりめ。少しふくらませるように描くと素材感が出る

袖口にもラインがあしらわれたデザイン

ブレザー

セーラー服同様に人気のブレザー。スカートの長さで、知的に見せたり、ギャルっぽく見せたりすることができます。

夏服

夏はブレザーではなくブラウスだけのスタイルやベストを着用したスタイルになる

冬服

カッチリしたブレザーとやわらかいスカートのバランスがかわいいブレザースタイルの制服

制服アレンジ

ゲームやアニメなど二次元に登場するような制服。実際にはあり得ないデザインを制服らしく描くのがポイント。

ニーハイブーツ＆帽子

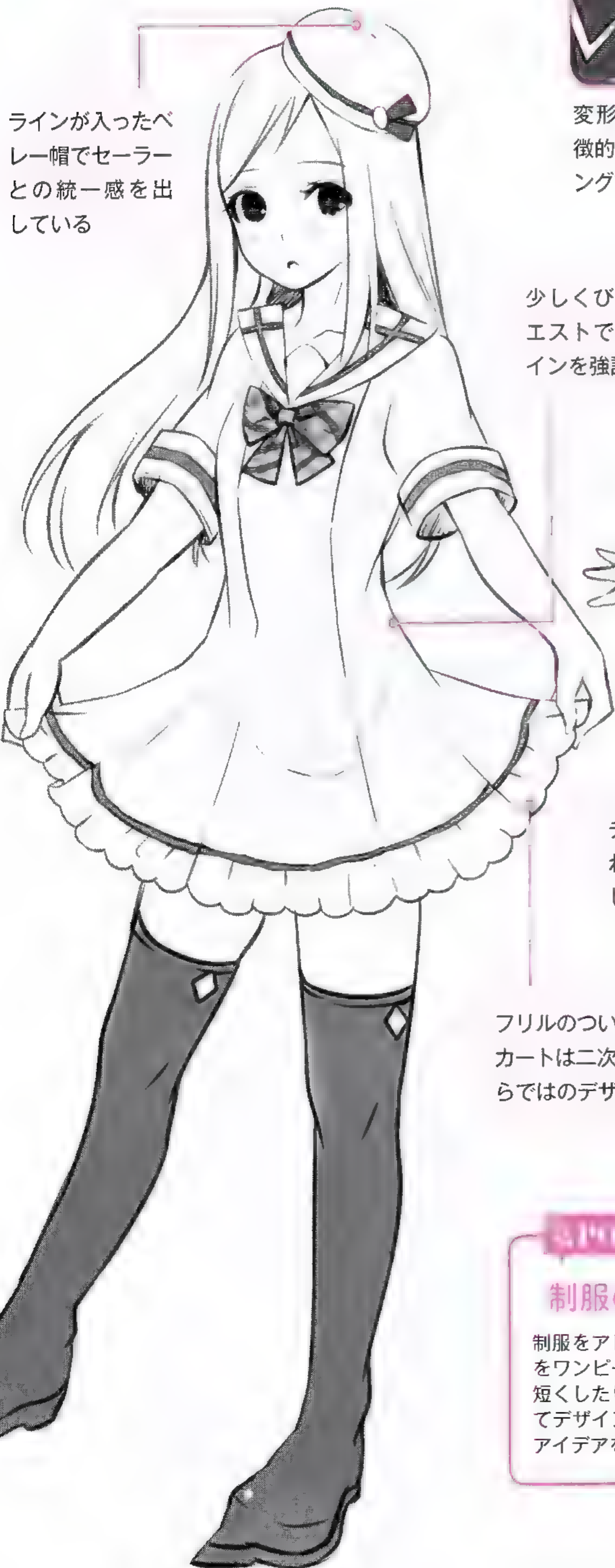
ベレー帽とセーラー服の組み合わせ。フリルやニーハイブーツなどの萌え要素をプラス

ラインが入ったベレー帽でセーラーとの統一感を出している

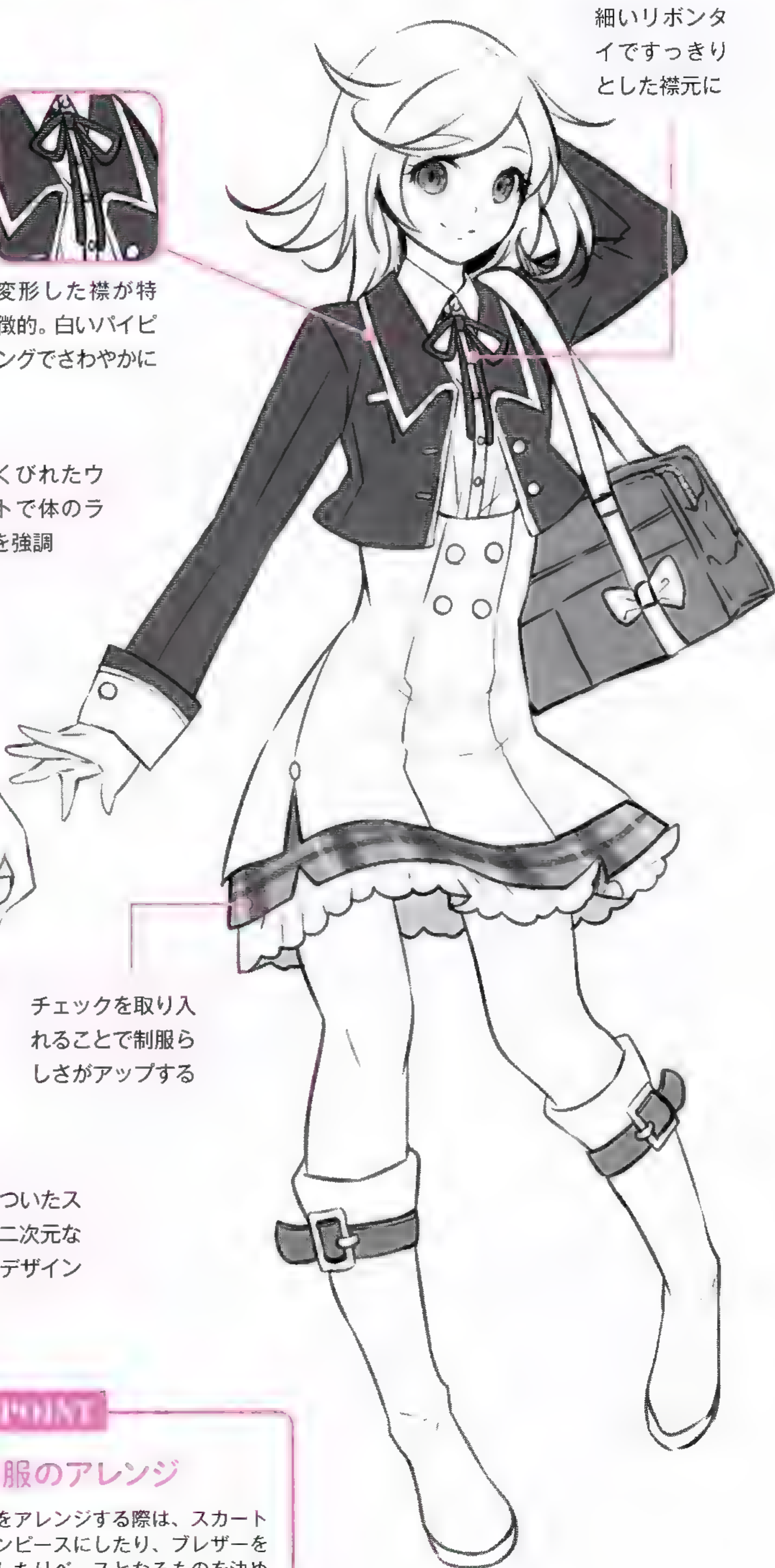
少しくびれたウエストで体のラインを強調

フリルのついたスカートは二次元ならではのデザイン

ミニブレザー

丈の短いブレザーがかわいいアレンジ制服。ジャンパースカートのすそからチェックがのぞくデザイン

細いリボンタイですっきりとした襟元に

変形した襟が特徴的。白いパイピングでさわやかに

チェックを取り入れることで制服らしさがアップする

POINT

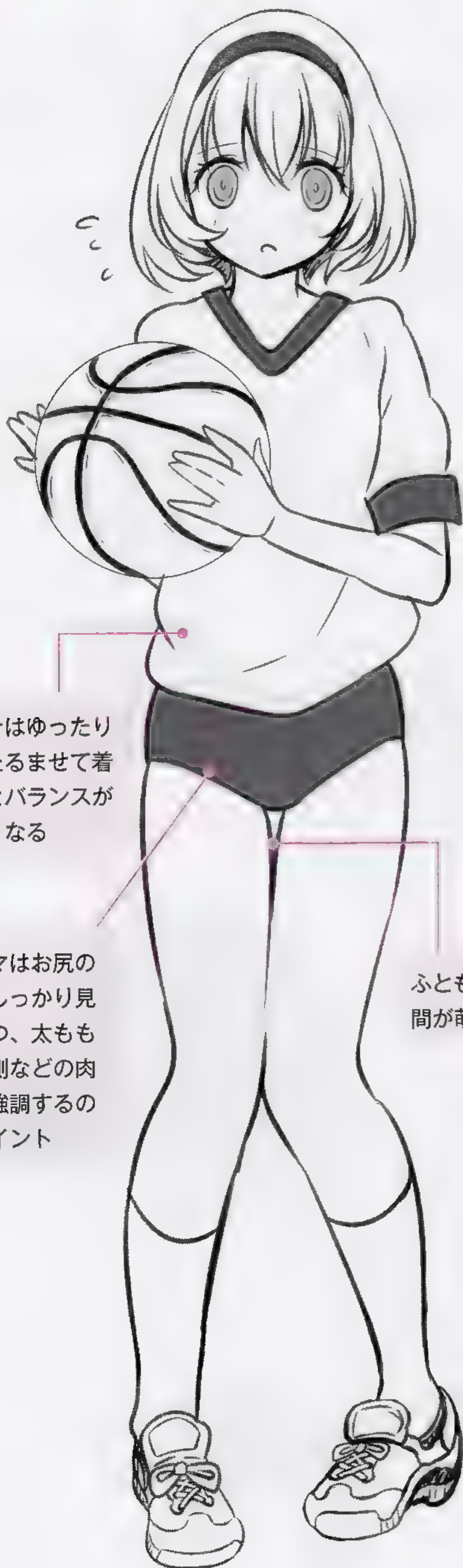
制服のアレンジ

制服をアレンジする際は、スカートをワンピースにしたり、ブレザーを短くしたりベースとなるものを決めてデザインを変えていく。日頃からアイデアをストックしておくとよい

体操服・ジャージ

体育や部活動で着用する体操服・ジャージはバランスに気をつけてかわいく描きましょう。

体操服

現実ではあまり採用されなくなったブルマも二次元では女の子の魅力を引き出すアイテムとして人気

すそはゆったりとたるませて着るとバランスがよくなる

ブルマはお尻の形をしっかり見せつつ、太ももの内側などの肉感を強調するのがポイント

ふとももの間の隙間が萌えポイント

ジャージ

大きめのジャージのすそや袖をまくり上げて着るのがかわいい。厚手でやわらかい生地感を表現するのがポイント

まくった袖がひじのところに集まり大きくしわが寄っている

大きめサイズなのですそにたるみが出る

まくり上げたズボンがひざ上にたまり、ゆったりとしたシルエットに

女の子の仕事着を描く

仕事着は、女の子の普段と違った魅力を引き出してくれるもの。実用性と見た目のかわいさを兼ね備えた仕事着を描いてみましょう。

さまざまな仕事着

アルバイトのコスチューム

飲食店の店員は女の子に人気のアルバイト。コスチュームも魅力的です。

メイドカフェの店員

フリルがたくさんついたスカートやエプロンがかわいいコスチューム。立体感を出すのがポイント

ハンバーガーショップの店員

カジュアルで清潔感のあるコスチューム。お店のロゴが入ったサンバイザーもかわいい

カチューシャはリボンやレースを付けたり、さまざまなアレンジができる

エプロンのフリルは肩からはみ出すくらいに描くとボリューム感が出る

ニーハイソックスで太ももをチラ見せするのもポイント

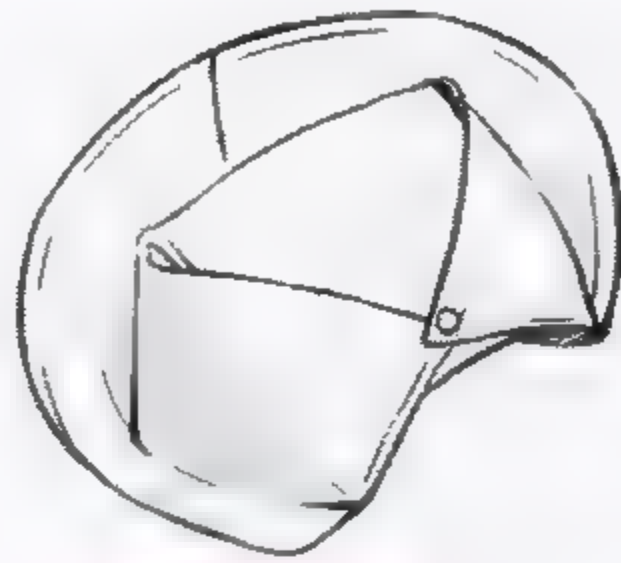
髪型はポニーテールなど清潔感のあるものがベスト

帽子や首もとの小物を変えるだけでガラリと雰囲気が変わる

専門職の制服

憧れる人も多い看護師や女性警官などの専門職の制服を見ていきましょう。

看護師

看護師の制服は白や薄いピンクのワンピースが基本。
清楚で実用性にすぐれている

女性警官

ひざ丈のタイトスカートにシャツが基本。この上にジャケットを羽織ることもある。夏は半袖になる

その他の仕事着

女の子の仕事着のバリエーションを見ていきましょう。

OL

制服があるOLは、事務職や銀行員などが多い。タイトスカートにシャツ、ベストが基本

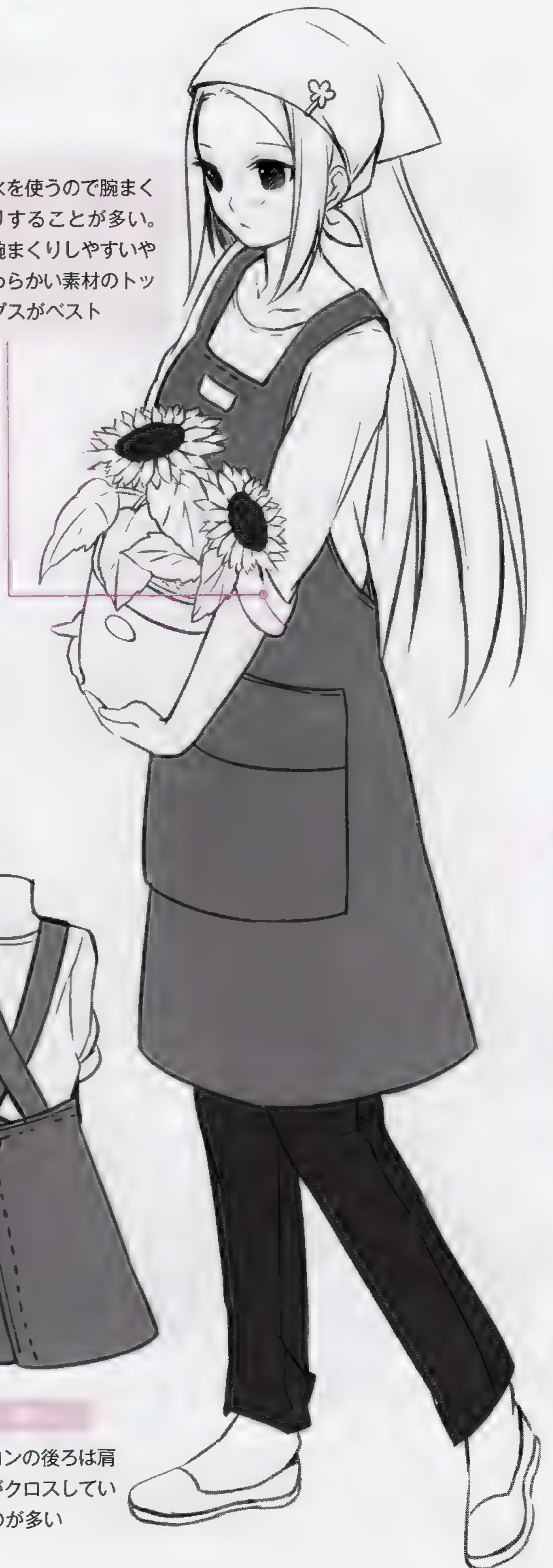
学校の先生

先生らしさを出すにはスーツスタイルがよい。シャツのデザインで大人っぽさを出すのがポイント

パティシエ

白いコックコートに白い前掛けがパティシエの制服の基本。背の高いコック帽もポイント

花屋の店員

動きやすい服装にエプロン姿が基本。エプロンは撥(はっ)水(すい)加工で大きなポケットが付いているのが特徴

ファンタジーの衣装を描く

ゲームやアニメに登場するようなキャラクターの衣装を描いてみましょう。現実にはあり得ないような表現ができるのも魅力です。

さまざまなファンタジーの衣装

ゲームに登場するキャラクターの衣装

ロールプレイングゲームなどにたびたび登場するキャラクターの衣装を見ていきましょう。

女騎士

硬い甲冑（かっちゅう）に身を包み、大きな剣と盾で武装している。どこかに布のやわらかい質感を入れるのがポイント

胸も甲冑で覆われているタイプ。ファンタジーの場合、あえて胸を強調するような衣装もある

鎧（よろい）の下からのぞくスカートが女性らしさのギャップを表現

姫

中世ヨーロッパのドレスをベースに、ウエディングドレスのようなフリルやレースなどのパーツを組み合わせる

中にコルセットを着用してウエストを締めている

ふんわりとふくらんだプリンセスラインのスカートでボリューム感を出す

アマゾネス

ムキムキの筋肉が特徴の戦闘民族アマゾネス。衣装は局部を覆う程度の小さなもの

エルフ

弓使いとして描かれることの多いエルフ。衣装の色は緑や茶色などのアースカラーが基本

その他のファンタジーの衣装

さまざまなキャラクターの個性が生きる衣装を見ていきましょう。

妖精

妖精の衣装は、ふんわりと軽く、透けるような素材でできたミニワンピースが多い

魔女

ミステリアスな魔女は黒や紫などのダークカラーが基本。三角形の帽子をかぶっている

悪魔

女性の姿をした悪魔サキュバス。胸を露出し、相手を惑わす妖艶な衣装を着ている

ウエストからヒップにかけての曲線を強調してセクシーに

羽は先端ほど細い線で描き、質感を出している

天使

白い衣装に白い羽で清純なイメージ。頭の上の輪がトレードマーク

POINT

ファンタジーの衣装

ファンタジーの衣装には決まりはないが、キャラクターの世界観をつくるには資料を集めて参照することが大切。そのうえで自由にイメージを遊ばせていくこと

女海賊

勇ましい女海賊の衣装にもフリルなどの女らしさを
加えるのがポイント

帽子にもフリルがあ
しらわれている

大きめのコートが風
になびいている表現

フリルの２段スカ
ートの下には太も
もをのぞかせてセ
クシーに

袋を持たせると
何かを盗んだ印
象を与えられる

女盗賊

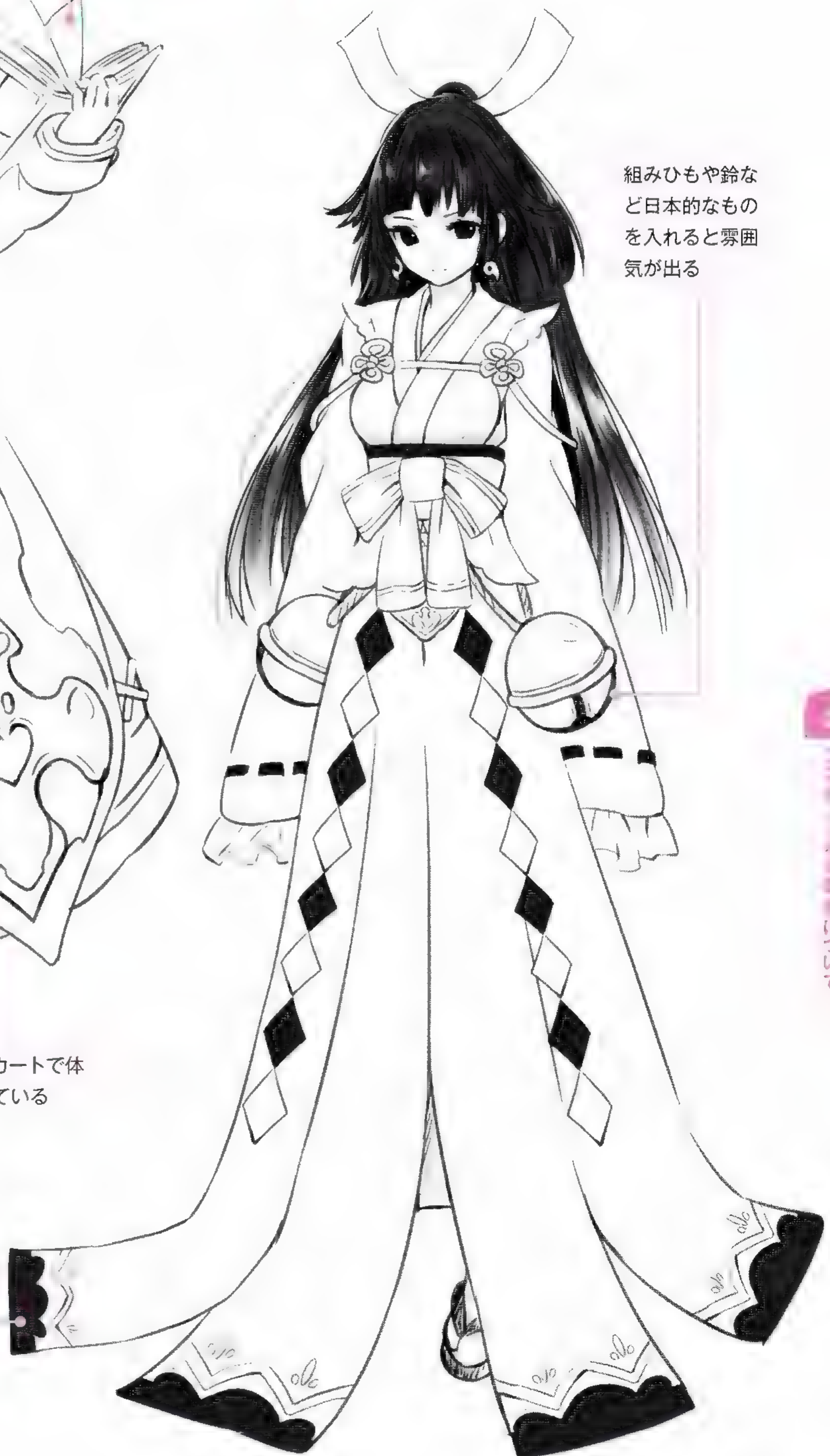
すばしっこく宝物を盗む女盗賊は動きやすくシンプ
ルな衣装を着ている

身軽に動けるよう
に短剣などサイズ
の小さな武器を持
つことが多い

神官

ファンタジー作品の教会にいる神官。全身を装束で覆った神聖なイメージ

巫女

ファンタジーにアレンジした巫女衣装。白い着物をベースにしている

ランジェリー&水着を描く

女の子のセクシーさやキュートさを引き出すランジェリーや水着。正しい構造を知ってかわいく描きましょう。

ランジェリー

ランジェリーの構造

ホックやアジャスターなどの位置や付け方を知り、構造を理解してランジェリーを描きましょう。

ストラップは胸を脇から支えて中心に寄せている

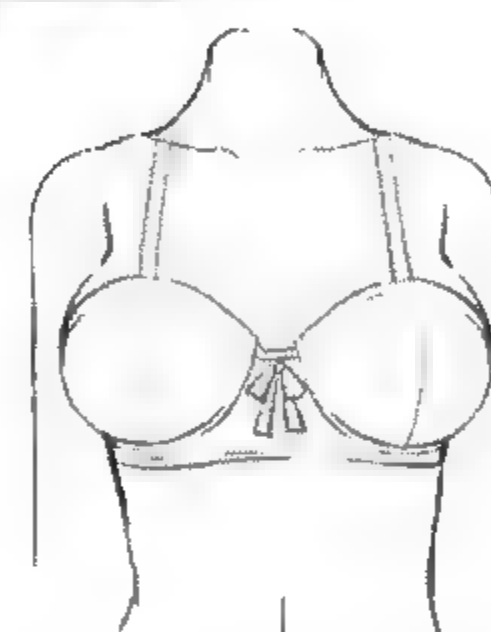
アジャスター

ホック

アンダーベルト

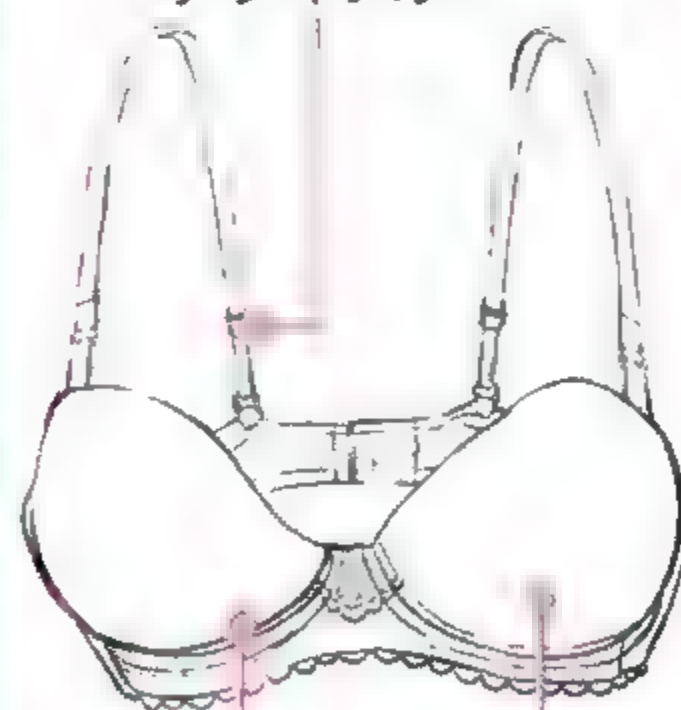
ショーツの食い込みを意識して、少し肉感を出すとセクシーになる

ショーツはやわらかくしわが入りやすい。縫い目を意識してしわを描くとリアルになる

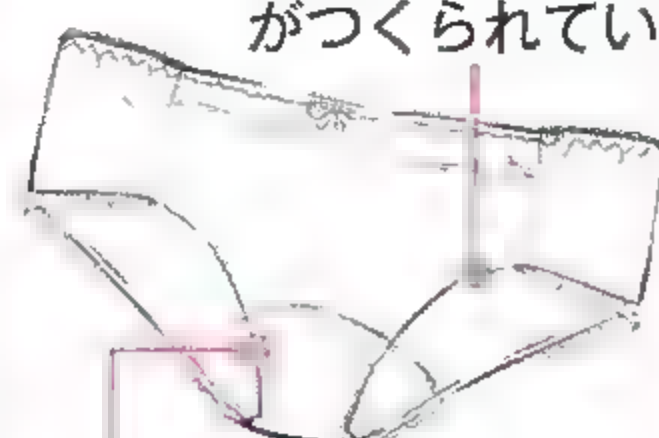
NG

ストラップは基本的にブラジャーの真ん中を通らない。胸を寄せて上げるためには脇から支えることが重要

POINT

ブラジャーとショーツの構造

長さを調節するアジャスター

カップ

ワイヤーが入るものと入らないものがある

前側の布に足ぐりがつくられている

クロッチ（股布）は布が二重になっている

ランジェリーの種類

ブラジャー、ショーツともにさまざまな種類があります。代表的なものを見ていきましょう。

▼フルカップブラ

胸全体を包み込む安定感のあるタイプ。胸にボリュームがある人に適している

▼三角ブラ

ワイヤーが入っていない水着のようなタイプ。デザインによっては“見せブラ”として使える

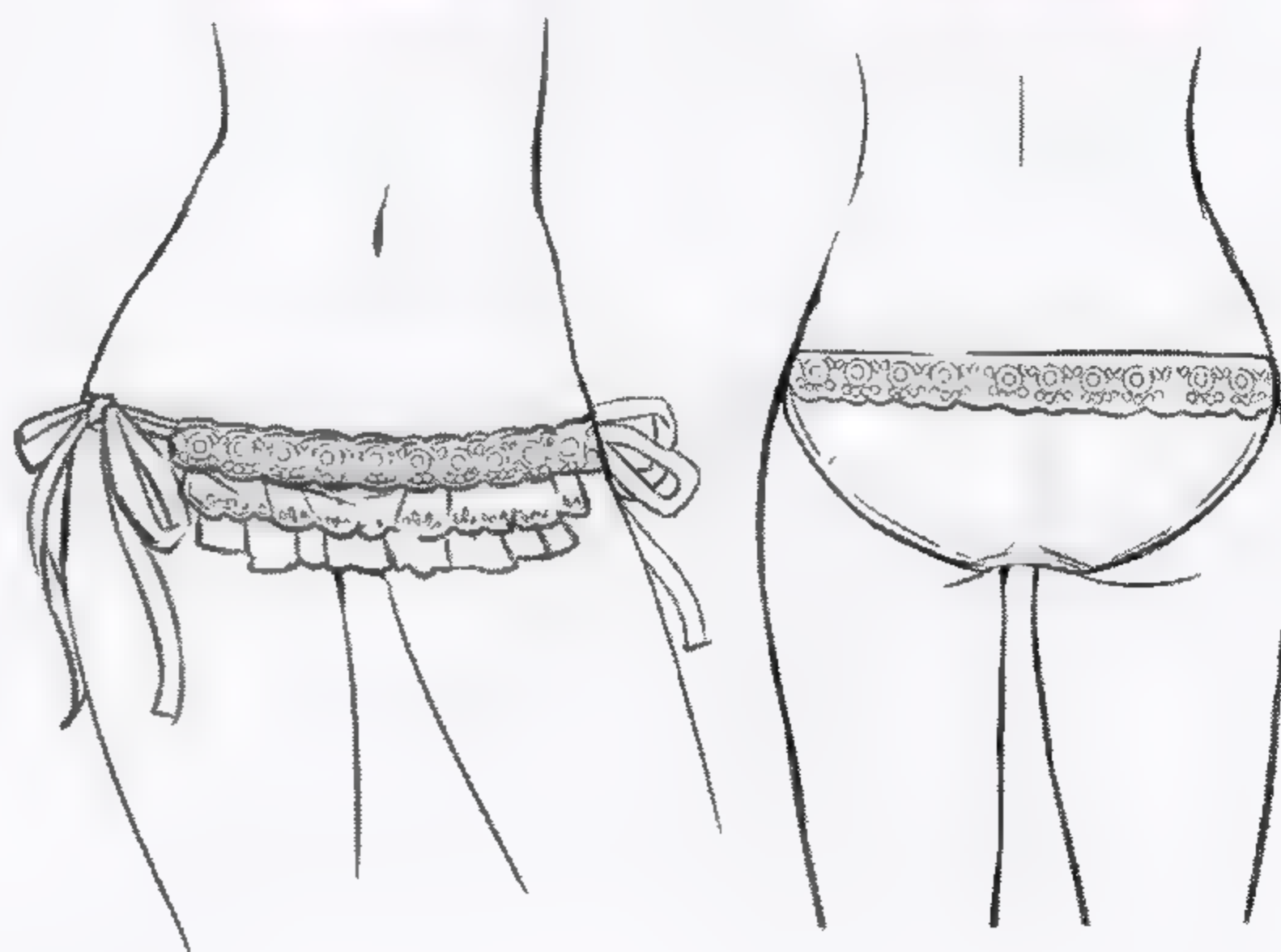
▼チューブトップブラ

ストラップがなく、筒状になったタイプ。肩を出した服を着るときなどに着用する

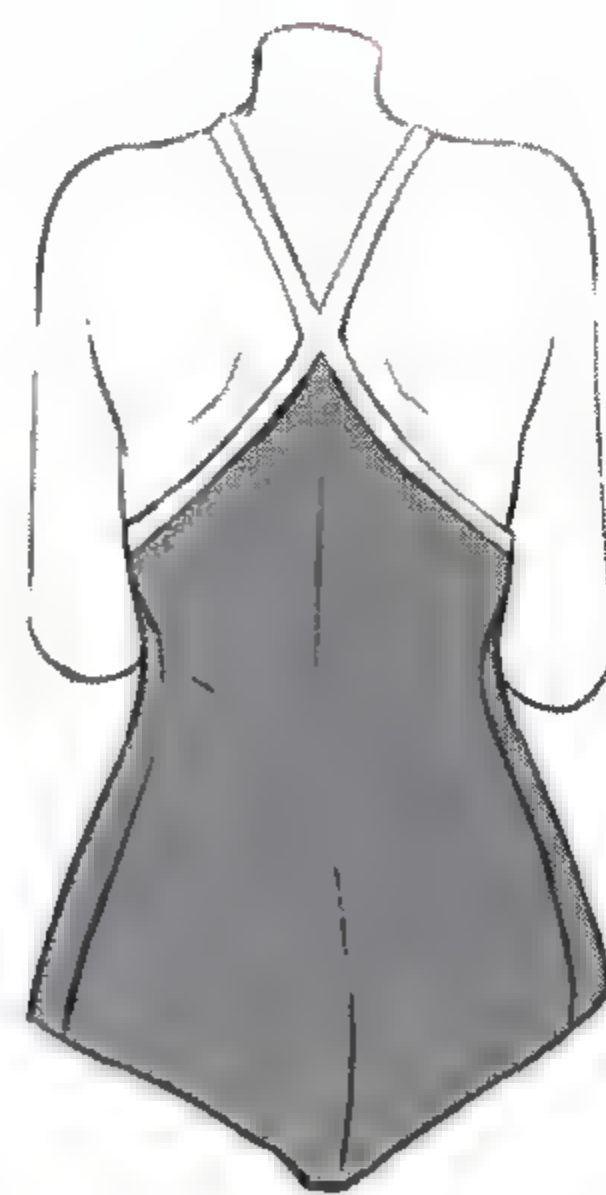
▼Tバックショーツ

後ろがアルファベットの「T」のようになったショーツ。上にはくパンツやスカートに下着のラインを響かせたくないときなどに。お尻の露出が多いのでセクシー

▼ひもパン

両サイドにひもやリボンがついており、結ぶようになっているショーツ。腰ではくローライズに近いデザイン。後ろはフルバックショーツやTバックなどが多い

水着

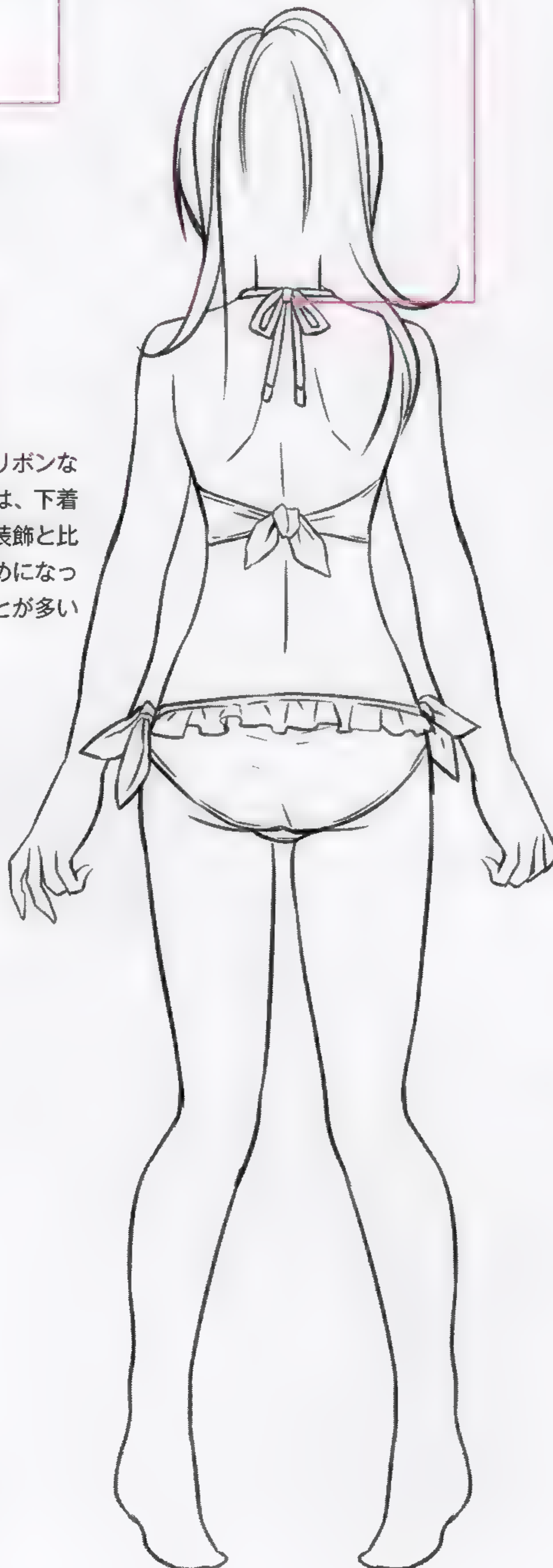
スクール水着の構造

シンプルで機能的なスクール水着の構造を見ていきましょう。露出を抑えめにするのがポイントです。

ビキニの構造

上下が分かれており露出も多いビキニはデザインも豊富。その基本的な構造を知っておきましょう。

中心にポイントとなるモチーフを入れると目立つ

首の後ろで結んで胸を支えるホルターネックタイプも多い

フリルやリボンなどの装飾は、下着の繊細な装飾と比べて大きめになっていることが多い

お腹部分が隠れるようになっているタンキニ。隠れているがボトムは水着。露出を抑えたいときに

チューブトップのようになっているバンドゥビキニ。胸の形をきれいに見せてくれる効果がある

胸の先端のみを隠すマイクロビキニ。ボトムも露出度が高いものが多く、かなりセクシー

ランジェリー&水着のバリエーション

ランジェリーや水着を着ている女の子のさまざまなポーズを見ていきましょう。

挑発的なポーズ

トップスをめくって口にくわえた挑発的なポーズ。女の子の体の曲線をきれいに描きましょう

ランジェリー姿で恥ずかしがる

ランジェリー姿を見られ恥ずかしがる女の子。自分を守るようなポーズがポイント

胸を隠すようなポーズで恥ずかしがっている様子を表現

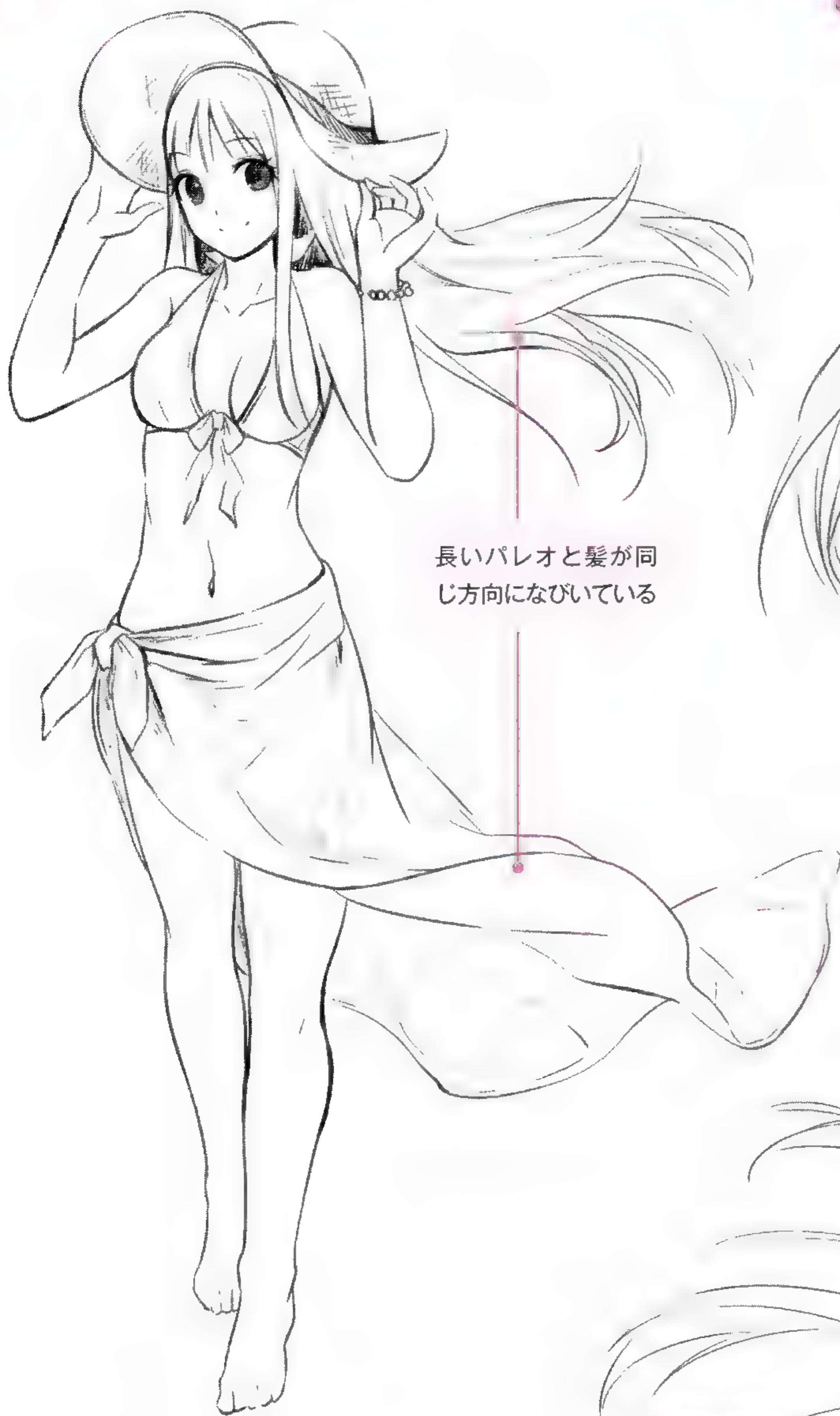
背中の中心の線を入れると立体感が出て体のラインがきれいに見える

着替えを覗かれて怒る

腕をクロスし、トップスを脱ごうとしている女の子。嫌がっている表情もポイント

ブラジャーの下から下乳がはみ出して見えるとよりセクシーな印象に

リゾートを楽しむ女の子

大きなツバのついた麦わら帽子や、腰に巻いたパレオがリゾート感を演出

スクール水着のひもを直す

水着の肩ひもを直す瞬間は無防備な魅力を感じられるシーン

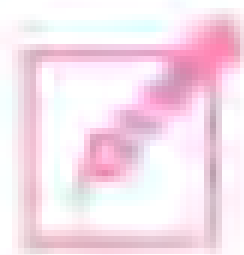
伸縮性のある薄い生地の水着のひもを直すと、やわらかい胸が持ち上がりより強調されセクシーになる

ビキニ姿で振り返る女の子

いたずらっぽい表情でこちらを振り返るビキニ姿の女の子。髪につけたハイビスカスが夏らしい

後ろで結ぶタイプのデザインにすることで後ろ姿もかわいくなる

さまざまな動きの表現

これまで学んだ描き方をふまえて、女の子に動きをつけてみましょう。躍動感あるポーズの描き方を学びます。

基本の動作

まずは基本の歩く動作から。関節がどう曲がるのか、重心がどう移動するのか考えながら描きましょう。

体の重心を前に移動させながら歩く。そのためやや前かがみになる

前に出ているほうの脚の付け根の関節は少し上がり、肩は少し下がる

とくに女性はお尻が大きめなので、歩くときに腰が左右に動く

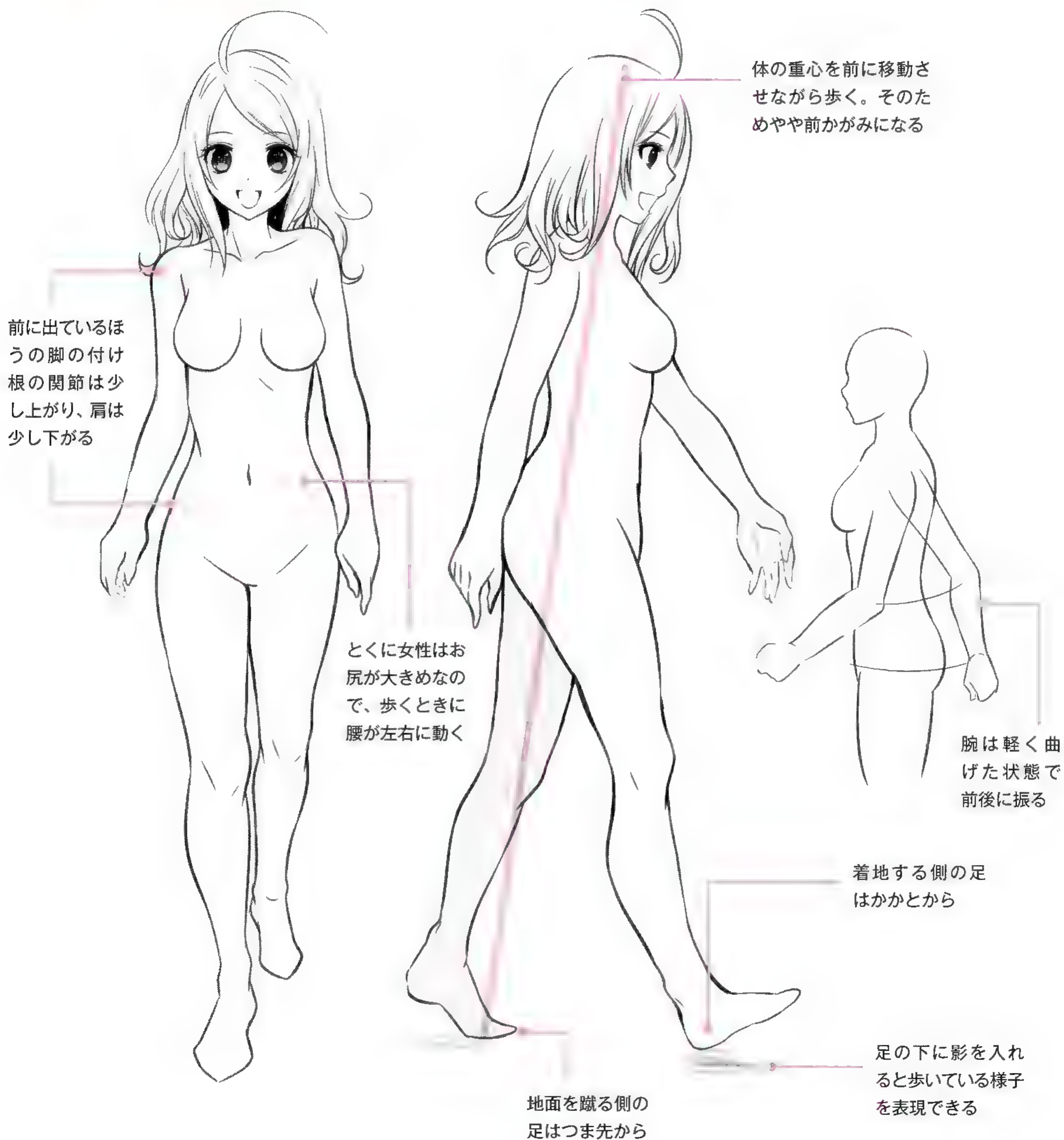
腕は軽く曲げた状態で前後に振る

着地する側の足はかかとから

足の下に影を入れると歩いている様子を表現できる

地面を蹴る側の足はつま先から

走る

女性らしい走りや猛ダッシュなど、走り方にもいろいろな種類があります。

▼女性らしい走り

内股で走る女の子走りは、運動が苦手でちょっとどんくさい印象に

▼活発な走り

活発な女の子の走りは、腕を曲げ、大きく振って走る

▶猛ダッシュ

全力で走っているときは、さらに前かがみになります。髪や服のなびかせ方でスピードを表現しましょう

複雑な動作

ジャンプする

ジャンプしている表現は、何よりも躍動感がポイント。さまざまな効果を入れて動きを表現しましょう。

スポーツ
スポーツをしている女の子の複雑な動きの描き方をマスターしましょう。
テニス
ボールを打ち返す瞬間の女の子。体のひねりがポイント
肩と腕を内側に入れてボールを受け止める。ラケットのグリップはしっかりとにぎる
ラケットを振り抜くため腰をひねる
バスケットボール
シュートを打った瞬間のポーズ。目はまっすぐゴールを見つめている
ボールを持っていないほうの手はそえるだけ
10
バスケットボールのユニフォームは全体的にルーズ。風を受けてふんわりとふくらむ
バレーボール
レシーブの体勢でボールを待ち構えるシーン。腰を落としたポーズがポイント
腕は曲げず、しっかりと両手を組んで固定する
ひざにはサポーターをつけている。腰を落としてしっかりと衝撃に備える
3
コスチュームと動きについて

サッカー
ボールを蹴ろうとしているところ。振り上げた脚の躍動感を表現するのがポイント
勢いよく蹴るため体をひねって助走をつける。そのため腕も上がる
振り上げたときの土や動きをマンガ効果で表現するとよい
新体操
脚を高く上げている新体操の選手。体がやわらかく、通常では難しいポーズもとれる
胸をしっかり張る
手の先から足の先までしっかり伸ばす
体がやわらかく、バランス感覚にすぐれているため片足でもしっかり立つことができる
ヘルメットをかぶっている
上半身を大きくひねってスイングするため、服にもしわができる
野球
バットをスイングした瞬間の女の子。腰を大きくひねってダイナミックな動きにする

格闘シーン

殴ったり蹴ったりといった格闘シーンの描き方をマスターしましょう。マンガ効果を入れて迫力を出します。

構える

相手の攻撃に備え、自分の攻撃のタイミングを見計らっているときの構え

髪を少し揺らすとリズムを刻んで構えているように見える

手は体の前に構える

ダメージを受ける

大きなダメージを受け、ちゃんと立っていられなくなった女の子。辛そうな表情もポイント

ダメージを受けるとまっすぐ立っていられなくなり前かがみになる

どちらかのひざを曲げると、バランスが崩れ、今にも倒れそうな不安定さを出すことができる

狙いを定めるため、両手で銃を持って腕を伸ばす

銃を構える

片ひざをつき、銃を構えている女の子。腕を伸ばしてしっかりと狙いを定めている

右脚でしっかりと体を支え、左脚は目標の方向に向けている

POINT

銃

銃はリアルに描くことが大切。さまざまな資料を見ながらシルエットとパーツを正確に把握すること

Chapter.4
シチュエーションを取り入れてみよう

さまざまなシチュエーションのイラストを
描いていきましょう。複数の人物の
絡みなども描けるようになります。

日常のシチュエーションを描く

女の子たちの日常を描いてみましょう。どんなシーンを切り取るのか、観察力が大切になります。

さまざまなシチュエーション

生活シーン

起きる、歯を磨く、食べるなどの生活シーンを見ていきましょう。動作と物を組み合わせることでシチュエーションを描くことができます。

寝起き

起きたばかりの女の子の無防備な表情がポイント

ぼんやりとした
無防備な表情

寝癖をつけてボサ
ボサ感を出すと寝
起きっぽくなる

POINT
大きなあくび

小さなあくびも女の子らしいが、
大きなあくびにして眠そうな雰囲
気を強調してもかわいい

ふとんは少し乱れ
た感じにすると寝
起き感が出る

歯をみがく

洗面所で歯をみがく女の子。眠そうな目とボサボサの髪で寝起き感を出している

奥の歯をみがくと、ほおが少しポコッとふくらむ

口の端に泡をつけると雰囲気が出る

コップや歯みがき粉などを置くと洗面所だということが伝わる

着替え

着替えをしている女の子。鏡を置くだけでシチュエーションがわかりやすくなる

目線は鏡に向けると自然

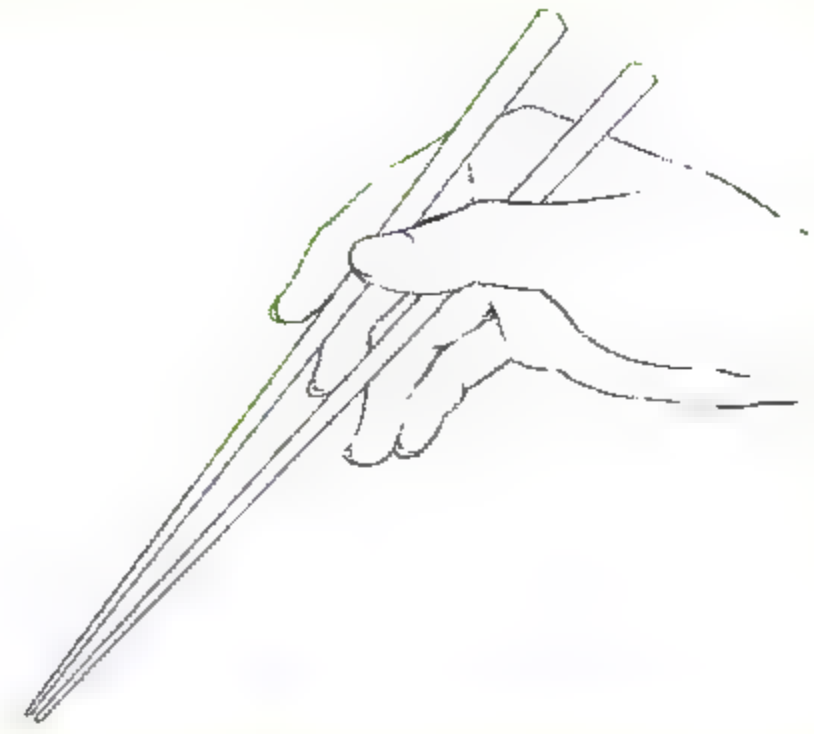
ブラウスのボタンをつまむような手の動作を描くと、着替え中だという印象を与えることができる

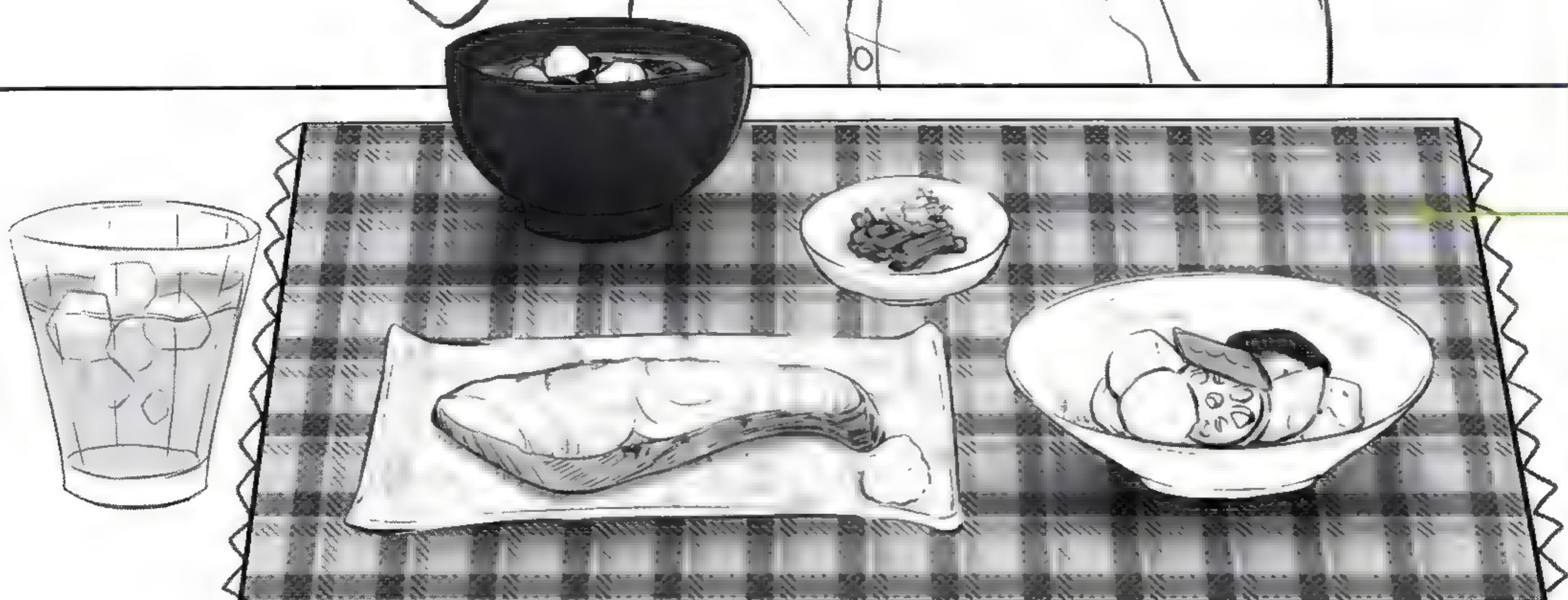
ごはんを食べる

食事をしているシチュエーションのポイントは、食べ物をおいしそうに描くこと。実際の料理や写真を見て研究することが大切

POINT

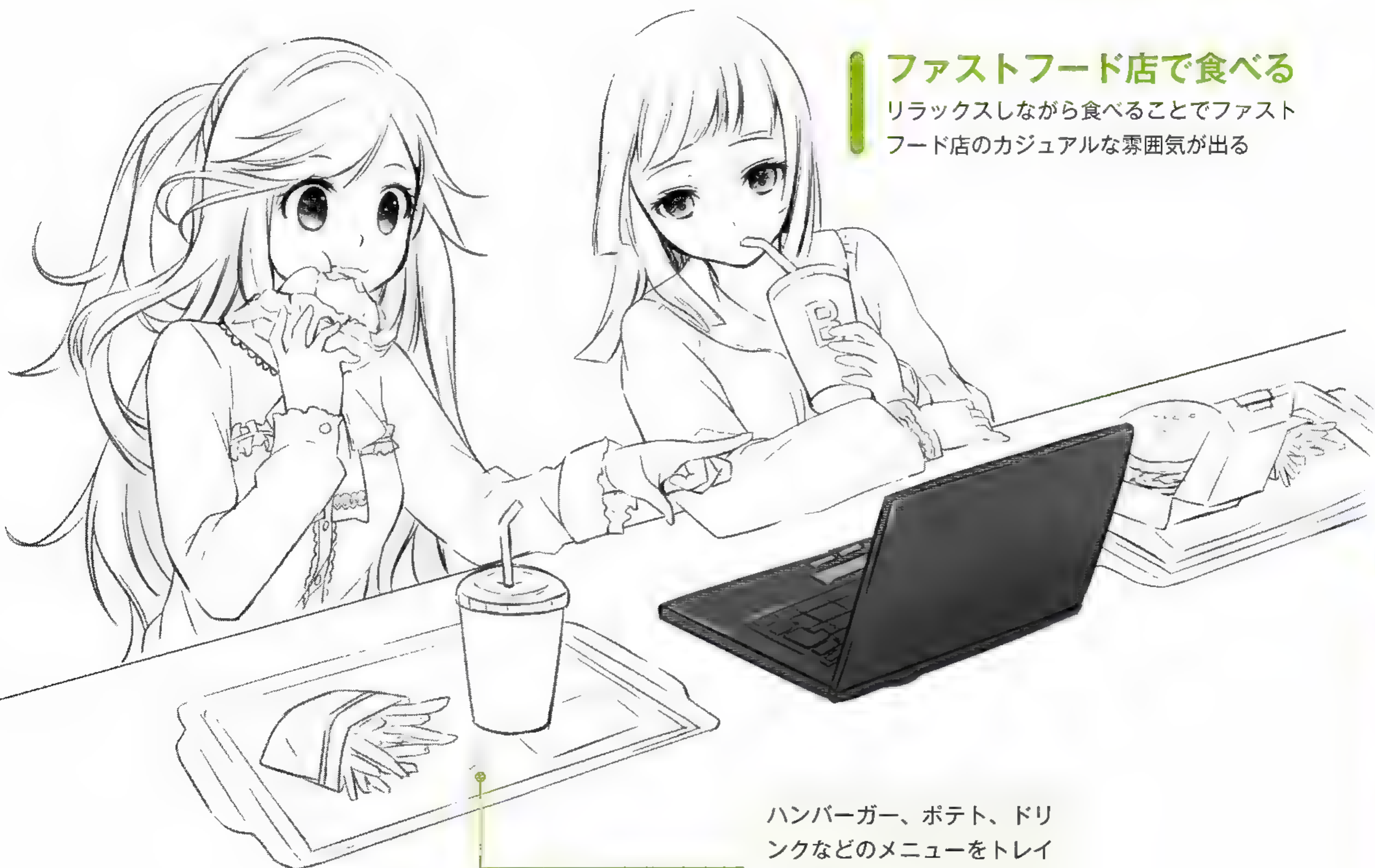
はしの持ち方

はしを持つ手は正しく描くことが大切。よく観察して自然に描けるようにすること

うれしそうな表情だと、おいしく食べているように見える

茶碗やお椀など、食器類の配置にも注意する

ラーメンを食べる

ラーメンなどの麺類を食べているときは、すすっている様子がわかるよう麺に動きをつけるのがポイント

ファストフード店で食べる

リラックスしながら食べることでファストフード店のカジュアルな雰囲気が出る

学校生活

勉強や部活に一生懸命取り組んだり、友だちと楽しく過ごしたりしている女の子を描いてみましょう。

勉強する

学校の机で勉強する女の子。表情を変えることで勉強への取り組み方に変化をつけることができる

「ふむふむ、なるほど」というような表情にすると考えている様子が伝わる。不真面目な表情や眠そうな表情にすることでキャラクターの個性を出すことができる

POINT

いろいろな文房具

どんな文房具を使うかで個性を表現することもできる。女の子らしい文房具ならかわいい雰囲気に

学校の机とイスは体にぴったり合ったサイズ感

登下校

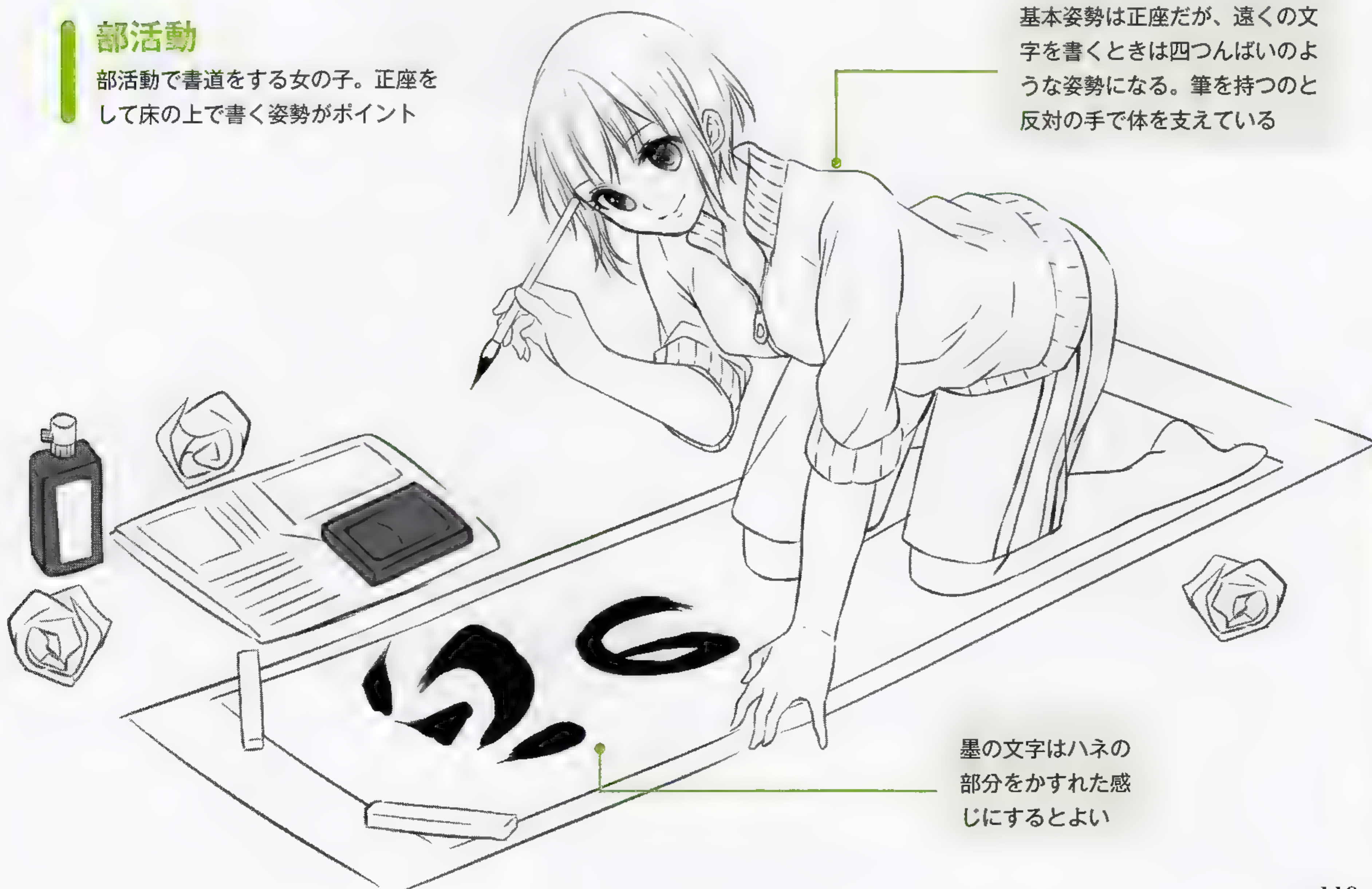
友だちと一緒に登下校しているシーン。カバンを肩にかけたり自転車のカゴに入れたりすると学生っぽい

片方が話してもう片方が笑っているなど、会話が想像できるような目線や口の開け方にするとよい

髪を風になびかせるとさわやかな雰囲気になる

部活動

部活動で書道をする女の子。正座をして床の上で書く姿勢がポイント

基本姿勢は正座だが、遠くの文字を書くときは四つんばいのような姿勢になる。筆を持つのと反対の手で体を支えている

墨の文字はハネの部分をかすれた感じにするとよい

OLの日常シーン　仕事をしている女の子のさまざまなシチュエーションを描いてみましょう。

書類を落とす

つまずいて持っていた書類を落としてしまった女の子。大げさに書類を散らすとコミカルな雰囲気になる

化粧直し

コンパクトを片手に化粧直しをする女の子。
服装や小物でOLっぽさを出している

スーツとショルダーバッグでOLらしさを出している

スーツの下に着たシャツの袖が見えている。生地の厚さの違いに注意すること

飲み会

同僚とアフターファイブに飲み会をしている女性。
楽しそうな表情でなごやかな女子会の雰囲気に

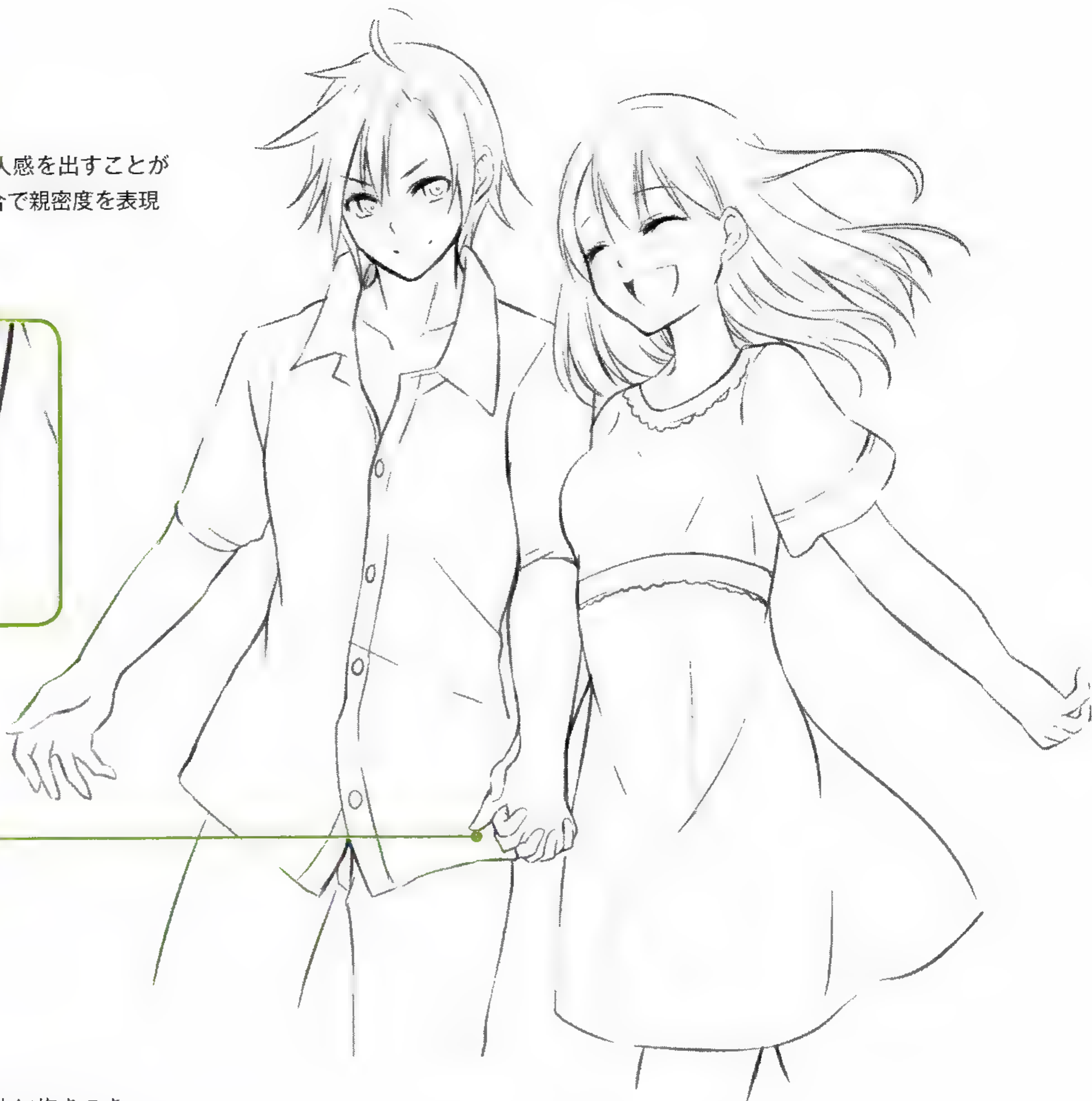
恋愛の絡み

恋愛のシーンを描くときによく登場する2人の絡みを見ていきましょう。動きと表情のつくり方が重要です。

壁に押しつける

男の子が女の子を壁際に押しつけるシーン。見つめ合うように描くとよい

手をつなぐ

手をつなぐだけで恋人感を出すことができる。体の密着具合で親密度を表現

抱きつく

女の子が男の子の背中に抱きつき、腕を回して甘えているシーン

非日常のシチュエーションを描く

非日常的なシチュエーションで女の子を描いてみましょう。ファンタジーなら、現実にはあり得ない表現が可能になります。

さまざまなシチュエーション

現実的なキャラクター

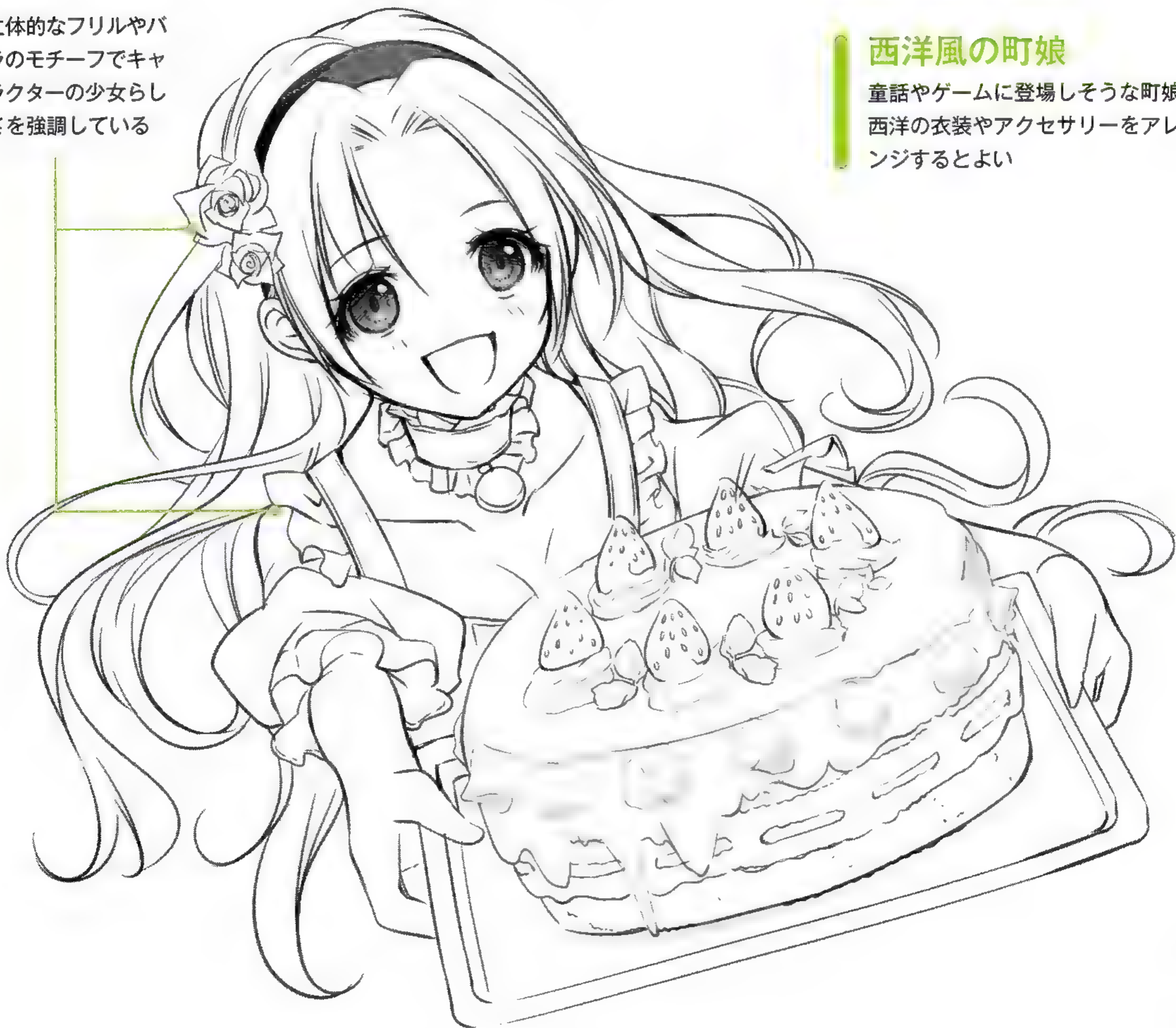
アイドルやゲームに登場しそうな女の子など、二次元ならではの表現でキャラクターの魅力を引き出してみましょう。

アイドル

複数人のアイドルを描くときは、それぞれの性格を決めて、仕草や表情を考えると区別がついて個性的になる

内気なキャラクターは下がり眉で不安そうな表情。手を前に持ってくるなど仕草でも個性を出せる

アイドルの衣装は現実の服をアレンジしたものが多い。実際にはあり得ないほどスカートが短くてもOK

猫耳ヘッドホンの少女
猫耳のついたヘッドホンで音楽を聴く少女。現実にありそうでないような小物選びが不思議な雰囲気を出している
肉球モチーフをあちこちに使って統一感を出している
立体的なフリルやバラのモチーフでキャラクターの少女らしさを強調している
西洋風の町娘
童話やゲームに登場しそうな町娘。西洋の衣装やアクセサリーをアレンジするとよい

非現実的なキャラクター

人魚やケモノ少女、ロボット少女など、実際にはあり得ないキャラクターを描いてみましょう。

人魚

竪琴を持った人魚のキャラクター。周りに泡などを描き、海の底にいる感じを出すとよい

貝殻の座椅子など、海にあるモチーフを入れると雰囲気が出る

うろこは全部しっかり描くとリアルすぎてしまうことがある。省略しても人魚らしさは出すことができる

キツネ×和装

大きな耳がポイントのキツネ少女。衣装や顔の模様でも和の雰囲気を出している

顔に模様を描くとミステリアスな雰囲気がアップし、人間ではない感じが出る

巫女服をアレンジした衣装で和風のキャラクターに仕上げている

POINT

ケモミミキャラのつくり方

動物の耳を持つ“ケモミミキャラ”は実際に耳が生えている感じを出すことが大切。つける位置と向き、大きさがポイント

猫少女

セクシーな衣装で小悪魔っぽさを出した猫少女。表情や体のラインも猫っぽさを出すポイント

口元を少し上げ、挑発的な表情にするとより猫らしさが出る

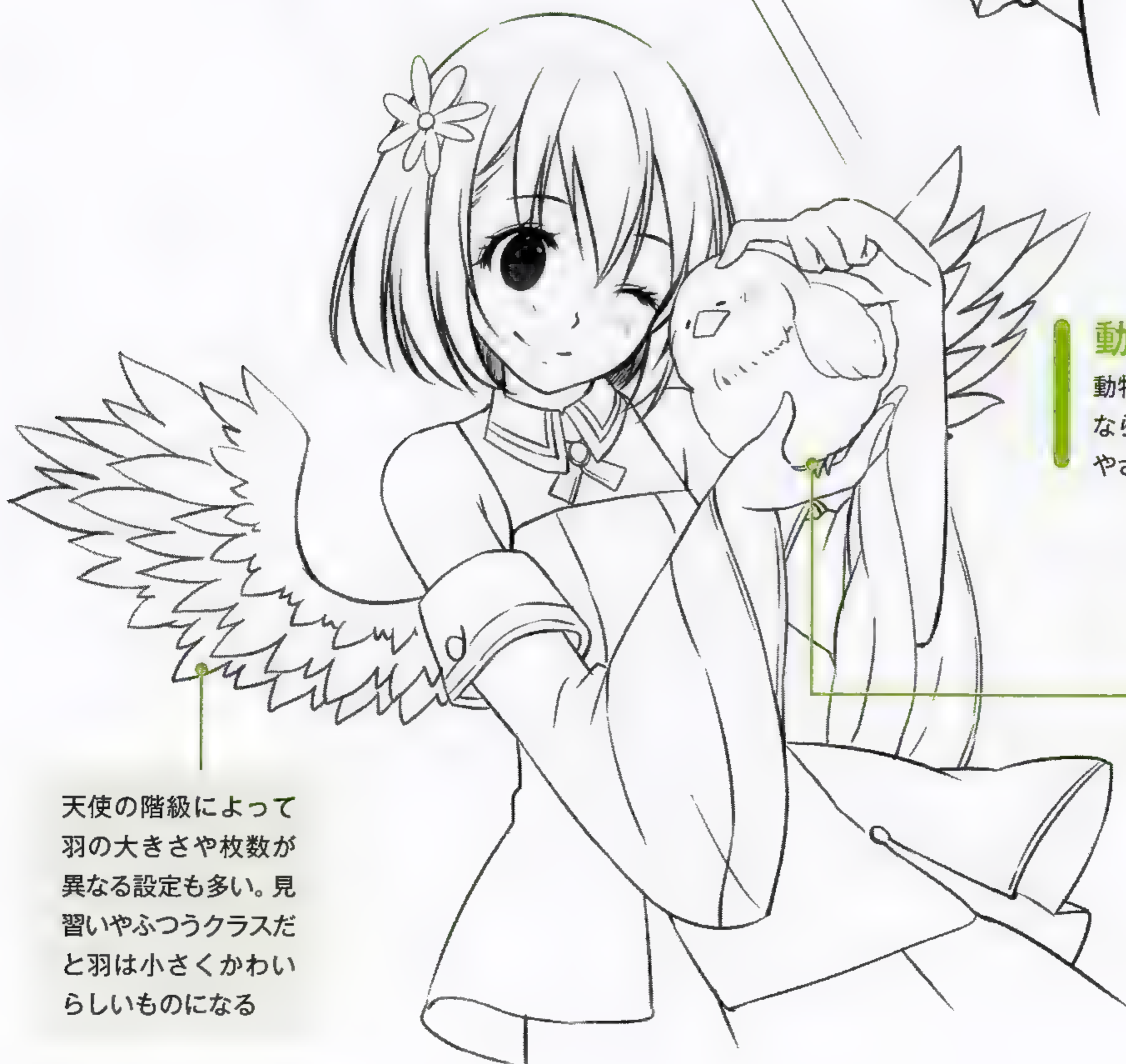
ケモミミ×水着

水辺で無邪気に遊ぶケモミミの女の子。思いっきりはしゃいでいる様子を描くとかわいさがアップする

空を飛ぶ天使

杖を持った天使。風を感じられる表現にすると空を飛んでいる雰囲気が出る

動物とたわむれる天使

動物との組み合わせもファンタジーならでは。小鳥をかわいがることでやさしいキャラクターを演出できる

童話をモチーフにする

今回は白雪姫を戦うお姫様にアレンジ。白雪姫らしさの中に、剣などの小物を入れることで世界観をつくることができる

ダークなゴスロリ少女

シルクハットをかぶったちょっとミステリアスなゴスロリ少女。帽子や衣装のデザインにも通常にはないモチーフを加えている

ファンタジーの動き

ファンタジーならではの動きを見ていきましょう。現実にはないスピード感や衝撃を表現することが大切です。

双剣で戦う

2本の双剣を持って戦う女の子。姿勢を低くして剣で斬りつけている

剣の残像を入れることでスピード感を表現

走り出すような前のめりの姿勢で、勢いよく攻撃している様子を表現できる

剣で戦う

大きな剣を扱い、敵に切り掛かるシーン。剣のスピード感を出すのがポイント

剣を勢いよく振り上げている様子を効果線で表している

魔法を発動させる

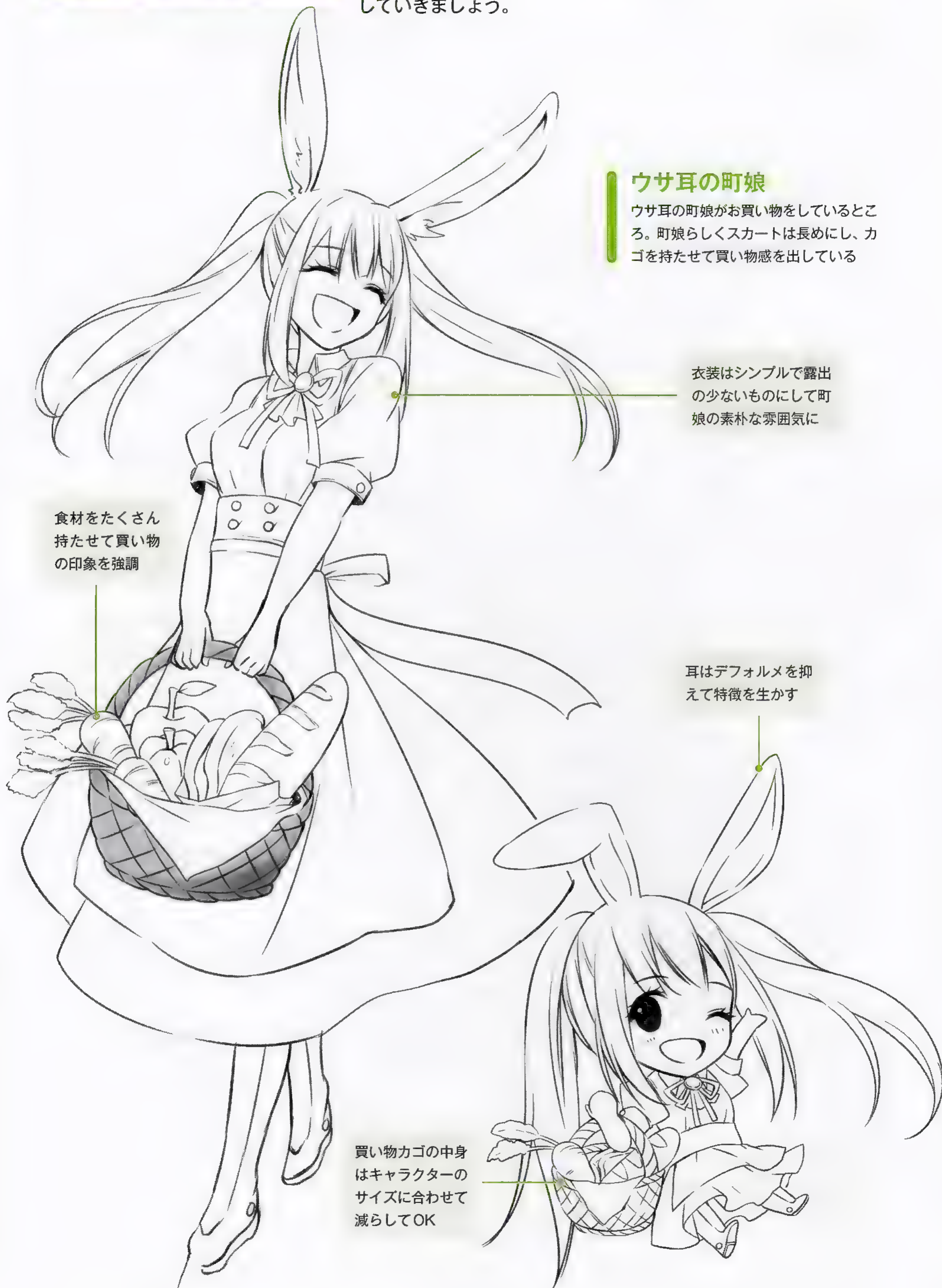
魔法を発動させているところ。周囲にも及ぶ空気感の変化をマンガ効果で表現

妖精とエルフ
無邪気にはしゃぐ妖精とやさしくほほえむエルフ。ファンタジーのキャラクターも2人組になるとより世界観が強調される
2人組を描くときは横顔にするとシチュエーションをつくりやすくなる
ロボット少女
ゴツゴツとした機械的なパーツを身につけたロボット少女。女性らしさを入れることがかわいく描くコツ
お腹や胸を露出させてロボット部分とのギャップを表現
透明感のある素材をプラスすることで、しっかりした立体的なパーツとメリハリがつく。また、スカートのようなデザインにもなりかわいらしさも出る

アンドロイド少女

露出度の高いハイレグスーツを着たアンドロイド少女。ところどころにメカっぽさを入れるのがポイント

キャラクターのデフォルメ

非現実的なキャラクターは特徴がわかりやすいためデフォルメもしやすくなります。同じキャラクターに見えるようにデフォルメしていきましょう。

海の女神

海の底の城に住む女神。イルカと一緒にデフォルメすることで世界観はそのまま引き継ぐことができる

POINT

SDキャラについて

頭身の低いSD（スーパーデフォルメ）キャラを描くとき、特徴となる大きなパーツや表情はしっかりと描く。ただ、細かくなりすぎると密度が高く縮小したときにわかりづらいのでバランスに気をつける

さまざまな国の民族衣装

世界各国には、女の子をより魅力的に見せる民族衣装がたくさんあります。
ここでは3つの衣装を紹介します。

中国

深く入ったスリットが特徴のチャイナドレス。もともとは馬に乗るために入れられたスリットがデザインとして定着した

マオカラーと呼ばれる立て襟に、飾りひもでつくったボタンがついていることも多い

体にぴったりと沿うのが特徴

ドイツ

ディアンドルと呼ばれるドイツの民族衣装。ブラウスの上にベストとスカートを着用し、エプロンをつける

ベストは編み上げのデザインになっている

ブラウスの袖は、ふんわりとしたパフスリーブになっている

オランダ

オランダのフォレンダムと呼ばれる町を中心に着られている民族衣装。黒い上着にストライプのスカート、黒いエプロンが特徴

レースでつくられた三角形の頭飾り

中に着るインナー、エプロンには鮮やかな花柄が用いられている

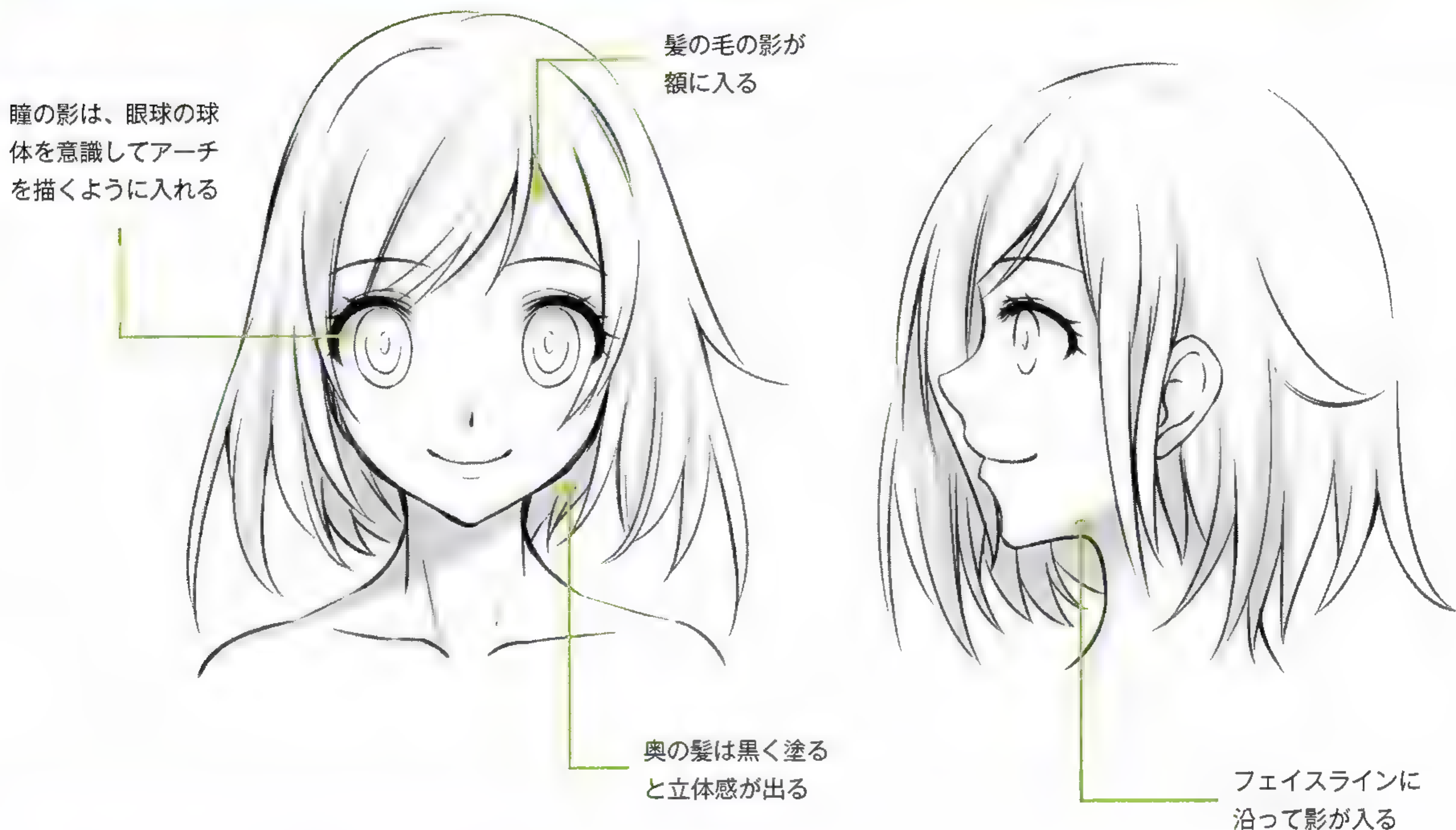
ふんわりとふくらんだシルエットが特徴

番外編

立体感をつける陰影テクニック

効果的に影を入れることができると、キャラクターの完成度がより高くなります。陰影テクニックを身につけて表現の幅を広げましょう。

Lesson 1 キャラクターに影を入れる

まずはキャラクターの立体感を意識して、影をつけてみましょう。

Lesson 2 光源・ハイライト・影を理解する

光がどのように物体に当たり、どんな影ができるのかを学びましょう。

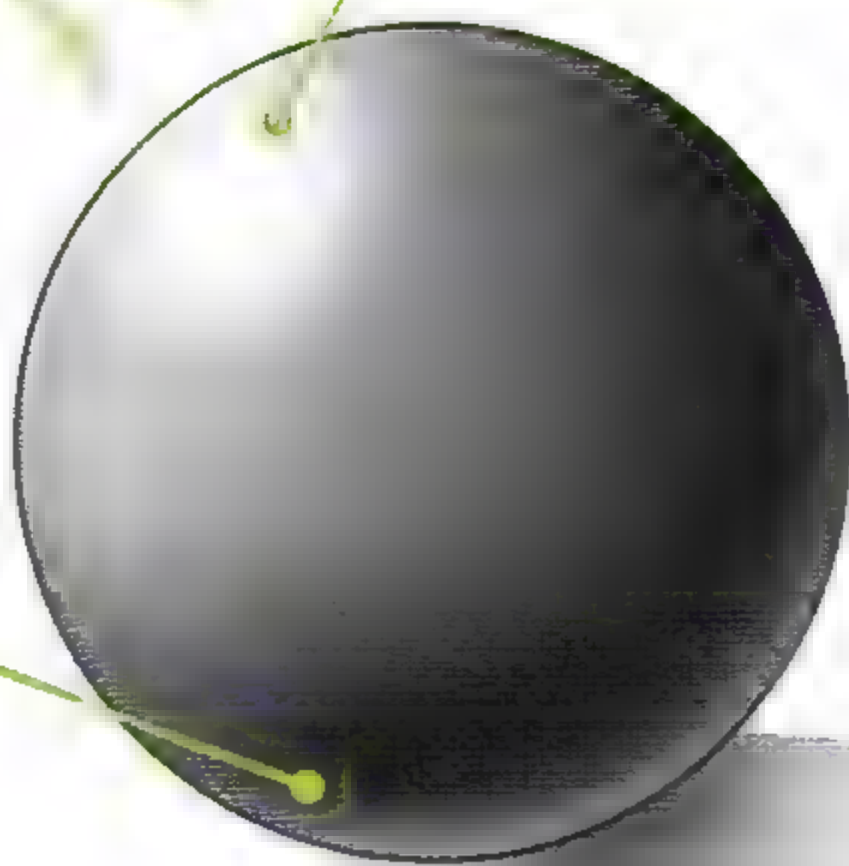
▶光源

光が当たる方向を決める。これがずれると全体の影がバラバラになってしまうのでわかりやすいように矢印を入れておく

▶ハイライト

光源からの光を反射して一番明るくなる

▶物体に入る影

濃い部分は物体そのものの色より濃くすると立体感がわかりやすい

▶物体が落とす影

ぼかしたり、濃度を調整したりして影にも変化をつけるとイラストの雰囲気も変わる

Lesson 3 光源を意識して雰囲気をつくる

Lesson 2で学んだことを生かし、光源を意識しながら雰囲気をつくってみましょう。

やや右上

光源と反対側の顔半分に影がつく。鼻筋や唇をかたどったり、鎖骨のラインに沿った影を入れると立体的になる

後ろ

後ろから光を受ける逆光のパターン。表情を強く印象づけ、ドラマティックな演出ができる

上

上から光を受けるパターン。まぶたのくぼみや首に影が入る。鼻など出っ張っている部分には光が当たる

下

下から光を受けるパターン。あごから光が当たり顔が明るくなる。頭の上の部分には光が当たらず影になる

さまざまなキャラクターを描く

光源の位置を変えながら、さまざまなキャラクターを描いてみましょう。

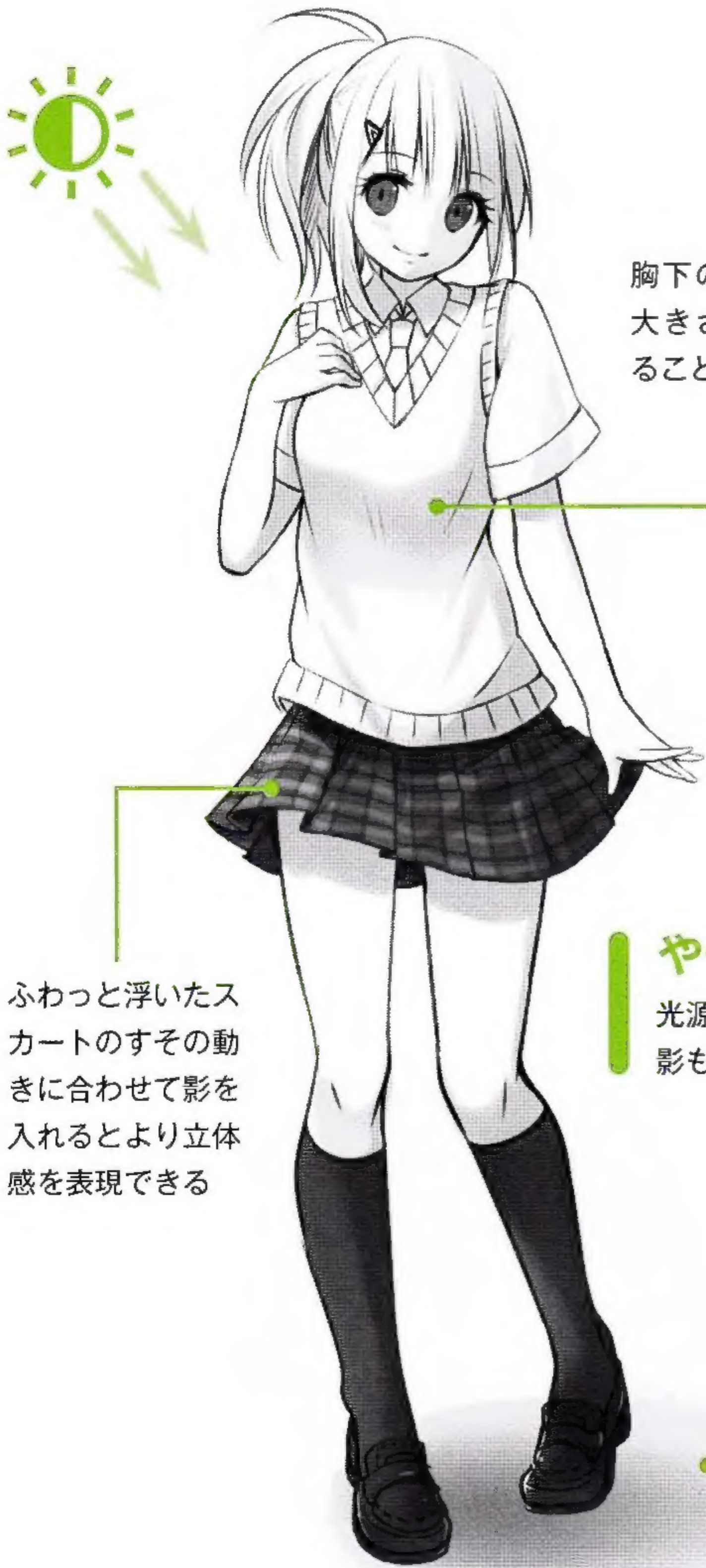
正面

顔全体に光が当たるため影が少ない。
首を中心に顔の影が入る

手前と奥の髪を意識して陰影を入れながら髪の流れを描く

顔の影が首に落ちる

やや左上

レースなど、服の細かなディテールに入る影にも気をつけて描くのがコツ

服のしわの流れに沿って影を入れる

胸下の影で胸の大きさを強調することができる

やや左上

光源を意識し、胸や服による影も入れるのがポイント

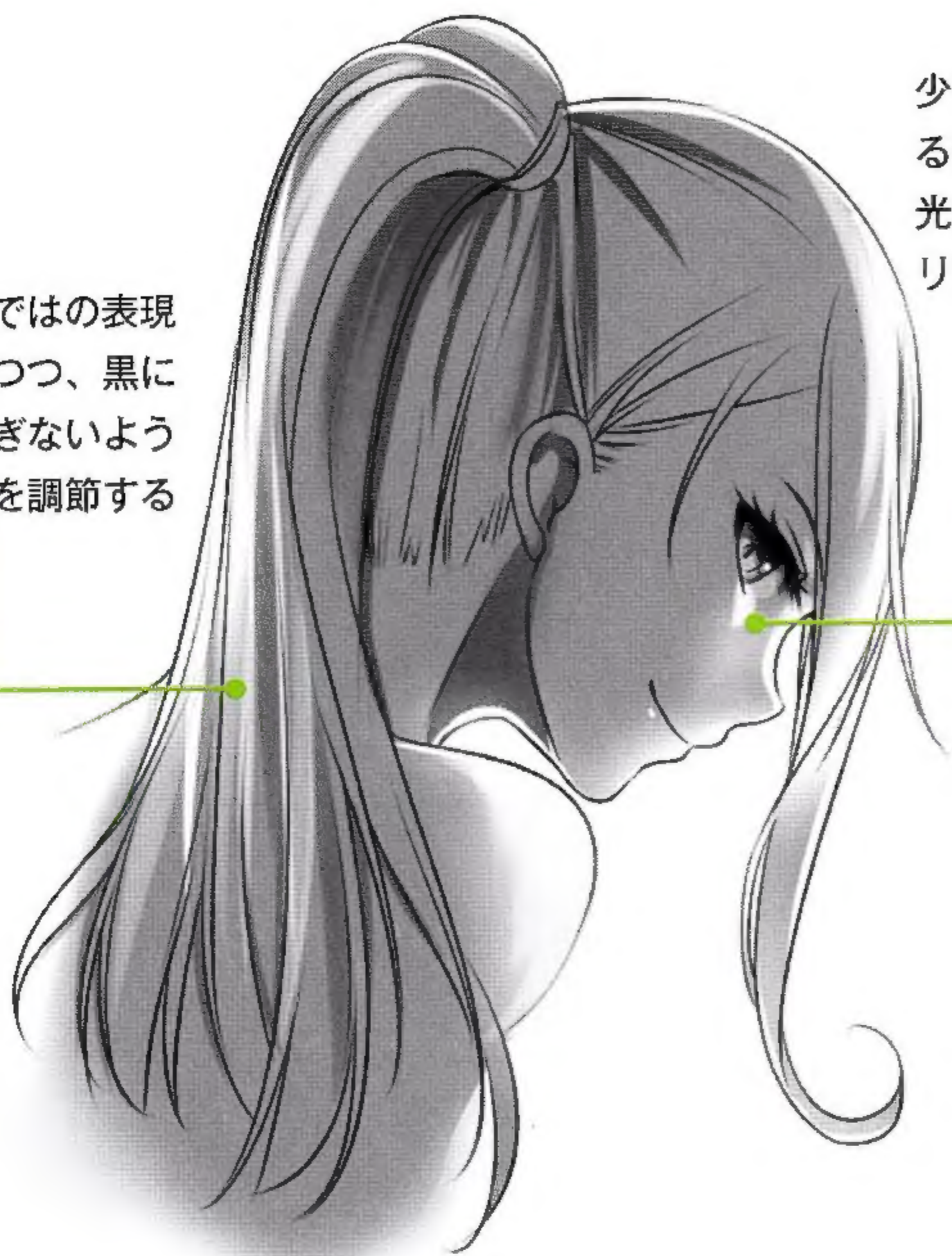
ふわっと浮いたスカートのすその動きに合わせて影を入れるとより立体感を表現できる

レースの下にも小さな影が落ちている

足元に人物が落とす影を入れると、地に足をつけて立っている立体感を表現できる

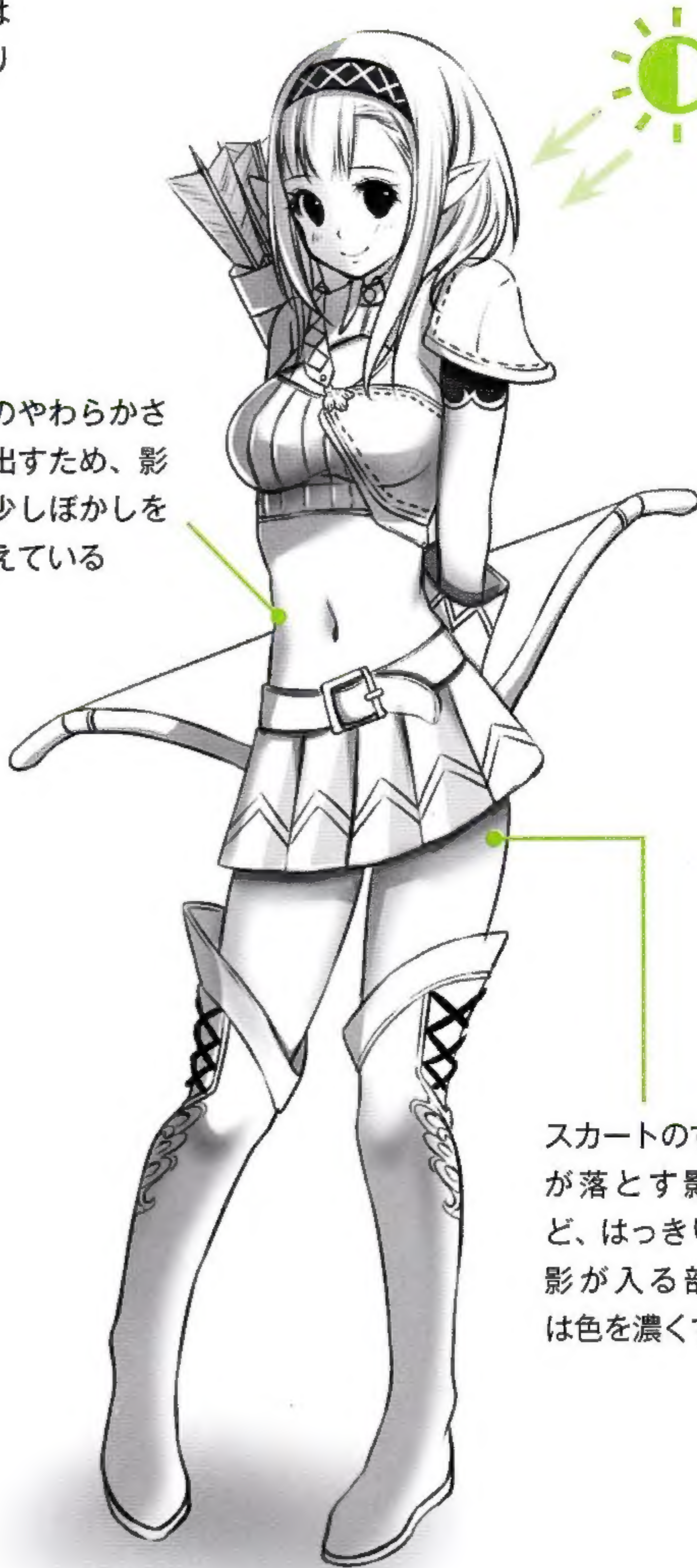
逆光

逆光の場合、ほぼ全体に影が入るので人物の形に沿ってハイライトでふちどるとよい

逆光ならではの表現を意識しつつ、黒に埋もれすぎないよう影の濃さを調節する

少し出っ張っているほおのラインは光を入れるとよりリアルになる

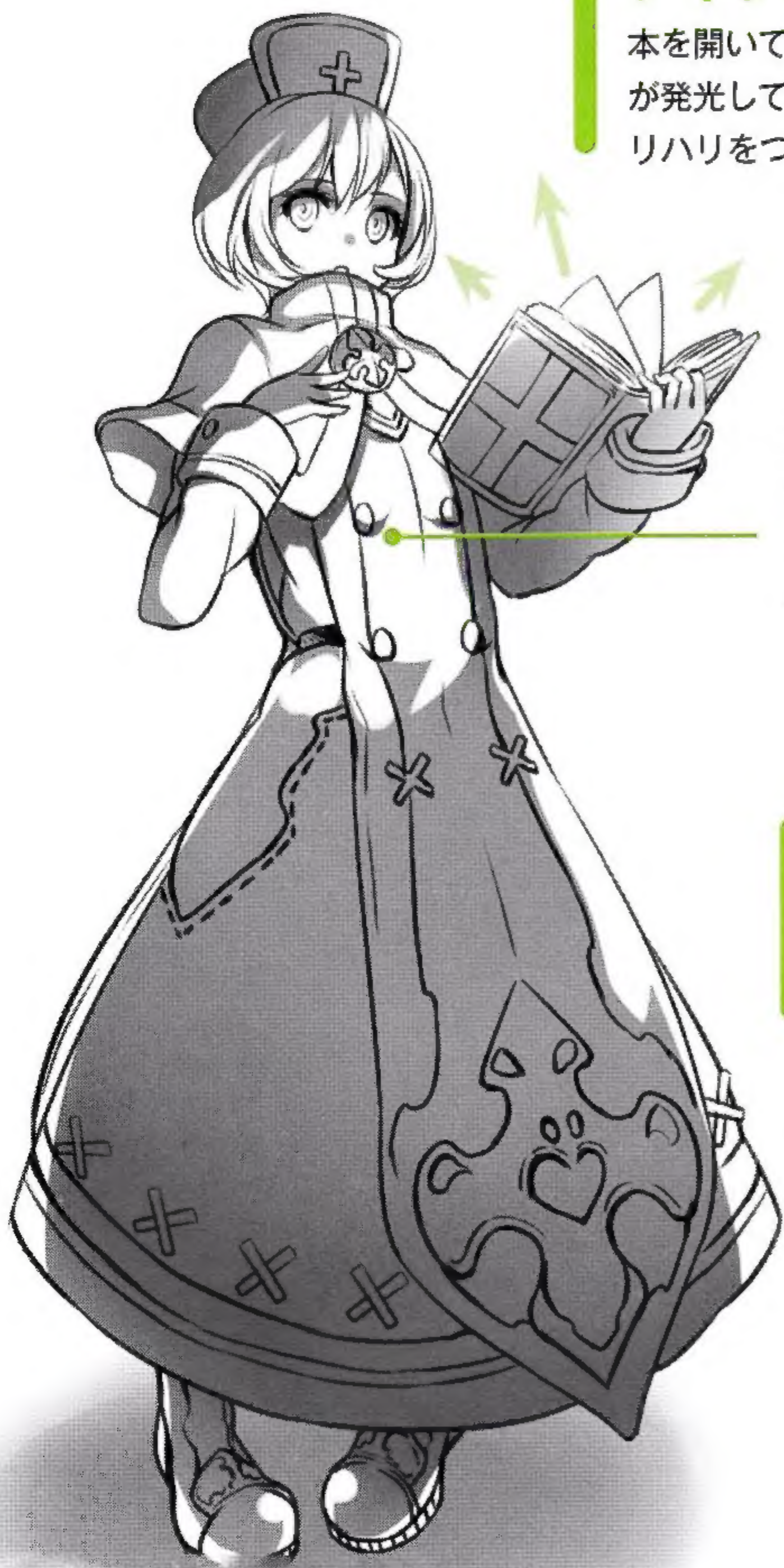
やや右上

影の濃さを調節して、見せたい印象に近づけることもできる

肌のやわらかさを出すため、影に少しぼかしを加えている

スカートのすそが落とす影など、はっきりと影が入る部分は色を濃くする

アイテムからの光

本を開いて呪文を唱えるなど、アイテムが発光して部分的に光が当たる場合。メリハリをつけると雰囲気が演出できる

光が当たっている部分は明るく、それ以外は暗くメリハリをつける

右上から

なな め上から光を当てて、キャラクターの上目遣いのかわいらしさを出している

鎖骨は凸凹した形を意識して影を入れる

肩の光が当たっている面をかたどるように影を入れると立体的になる

Lesson.5 陰影をつけてさらに塗り込む

陰影テクニックを応用して、さらにしっかりと塗りこんでキャラを立体的に描いてみましょう。